

令和三年度

果物の消費に関するアンケート調査報告書

令和4年2月

公益財団法人中央果実協会

はしがき

日本人の果物離れが指摘されるようになってから久しくなりました。

国民の健康増進と生活習慣病予防等を目的に文部省、厚生省（当時）及び農林水産省が連携して策定した食生活指針の具体的な推進を図るため、1日当たりの各食品の適正な摂取量の目安が「食事バランスガイド」（厚生労働省と農林水産省が合同で策定）で示されています。この中で、果物は1日200gの摂取が目標となっていますが、現状ではその半分程度にとどまっています。

また、果物の消費に関して、消費者はもっと増やしたいという意向があるものの、実際の購買行動につながっていないのが現状です。また、供給側でその消費者の意向や趣向の変化に対応できていないという事実があるのではないかと思います。

すなわち、単身世帯や夫婦のみの世帯の増加、食の外部化・簡便化の進行、安全志向、健康志向の高まり等、果物消費を取り巻く社会経済情勢が大きく変化しています。さらに、今年度も、前年に引き続いて新型コロナウイルスの感染拡大が繰り返され、社会生活全般に大きな影響を及ぼし、様々な場面で新たな生活スタイルが注目され、一部では定着する兆しも見えてきています。果物の巣ごもり需要に拡大、その栄養的、機能的価値の再確認も見られます。

このため、令和3年度においては、経年で調査を行っている果物の摂取状況、摂取意向・意識及び「毎日くだもの200グラム運動」の周知状況等について調査を行うとともに、前年度に引き続いて新型コロナウイルス感染拡大に関連した調査を行い、今後の果物の消費拡大のための基礎資料とすることにしました。

本書が、生産者、流通、小売の関係者が消費者のニーズ、趣向の変化を捉え、果物の消費拡大につなげ、ひいては我が国の果樹農業の発展につながることを期待しています。

令和4年2月

公益財団法人 中央果実協会

理事長 村上秀徳

1. アンケート調査の実施概要

【1】調査目的	… …	6
【2】本調査で把握すべきこと	… …	6
【3】調査方法	… …	6
【4】本調査における言葉の定義	… …	7
【5】調査項目	… …	7
【6】回答者プロフィール	… …	10
【7】分析軸について	… …	10

2. アンケート調査の分析結果

(1) 日常の果物の消費行動

①果物の摂取量（一日平均）	… …	14
②－1 果物の摂取量（一日平均）が現状である理由	… …	15
②－2 果物の摂取量（一日平均）が現状である理由	… …	16
③果物の購入頻度	… …	17
④果物の摂取頻度	… …	18
⑤－1 果物の摂取時間帯（摂取場面）	… …	19
⑤－2 果物の摂取時間帯（摂取場面）	… …	20
⑥－1 果物の摂取理由	… …	21
⑥－2 果物の摂取理由	… …	22
⑦－1 果物を毎日摂らない理由	… …	23
⑦－2 果物を毎日摂らない理由	… …	24
⑧果物の摂取方法	… …	25
⑨果物の摂取を増加できると思う方法	… …	26
⑩果物のイメージ	… …	27
⑪有機栽培の果物のイメージ	… …	31
まとめ	… …	33

(2) 今後の果物の摂取意向

①今後の果物の摂取量の変化	… …	35
②果物の消費量を増やすための提供方法	… …	36
まとめ	… …	38

(3) 果樹振興法14品目について

①－1 果樹振興法14品目の喫食	… …	40
①－2 果樹振興法14品目の喫食（月1回以上喫食）	… …	41
②果樹振興法14品目のうち増やしたいもの	… …	42
まとめ	… …	43

(4) 果物消費拡大施策について	
①果物購入時の希望情報	… … 45
②－1 果物消費拡大施策の認知	… … 46
②－2 果物消費拡大施策の認知（認知計）	… … 47
まとめ	… … 48
(5) コロナウィルス感染症の果物消費への影響	
①新型コロナウイルスの感染拡大に伴う果物摂取量の変化	… … 50
②摂取量増加者の増加理由	… … 51
③摂取量が増加した品目	… … 52
④摂取の増加量	… … 53
⑤摂取量減少者の減少理由	… … 54
⑥－1 果物以外で摂取が増えた食品	… … 55
⑥－2 果物以外で摂取が減った食品	… … 56
まとめ	… … 57
3. 調査のまとめ	… … 60
4. 調査票（調査画面）	… … 65

アンケート調査の実施概要

【1】調査目的

全国の消費者を対象にアンケート調査を行い、今後のくだものの消費拡大方策について検討を行うための基礎資料とする。

なお、本調査は、株式会社読売広告社へ委託して実施した。

【2】本調査で把握すべきこと

- 消費者の果物摂取の現状
- 今後の果物の摂取意向
- 果物を摂取できている人の現状
- 果物購入行動
- コロナウィルスの影響

【3】調査方法

（1）調査客体

全国2,000名を以下性別・年齢の割付により抽出した。

- 調査地域：全国
- 調査対象：満20歳以上70歳未満の男女個人
- 集計・分析者数：合計2,000名
- 抽出方法：平成27年度国勢調査の調査対象都府県ごとの人口構成比に合わせて、性・年齢別に割付を行い、無作為抽出する。

（2）調査方法

インターネット調査

（3）調査期間

令和3（2021）年10月29日（金）～11月1日（月）

（4）回収状況

有効票 合計：2,000サンプル

【4】本調査における言葉の定義

本調査において『果物』とは、「生鮮果物」に「果物加工品」を含めたものを指す。「生鮮果物」及び「果物加工品」の主な例は下記の通り。

- ・ 「生鮮果物」の主な例：温州（うんしゅう）みかん、オレンジ、グレープフルーツ、その他かんきつ類（いよかん、はっさく等）、りんご、ぶどう、日本なし、西洋なし（ラ・フランス等）、もも、おうとう（さくらんぼ）、びわ、柿、栗、うめ、すもも、キウイフルーツ、パインアップル、いちじく、バナナ、いちご、すいか、メロン
 - ・ 「果物加工品」の主な例：果汁（ジュース）、果物缶詰、カットフルーツ、ジャム類（フルーツジャム）、ドライフルーツ、フルーツゼリー、フルーツヨーグルト、フルーツケーキ
- ※なお、果汁（ジュース）については、果汁１００%のものに限る（果物分１０%以上を含む）。

また、単数選択は（ＳＡ）、複数選択は（ＭＡ）と表示した。

【5】調査項目

（１）日常の果物の消費行動

- ①果物の摂取量（一日平均）
- ②果物の摂取量（一日平均）が現状である理由
- ③果物の購入頻度
- ④果物の摂取頻度
- ⑤果物の摂取時間帯（摂取場面）
- ⑥果物の摂取理由
- ⑦果物を毎日摂らない理由
- ⑧果物の摂取方法
- ⑨果物の摂取を増加できると思う方法
- ⑩果物のイメージ
- ⑪有機栽培の果物のイメージ

1. アンケート調査の実施概要

(2) 今後の果物の摂取意向

- ① 今後の果物の摂取量の変化
- ② 果物の消費量を増やすための提供方法

(3) 果樹振興法14品目について

- ① 果樹振興法14品目の喫食
- ② 果樹振興法14品目のうち増やしたいもの

(4) 果物消費拡大施策について

- ① 果物購入時の希望情報
- ② 果物消費拡大施策の認知

(5) コロナウィルス感染症の果物消費への影響

- ① 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う果物摂取量の変化
- ② 摂取量増加者の増加理由
- ③ 摂取量が増加した品目
- ④ 摂取の増加量
- ⑤ 摂取量減少者の減少理由
- ⑥ー1 果物以外で摂取が増えた食品
- ⑥ー2 果物以外で摂取が減った食品

1. アンケート調査の実施概要

【6】回答者プロフィール（構成割合：％）

<性別>

	男性	女性
全体 (n=2,000)	50.1	50.0

<年齢>

	20才 ～24才	25才 ～29才	30才 ～34才	35才 ～39才	40才 ～44才	45才 ～49才	50才 ～54才	55才 ～59才	60才以上
全体 (n=2,000)	6.5	9.0	8.2	11.4	9.6	13.5	10.3	9.1	22.7

<未婚婚>

	未婚	既婚
全体 (n=2,000)	47.7	52.4

<子供有無>

	子供なし	子供あり
全体 (n=2,000)	56.1	44.0

<職業>

	公務員	経営者 ・役員	会社員 (事務系)	会社員 (技術系)	会社員 (その他)	自営業	自由業	専業主婦 (主夫)	パート・アル バイト	学生	その他	無職
全体 (n=2,000)	0.7	1.7	17.0	12.6	12.8	5.7	2.9	16.1	12.2	3.8	2.9	11.8

<世帯年収>

	200万未満	200～400万 未満	400～600万 未満	600～800万 未満	800～ 1000万未満	1000～ 1200万未満	1200～ 1500万未満	1500～ 2000万未満	2000万円 以上	わからない	無回答
全体 (n=2,000)	8.3	19.3	18.8	13.5	8.3	3.8	2.6	1.4	0.8	12.3	11.2

<個人年収>

	200万未満	200～400万 未満	400～600万 未満	600～800万 未満	800～ 1000万未満	1000～ 1200万未満	1200～ 1500万未満	1500～ 2000万未満	2000万円 以上	わからない	無回答
全体 (n=2,000)	37.0	20.4	13.9	5.1	2.9	1.0	0.7	0.4	0.3	7.5	11.1

<居住地>

	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県
全体 (n=2,000)	4.0	0.6	0.6	1.6	0.7	0.6	1.0	1.7	1.3	0.9	6.7	5.2
	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県
	18.0	9.1	1.6	0.9	0.4	0.3	0.7	1.1	1.7	2.1	6.4	1.3
	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県
	0.9	1.7	8.8	4.9	1.2	0.5	0.3	0.4	1.2	1.9	0.9	0.3
	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	
	0.4	0.9	0.5	3.5	0.5	0.7	0.6	0.6	0.5	0.7	0.6	

【7】分析軸について

すべての設問で分析するものは、

- 全体
- 性別
- 年代別
- 性別×年代別
- 果物摂取量別

→200g以上：Q 5 で「300g以上」「250g～300g未満」「200g～250g未満」と回答した層

→100g～200g未満：Q 5 で「150g～200g未満」「100g～150g未満」と回答した層

→100g未満：Q 5 で「50g～100g未満」「50g未満」と回答した層

とする。

また、必要に応じて適宜、令和2（2020）年の調査結果を、時系列比較のために掲載した。

1. アンケート調査の実施概要

（１）日常の果物の消費行動

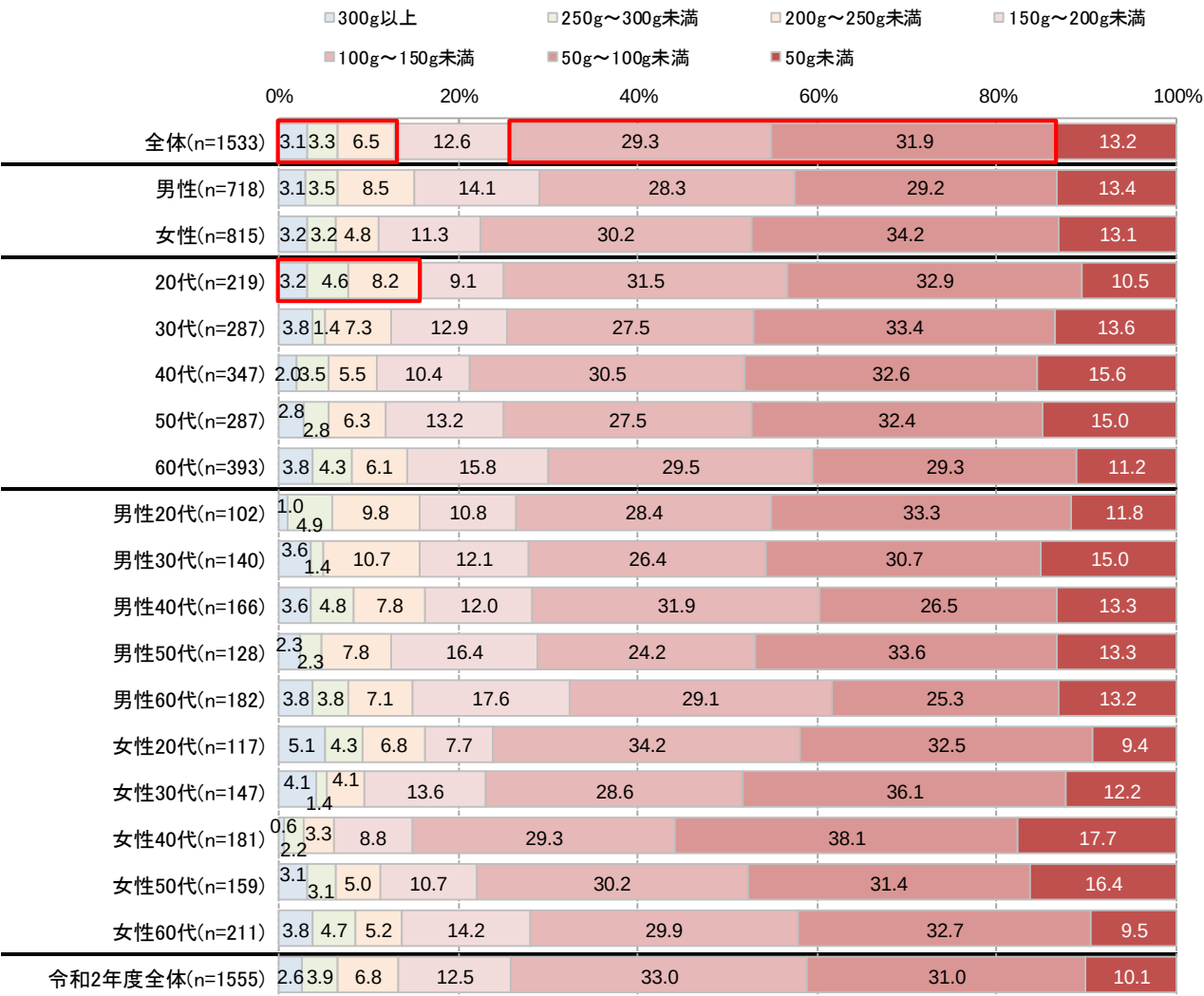
①果物の摂取量（一日平均）〔果物月1回以上喫食層〕

- ・ 果物を一日平均200g以上摂取できている人は、全体では13.0%。
- ・ 全体では「50g～100g未満」「100g～150g未満」の順に高く、これらを合わせた「50g～150g未満」で全体の6割強を占めている。
- ・ 令和2年度結果と比較すると、一日平均200g以上摂取の割合は、ほぼ横ばい。
- ・ 一日平均200g以上摂取できている割合を年代別でみると、『20代』は他の年代と比べて高めとなっている。
一方、『女性40代』は6.1%、『女性30代』も9.6%と、いずれも低めである。

Q5. あなたが果物を食べる場合、一日あたりどの程度の量を食べていますか。

※果物100gの目安…りんごなら半分、みかんなら1個、バナナなら1本に相当。（S A）

※コメントで触れている箇所は



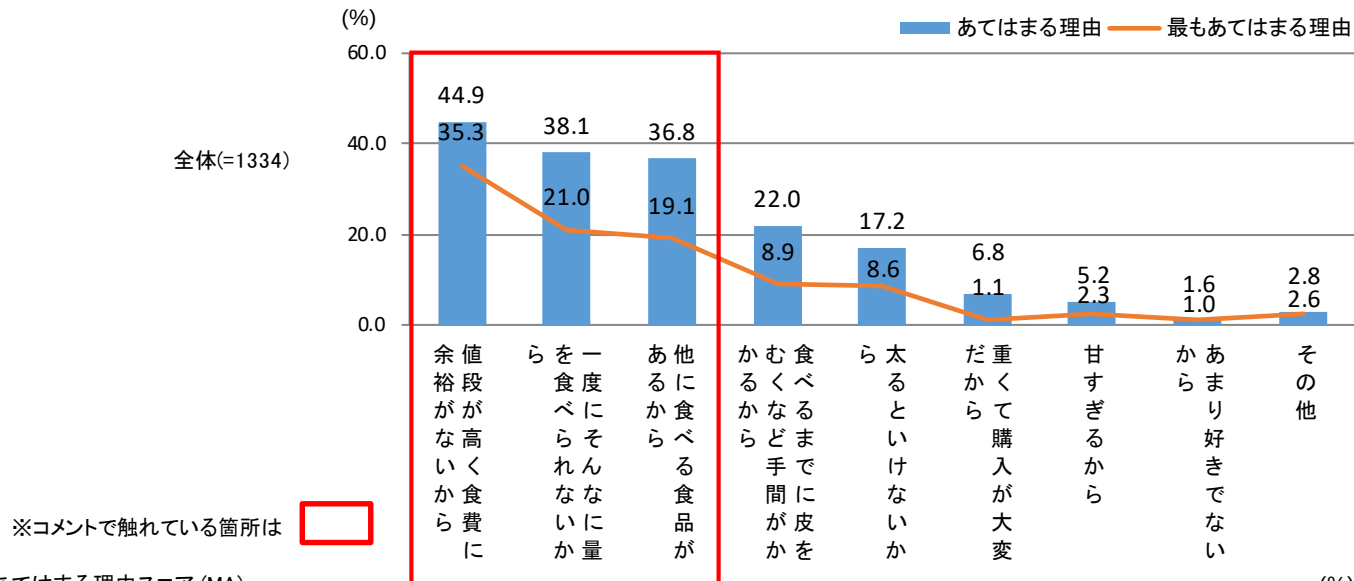
②－1 果物の摂取量(一日平均)が現状である理由 [1日摂取量200g未満層]

- あてはまる理由(複数回答)では、全体で「値段が高く食費に余裕がないから」が最も高い。次いで、「一度にそんなに量を食べられないから」「他に食べる食品があるから」が3割台後半で続いており、3大理由を形成している。
- 令和2年度結果と比較すると、「他に食べる食品があるから」が減少し、横ばいだった「一度にそんなに量を食べられないから」と順位が入れ替わった。
- 性別年代別でみると、『女性20～50代』では「値段が高く食費に余裕がないから」の割合が他の性別年代に比べて高い。

Q7. 国では一日に【Q5の選択内容】よりも多く果物を食べることを推奨しています。

あなたが現状の果物摂取量にとどまっている理由をお教え下さい。(MA)

その中で最もあてはまる理由。(SA)



※コメントで触れている箇所は



あてはまる理由スコア (MA)

		全体 (n=1334)	44.9	38.1	36.8	22.0	17.2	6.8	5.2	1.6	2.8
性別	男性	(n=610)	41.0	35.4	38.7	20.8	13.0	4.3	5.2	0.7	3.1
	女性	(n=724)	48.2	40.3	35.2	23.1	20.7	9.0	5.2	2.5	2.6
年代	20代	(n=184)	46.2	35.3	37.0	24.5	14.7	9.2	6.0	1.6	2.2
	30代	(n=251)	51.4	34.7	34.3	25.1	14.3	5.2	4.8	1.6	1.6
	40代	(n=309)	50.8	35.6	31.4	23.6	18.1	7.1	2.3	1.0	3.2
	50代	(n=253)	50.2	35.6	34.8	20.2	17.4	5.9	4.7	3.2	3.6
	60代	(n=337)	30.0	46.3	45.1	18.4	19.6	7.1	8.3	1.2	3.3
性別年代	男性20代	(n=86)	37.2	30.2	39.5	22.1	9.3	11.6	10.5	0.0	2.3
	男性30代	(n=118)	44.1	34.7	42.4	24.6	8.5	1.7	3.4	0.8	0.8
	男性40代	(n=139)	45.3	36.7	33.1	22.3	12.2	3.6	1.4	0.0	2.2
	男性50代	(n=112)	44.6	33.9	33.9	20.5	16.1	2.7	2.7	1.8	5.4
	男性60代	(n=155)	34.2	38.7	43.9	16.1	16.8	3.9	9.0	0.6	4.5
	女性20代	(n=98)	54.1	39.8	34.7	26.5	19.4	7.1	2.0	3.1	2.0
	女性30代	(n=133)	57.9	34.6	27.1	25.6	19.5	8.3	6.0	2.3	2.3
	女性40代	(n=170)	55.3	34.7	30.0	24.7	22.9	10.0	2.9	1.8	4.1
	女性50代	(n=141)	54.6	36.9	35.5	19.9	18.4	8.5	6.4	4.3	2.1
	女性60代	(n=182)	26.4	52.7	46.2	20.3	22.0	9.9	7.7	1.6	2.2
果物摂取量	100g～200g未満	(n=642)	42.8	40.8	39.7	20.6	20.7	7.0	4.0	1.1	3.1
	100g未満	(n=692)	46.8	35.5	34.1	23.4	13.9	6.6	6.4	2.2	2.6
令和2年度全体		(n=1347)	44.8	37.5	42.5	22.4	19.0	6.8	4.5	1.5	2.4

全体と比べて10ポイント以上高い。

全体と比べて5～10ポイント未満高い。

全体と比べて10ポイント以上低い。

全体と比べて5～10ポイント未満低い。

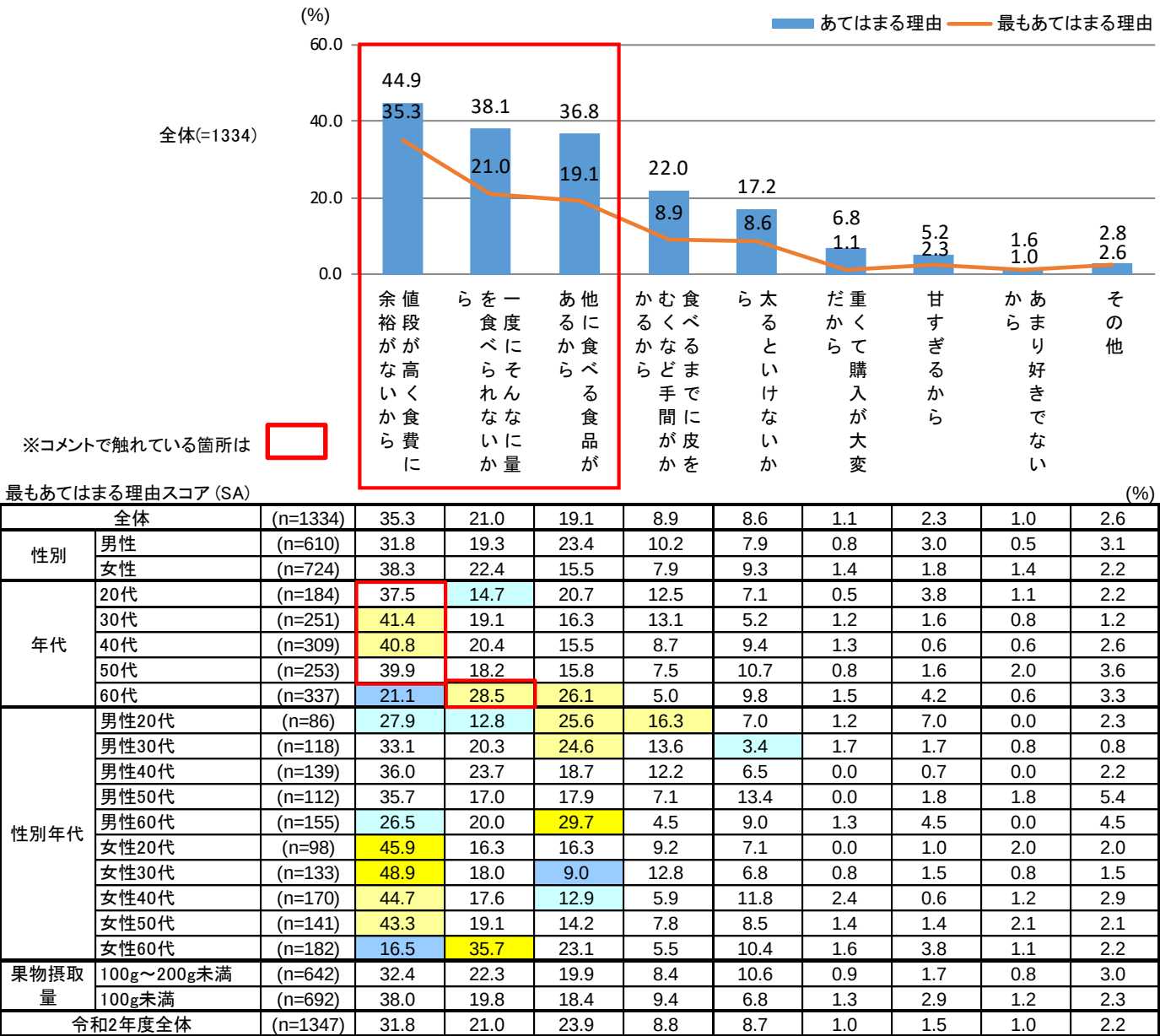
②ー2 果物の摂取量(一日平均)が現状である理由 [1日摂取量200g未満層]

- 最もあてはまる理由では、全体で「値段が高く食費に余裕がないから」が最も高い。「一度にそんなに量を食べられないから」「他に食べる食品があるから」が続いており、あてはまる理由と同一の構成・順位となった。
- 令和2年度結果と比較すると、「値段が高く食費に余裕がないから」が増加。一方、「他に食べる食品があるから」は減少し、横ばいだった「一度にそんなに量を食べられないから」と順位が入れ替わった。
- 年代別でみると、『20～50代』では共通して「値段が高く食費に余裕がないから」の割合が最も高い中、『60代』では「一度にそんなに量を食べられないから」の割合が、最も高い。

Q7. 国では一日に【Q5の選択内容】よりも多く果物を食べることを推奨しています。

あなたが現状の果物摂取量にとどまっている理由をお教え下さい。(MA)

その中で最もあてはまる理由。(SA)



全体と比べて10ポイント以上高い。

全体と比べて5～10ポイント未満高い。

全体と比べて10ポイント以上低い。

全体と比べて5～10ポイント未満低い。

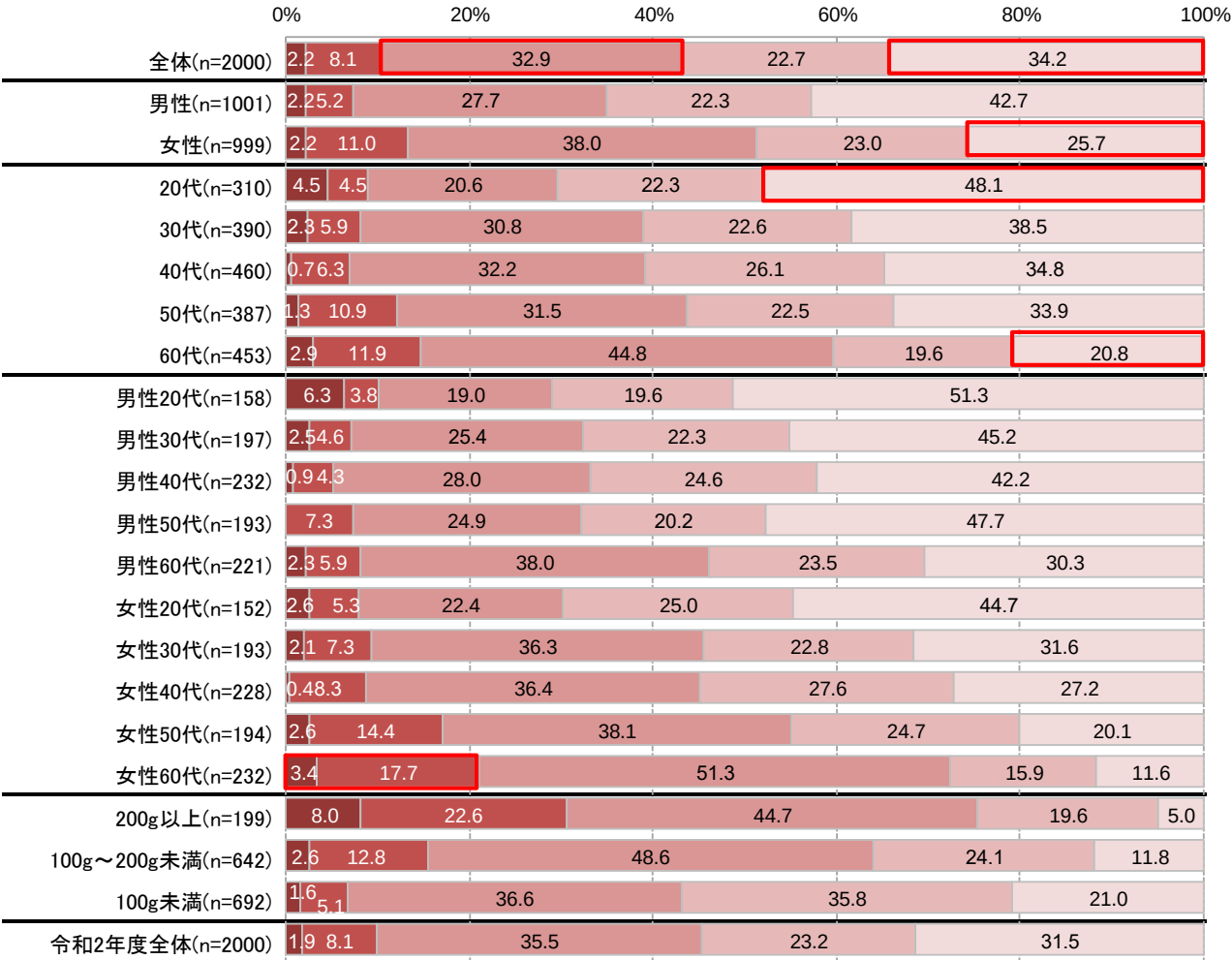
③果物の購入頻度

- 全体では「ほとんど買わない」が最も高い。次いで、「週1～2日」が続いている。
- 性別でみると、『女性』は男性と比べて購入頻度が高い傾向であり、「ほとんど買わない」人の割合は2割台半ばにとどまっている。
- 年代別でみると、『60代』は他の層と比べて購入頻度が高い傾向であり、「ほとんど買わない」人の割合は2割強にとどまる。一方、『20代』は「ほとんど買わない」の割合が5割に近く、他の年代と比べて高い。
- 性別×年代でみると、『女性60代』では「週3～4日」以上、果物を購入する人の割合が2割強で、他の層と比べて高め。

Q1. あなたは果物（生鮮果物と果物加工品）をどの程度の頻度で買い、また食べますか。（SA）

※コメントで触れている箇所は

■ ほぼ毎日(週5日以上) ■ 週3～4日 ■ 週1～2日 ■ 月1～3日 ■ ほとんど買わない(月1日未満)

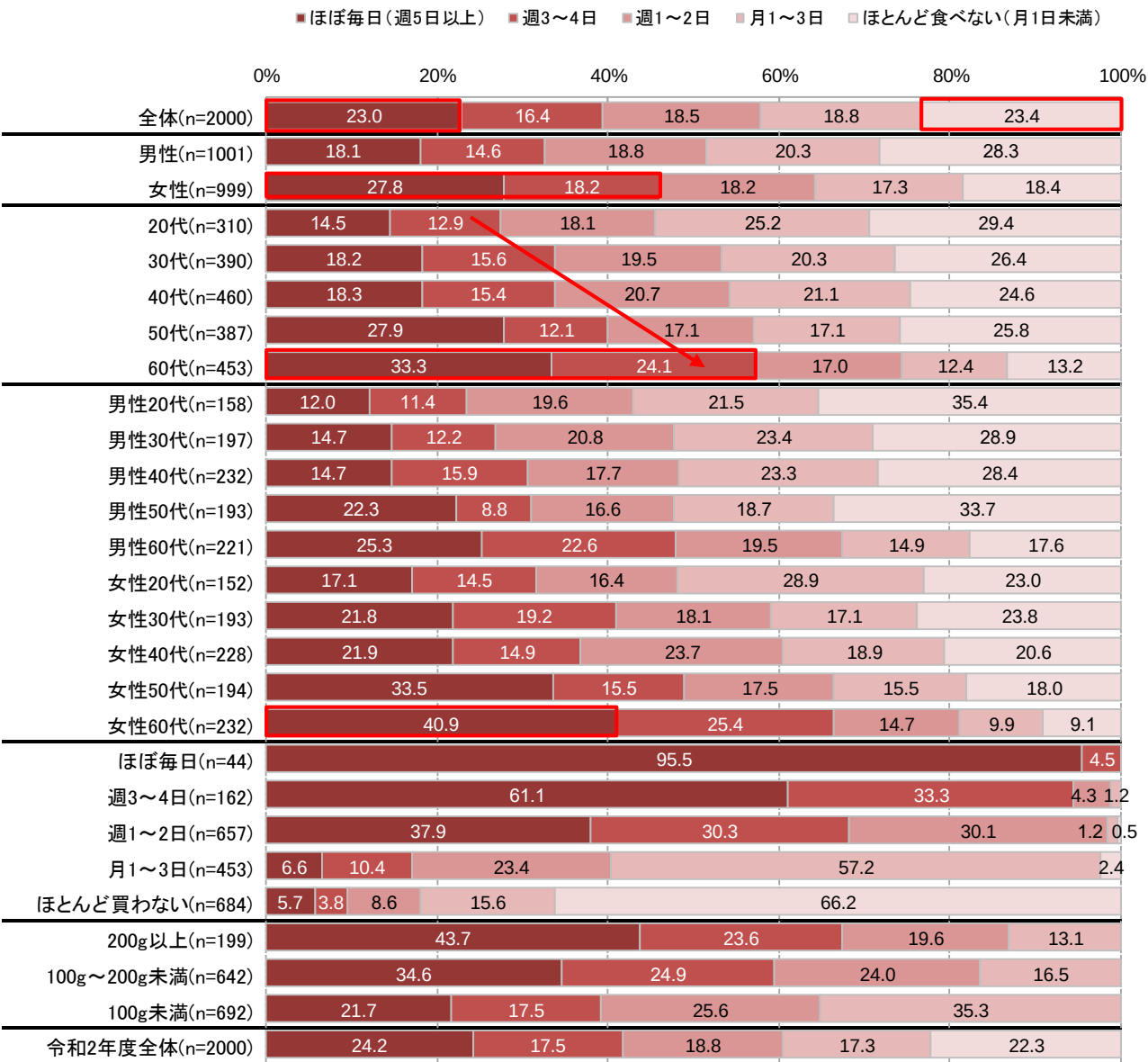


④果物の摂取頻度

- 全体では両極端の「ほとんど食べない」「ほぼ毎日」が2割台前半でほぼ並んだ。次いで、「月1～3日」「週1～2日」が、ともに2割弱となった。
- 性別でみると、『女性』は、男性と比べて「ほぼ毎日」「週3～4日」の割合が高く、摂取頻度が高い傾向がうかがえる。
- 年代別でみると、年代が高くなるほど「週3～4日」以上の割合が増加する傾向が見られ、『60代』では「ほぼ毎日」が3割台前半、「週3～4日」が2割台半ばで、5割台後半が「週3～4日」以上摂取している。
- 性別×年代でみると、『女性60代』では、「ほぼ毎日」が4割を超えており、摂取頻度が高い。

Q1. あなたは果物（生鮮果物と果物加工品）をどの程度の頻度で買い、また食べますか。（S A）

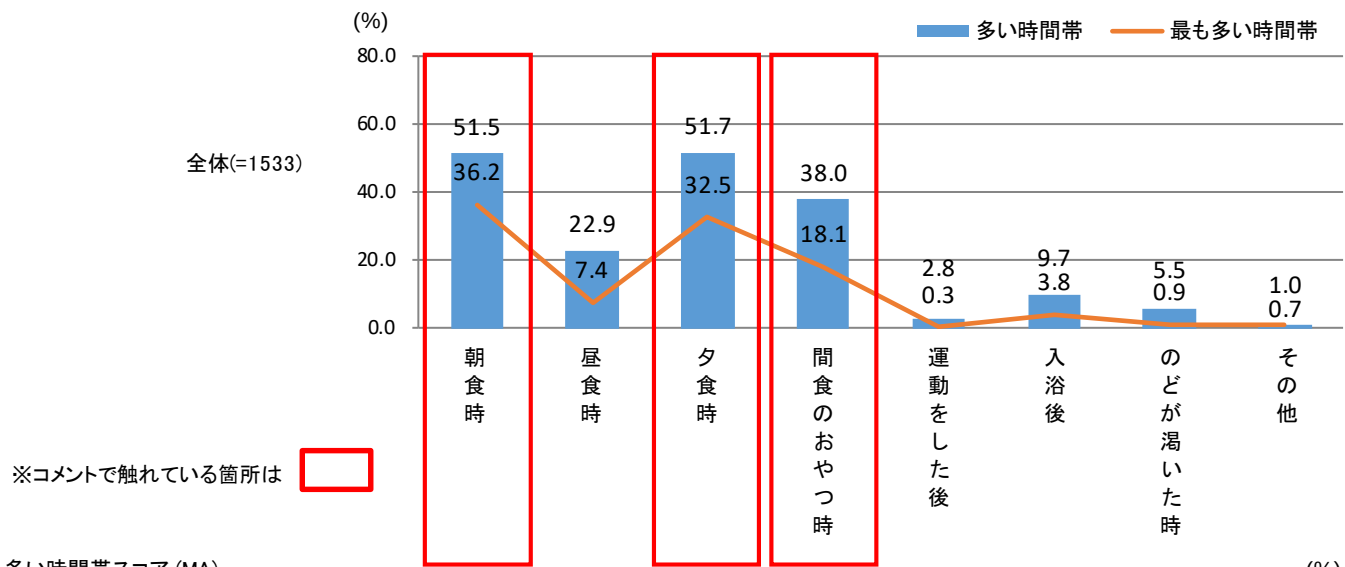
※コメントで触れている箇所は



⑤ー1 果物の摂取時間帯（摂取場面）〔果物月1回以上喫食層〕

- ・ 多い時間帯（複数回答）では、全体で「夕食時」「朝食時」が5割超と高い。「間食のおやつ時」が3割台後半で、それに続くかたちとなっている。
- ・ 令和2年度結果と比較すると、「朝食時」が減少する一方、「昼食時」が増加した。
- ・ 性別でみると、『女性』は「朝食時」が5割台後半で、『男性』より顕著に高い。
- ・ 性別×年代でみると、全年代の『男性』と『女性20代』は「夕食時」、『女性30～60代』は「朝食時」の割合が、最も高くなっている。
- ・ 果物摂取量別でみると、『200g以上』の層は「昼食時」が3割弱で、他の層と比べて顕著に高い。

Q2. 果物を食べるのはいつが多いですか。（MA） その中で最も多い時間帯。（SA）



多い時間帯スコア (MA)

全体		(n=1533)	51.5	22.9	51.7	38.0	2.8	9.7	5.5	1.0
性別	男性	(n=718)	44.4	19.9	52.6	35.0	3.3	11.4	6.4	0.8
	女性	(n=815)	57.7	25.5	50.8	40.6	2.3	8.2	4.8	1.1
年代	20代	(n=219)	47.9	16.4	57.5	41.6	4.1	14.6	6.8	0.9
	30代	(n=287)	50.5	25.4	53.3	42.5	3.5	9.4	5.2	1.0
	40代	(n=347)	52.7	16.4	51.9	35.4	2.3	9.2	5.8	1.7
	50代	(n=287)	49.1	22.6	52.3	32.1	2.4	9.4	5.9	1.0
	60代	(n=393)	54.7	30.5	46.6	39.2	2.3	7.9	4.6	0.3
性別年代	男性20代	(n=102)	41.2	15.7	53.9	36.3	5.9	13.7	7.8	2.0
	男性30代	(n=140)	45.0	22.1	52.9	39.3	4.3	11.4	5.0	0.0
	男性40代	(n=166)	47.6	13.9	52.4	36.7	2.4	9.6	9.0	1.8
	男性50代	(n=128)	39.8	14.8	55.5	27.3	3.1	12.5	7.0	0.8
	男性60代	(n=182)	46.2	29.7	50.0	34.6	2.2	11.0	3.8	0.0
	女性20代	(n=117)	53.8	17.1	60.7	46.2	2.6	15.4	6.0	0.0
	女性30代	(n=147)	55.8	28.6	53.7	45.6	2.7	7.5	5.4	2.0
	女性40代	(n=181)	57.5	18.8	51.4	34.3	2.2	8.8	2.8	1.7
	女性50代	(n=159)	56.6	28.9	49.7	35.8	1.9	6.9	5.0	1.3
	女性60代	(n=211)	62.1	31.3	43.6	43.1	2.4	5.2	5.2	0.5
果物摂取量	200g以上	(n=199)	55.8	29.1	52.8	44.2	6.5	13.6	13.1	2.5
	100g～200g未満	(n=642)	54.7	22.3	52.2	41.7	2.2	10.7	4.8	1.1
	100g未満	(n=692)	47.3	21.7	50.9	32.7	2.3	7.7	4.0	0.4
令和2年度全体		(n=1555)	55.8	19.7	51.8	38.3	3.1	10.2	6.1	1.2

全体と比べて10ポイント以上高い。

全体と比べて5～10ポイント未満高い。

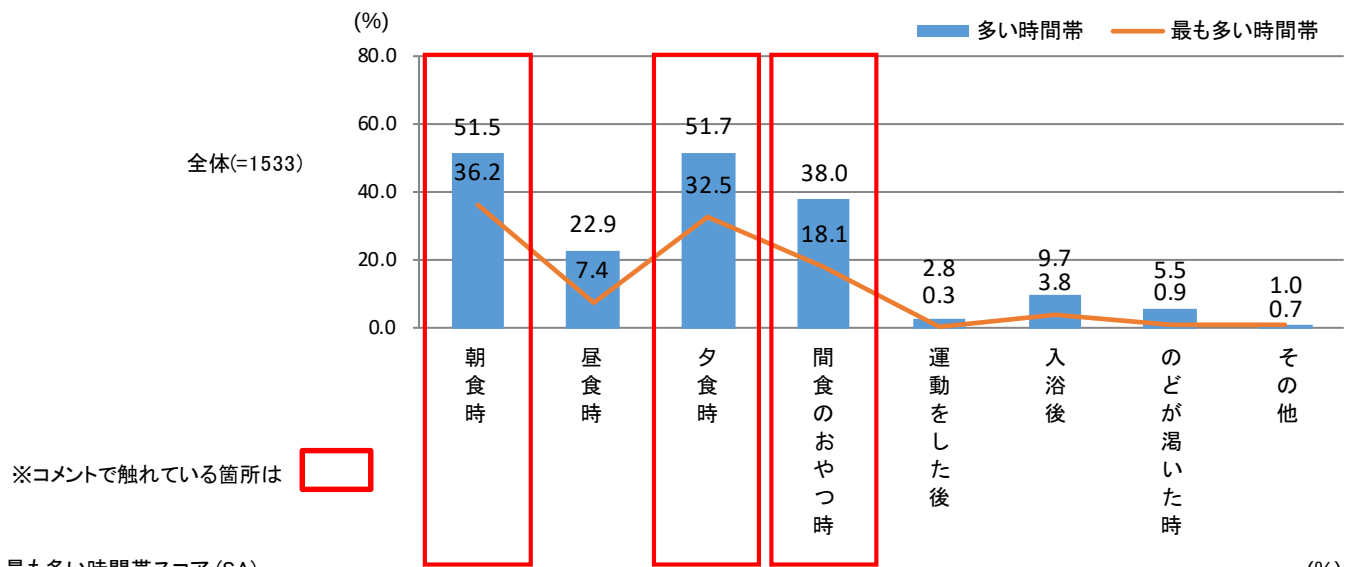
全体と比べて10ポイント以上低い。

全体と比べて5～10ポイント未満低い。

⑤ー2 果物の摂取時間帯（摂取場面）〔果物月1回以上喫食層〕

- 最も多い時間帯では、全体で「朝食時」が最も高く、「夕食時」「間食のおやつ時」がそれに続くかたちとなっている。
- 令和2年度結果と比較すると、「昼食時」がやや増加し、「朝食時」が減少した。
- 性別でみると、『男性』は「夕食時」が『女性』より高く、『女性』は「朝食時」が『男性』より高い。
- 年代別でみると、『60代』では「朝食時」の割合が他の年代より高い。
- 性別×年代でみると、『男性20～30代』と『男性50代』では「夕食時」の割合が最も高く、『男性40代』『男性60代』と全年代の『女性』は「朝食時」の割合が最も高い。

Q2. 果物を食べるのはいつが多いですか。（MA） その中で最も多い時間帯。（SA）



※コメントで触れている箇所は

最も多い時間帯スコア (SA)

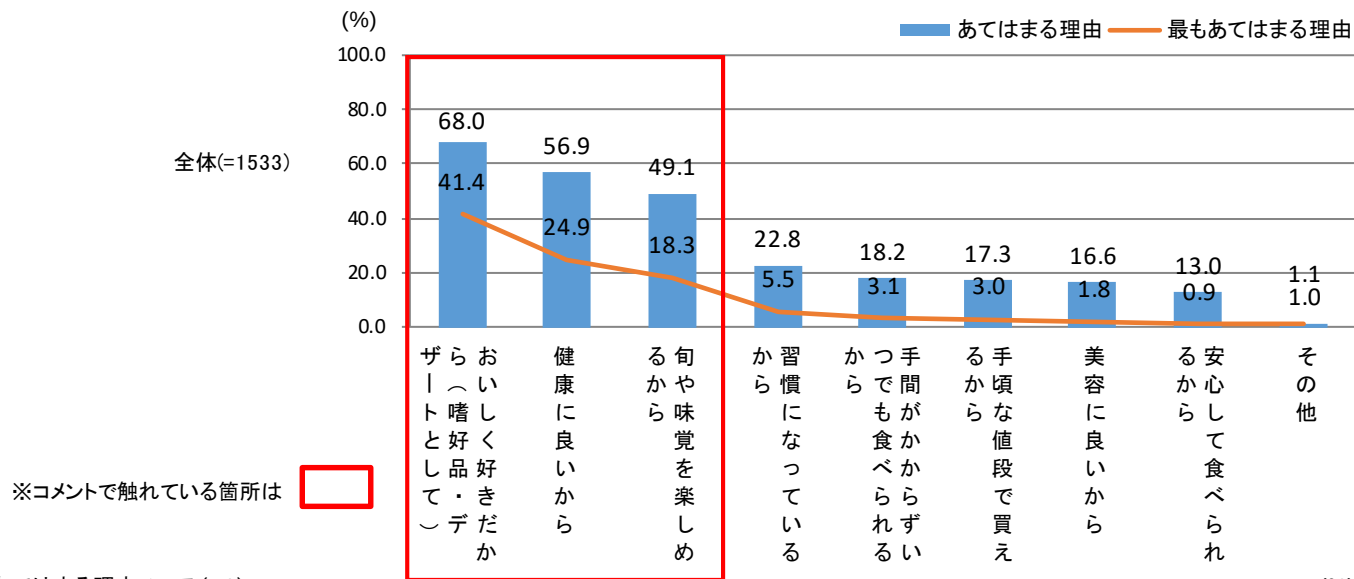
		全体 (n=1533)	36.2	7.4	32.5	18.1	0.3	3.8	0.9	0.7
性別	男性	(n=718)	31.9	6.3	35.5	19.1	0.4	4.7	1.4	0.7
	女性	(n=815)	40.0	8.5	29.8	17.3	0.1	3.1	0.5	0.7
年代	20代	(n=219)	31.1	5.5	36.1	20.1	0.0	6.8	0.0	0.5
	30代	(n=287)	31.7	9.4	33.8	20.2	0.3	2.4	1.4	0.7
	40代	(n=347)	38.6	4.6	32.0	17.0	0.6	3.7	2.0	1.4
	50代	(n=287)	34.8	7.3	35.5	16.0	0.3	4.5	0.7	0.7
	60代	(n=393)	41.2	9.7	27.7	18.1	0.0	2.8	0.3	0.3
性別年代	男性20代	(n=102)	23.5	6.9	39.2	21.6	0.0	7.8	0.0	1.0
	男性30代	(n=140)	27.1	7.9	37.1	23.6	0.0	3.6	0.7	0.0
	男性40代	(n=166)	38.0	3.0	32.5	16.3	1.2	3.6	3.6	1.8
	男性50代	(n=128)	30.5	3.9	42.2	14.1	0.8	6.3	1.6	0.8
	男性60代	(n=182)	35.7	9.3	30.2	20.3	0.0	3.8	0.5	0.0
	女性20代	(n=117)	37.6	4.3	33.3	18.8	0.0	6.0	0.0	0.0
	女性30代	(n=147)	36.1	10.9	30.6	17.0	0.7	1.4	2.0	1.4
	女性40代	(n=181)	39.2	6.1	31.5	17.7	0.0	3.9	0.6	1.1
	女性50代	(n=159)	38.4	10.1	30.2	17.6	0.0	3.1	0.0	0.6
	女性60代	(n=211)	46.0	10.0	25.6	16.1	0.0	1.9	0.0	0.5
果物摂取量	200g以上	(n=199)	37.2	6.5	28.6	21.1	0.5	2.5	2.0	1.5
	100g～200g未満	(n=642)	38.3	7.2	31.3	16.8	0.2	4.8	0.6	0.8
	100g未満	(n=692)	34.0	7.9	34.7	18.5	0.3	3.3	0.9	0.4
令和2年度全体		(n=1555)	39.9	4.9	31.4	16.4	0.8	4.6	1.2	0.9

全体と比べて10ポイント以上高い。	全体と比べて5～10ポイント未満高い。
全体と比べて10ポイント以上低い。	全体と比べて5～10ポイント未満低い。

⑥ー1 果物の摂取理由〔果物月1回以上喫食層〕

- あてはまる理由（複数回答）では、全体で「おいしく好きだから」が最も高く、「健康に良いから」「旬や味覚を楽しめるから」が続いている。
- 令和2年度結果と比較すると、「おいしく好きだから」「手間がかからずいつでも食べられるから」「美容によいから」「安心して食べられるから」がやや減少した。
- 性別でみると、『女性』では「おいしく好きだから」「旬や味覚を楽しめるから」「美容に良いから」が男性より顕著に高い。
- 性別×年代でみると、『女性60代』では「旬や味覚を楽しめるから」が他の層より高い。
- 果物摂取量別でみると、『100g未満』の層は、他の層と比べて全般的に低スコア。

Q3. 果物を食べる理由はなんですか。（MA） その中で最もあてはまる理由。（SA）



あてはまる理由スコア (MA)

性別	全体	(n=1533)	68.0	56.9	49.1	22.8	18.2	17.3	16.6	13.0	1.1
	男性	(n=718)	63.0	52.4	43.5	20.3	17.7	19.1	9.3	11.0	0.8
	女性	(n=815)	72.5	60.9	54.1	25.0	18.7	15.7	22.9	14.7	1.3
年代	20代	(n=219)	70.8	59.8	44.7	18.7	21.0	17.8	26.5	12.8	0.9
	30代	(n=287)	70.4	56.1	47.4	22.6	19.9	18.1	26.1	15.7	1.4
	40代	(n=347)	66.9	53.0	44.1	20.7	12.4	15.3	14.7	11.0	0.9
	50代	(n=287)	64.8	57.5	50.2	22.6	18.8	20.2	11.5	13.2	1.7
	60代	(n=393)	68.2	58.8	56.5	27.2	20.1	16.0	9.4	12.7	0.8
性別年代	男性20代	(n=102)	60.8	52.9	33.3	16.7	23.5	25.5	14.7	8.8	1.0
	男性30代	(n=140)	65.0	55.7	43.6	24.3	17.9	22.9	15.7	13.6	0.0
	男性40代	(n=166)	65.1	48.2	39.8	18.1	13.3	15.1	9.6	10.2	0.6
	男性50代	(n=128)	58.6	47.7	46.9	18.8	19.5	18.8	4.7	11.7	2.3
	男性60代	(n=182)	63.7	56.6	50.0	22.5	17.0	16.5	4.4	10.4	0.5
	女性20代	(n=117)	79.5	65.8	54.7	20.5	18.8	11.1	36.8	16.2	0.9
	女性30代	(n=147)	75.5	56.5	51.0	21.1	21.8	13.6	36.1	17.7	2.7
	女性40代	(n=181)	68.5	57.5	48.1	23.2	11.6	15.5	19.3	11.6	1.1
	女性50代	(n=159)	69.8	65.4	52.8	25.8	18.2	21.4	17.0	14.5	1.3
	女性60代	(n=211)	72.0	60.7	62.1	31.3	22.7	15.6	13.7	14.7	0.9
果物摂取量	200g以上	(n=199)	70.4	64.3	49.2	29.1	22.6	26.1	22.6	20.6	1.0
	100g～200g未満	(n=642)	72.3	60.1	53.3	27.3	21.5	17.0	17.9	14.0	0.8
	100g未満	(n=692)	63.4	51.7	45.2	16.9	13.9	15.0	13.6	9.8	1.4
令和2年度全体		(n=1555)	70.2	56.7	50.5	22.2	20.6	19.1	18.6	14.9	1.2

全体と比べて10ポイント以上高い。

全体と比べて5～10ポイント未満高い。

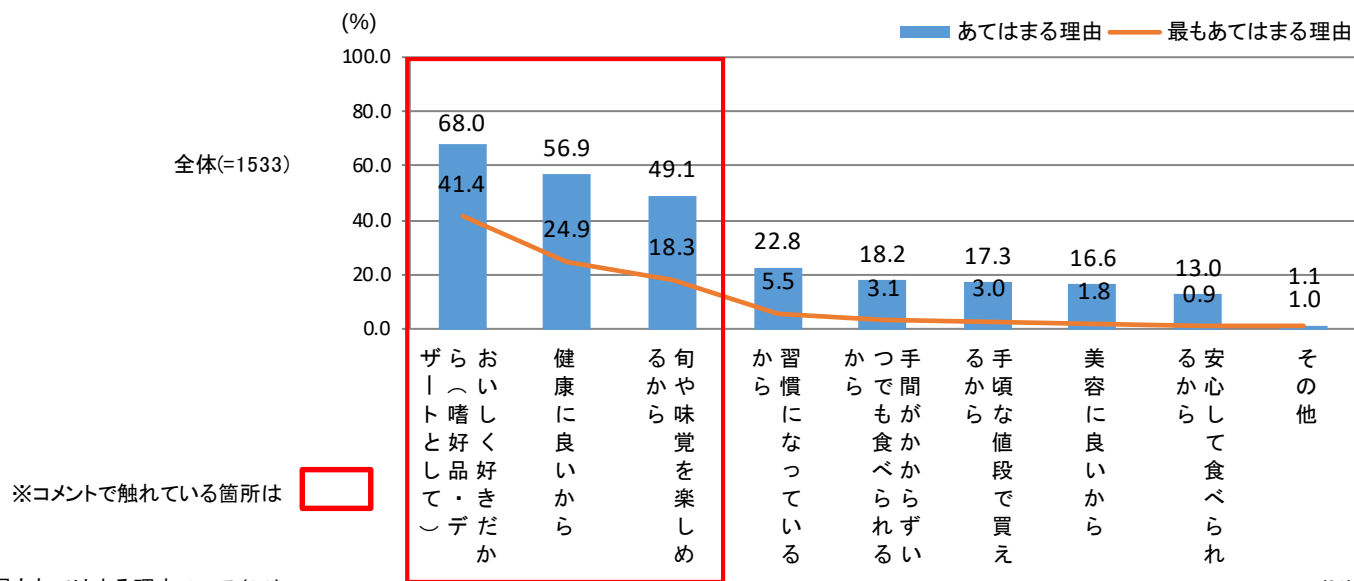
全体と比べて10ポイント以上低い。

全体と比べて5～10ポイント未満低い。

⑥ー2 果物の摂取理由〔果物月1回以上喫食層〕

- ・最もあてはまる理由では、全体で「おいしく好きだから」が最も高く、「健康に良いから」「旬や味覚を楽しめるから」が続いている。
- ・令和2年度結果と比較すると、「健康に良いから」がやや増加した。
- ・年代別でみると、『20代』では「おいしく好きだから」が5割に近い。また、『60代』では「旬や味覚を楽しめるから」が2割を超えており、他の年代より高い。
- ・性別×年代でみると、『女性20代』では「おいしく好きだから」が5割台半ば、『女性60代』では「旬や味覚を楽しめるから」が2割台半ばで、それぞれ他の層より高い。

Q3. 果物を食べる理由はなんですか。(MA) その中で最もあてはまる理由。(SA)



最もあてはまる理由スコア (SA)

		全体 (n=1533)	41.4	24.9	18.3	5.5	3.1	3.0	1.8	0.9	1.0
性別	男性	(n=718)	39.6	25.6	18.0	6.4	3.8	3.8	1.1	1.1	0.7
	女性	(n=815)	42.9	24.3	18.7	4.8	2.5	2.3	2.5	0.7	1.3
年代	20代	(n=219)	48.4	21.0	13.2	3.2	3.2	5.5	4.1	0.9	0.5
	30代	(n=287)	42.9	22.0	18.1	5.2	2.8	3.8	3.1	0.7	1.4
	40代	(n=347)	43.5	24.2	15.6	8.4	2.9	2.0	1.4	1.2	0.9
	50代	(n=287)	40.4	27.2	18.8	4.5	2.8	2.1	1.4	1.0	1.7
	60代	(n=393)	35.1	28.2	23.4	5.3	3.6	2.5	0.3	0.8	0.8
性別年代	男性20代	(n=102)	42.2	23.5	14.7	2.0	5.9	8.8	1.0	2.0	0.0
	男性30代	(n=140)	39.3	21.4	21.4	6.4	4.3	4.3	2.1	0.7	0.0
	男性40代	(n=166)	42.2	27.1	12.0	10.2	2.4	1.8	1.2	2.4	0.6
	男性50代	(n=128)	38.3	26.6	20.3	5.5	2.3	2.3	1.6	0.8	2.3
	男性60代	(n=182)	36.8	28.0	20.9	6.0	4.4	3.3	0.0	0.0	0.5
	女性20代	(n=117)	53.8	18.8	12.0	4.3	0.9	2.6	6.8	0.0	0.9
	女性30代	(n=147)	46.3	22.4	15.0	4.1	1.4	3.4	4.1	0.7	2.7
	女性40代	(n=181)	44.8	21.5	18.8	6.6	3.3	2.2	1.7	0.0	1.1
果物摂取量	200g以上	(n=199)	41.7	27.1	13.1	6.0	2.5	5.5	2.0	1.0	1.0
	100g～200g未満	(n=642)	43.9	23.4	18.8	4.8	3.1	2.2	2.2	0.8	0.8
	100g未満	(n=692)	38.9	25.7	19.4	6.1	3.2	3.0	1.4	1.0	1.3
令和2年度全体		(n=1555)	42.8	22.6	18.1	6.5	3.5	2.4	2.1	1.0	1.2

全体と比べて10ポイント以上高い。

全体と比べて5～10ポイント未満高い。

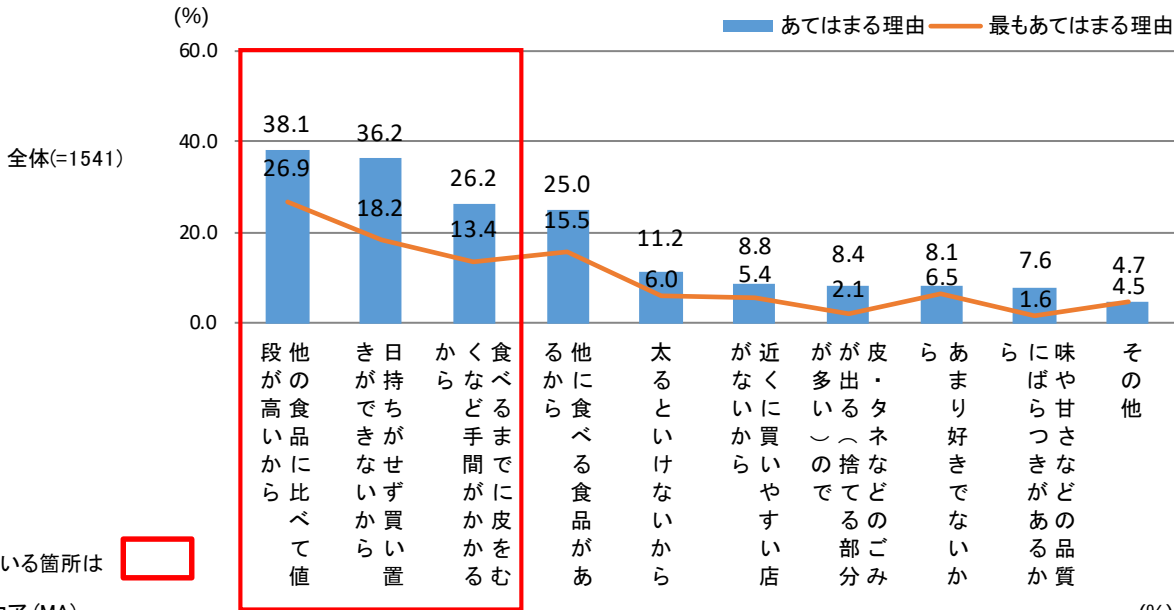
全体と比べて10ポイント以上低い。

全体と比べて5～10ポイント未満低い。

⑦ー1 果物を毎日摂らない理由〔毎日摂取者を除く〕

- あてはまる理由（複数回答）では、全体で「他の食品に比べて値段が高いから」が最も高く、次いで「日持ちがせず買い置きができないから」「食べるまでに皮をむくなど手間がかかるから」が続いている。
- 令和2年度結果と比較すると、「食べるまでに皮をむくなど手間がかかるから」が減少している。
- 性別で見ると、『女性』は「他の食品に比べて値段が高いから」が『男性』と比べて顕著に高い。
- 年代別で見ると、『60代』では「他に食べる食品があるから」が他の年代に比べて顕著に高く、最大の理由になっている。

Q 4. 果物を（毎日）食べない理由は何ですか。（MA） その中で最もあてはまる理由。（SA）



※コメントで触れている箇所は

あてはまる理由スコア (MA)

		全体 (n=1541)	38.1	36.2	26.2	25.0	11.2	8.8	8.4	8.1	7.6	4.7
性別	男性	(n=820)	31.7	34.0	23.2	26.2	9.9	11.0	8.4	9.5	6.2	4.4
	女性	(n=721)	45.4	38.7	29.5	23.6	12.6	6.4	8.3	6.5	9.2	5.0
年代	20代	(n=265)	34.7	35.8	26.8	20.8	8.3	12.1	8.7	8.7	9.1	6.4
	30代	(n=319)	42.6	41.1	29.5	21.3	9.7	9.4	10.0	7.2	7.2	4.4
	40代	(n=376)	39.4	33.2	25.5	25.3	13.6	6.4	8.2	9.0	5.9	4.0
	50代	(n=279)	39.4	36.2	26.5	20.8	10.0	8.2	6.5	10.8	8.2	5.4
	60代	(n=302)	33.4	35.1	22.5	36.1	13.2	8.9	8.3	5.0	8.3	3.6
性別年代	男性20代	(n=139)	24.5	27.3	25.2	25.2	8.6	15.1	9.4	8.6	7.2	6.5
	男性30代	(n=168)	32.7	41.7	25.6	25.0	7.7	11.3	11.3	9.5	7.1	3.6
	男性40代	(n=198)	33.8	30.3	22.2	25.8	12.1	9.1	7.6	10.1	4.5	3.0
	男性50代	(n=150)	37.3	34.7	24.7	22.0	8.7	9.3	6.0	12.7	6.7	6.0
	男性60代	(n=165)	29.1	35.8	18.8	32.7	11.5	10.9	7.9	6.7	6.1	3.6
	女性20代	(n=126)	46.0	45.2	28.6	15.9	7.9	8.7	7.9	8.7	11.1	6.3
	女性30代	(n=151)	53.6	40.4	33.8	17.2	11.9	7.3	8.6	4.6	7.3	5.3
	女性40代	(n=178)	45.5	36.5	29.2	24.7	15.2	3.4	9.0	7.9	7.3	5.1
	女性50代	(n=129)	41.9	38.0	28.7	19.4	11.6	7.0	7.0	8.5	10.1	4.7
果物摂取量	200g以上	(n=112)	26.8	39.3	28.6	18.8	20.5	8.0	5.4	6.3	8.9	1.8
	100g～200g未満	(n=420)	37.9	41.7	22.6	28.1	14.8	6.7	7.4	1.7	6.4	5.2
	100g未満	(n=542)	42.4	36.3	26.0	27.7	11.6	7.6	7.9	2.6	7.6	4.8
令和2年度全体		(n=1516)	39.0	36.9	29.2	25.6	10.4	8.8	9.2	9.0	7.8	3.9

全体と比べて10ポイント以上高い。

全体と比べて5～10ポイント未満高い。

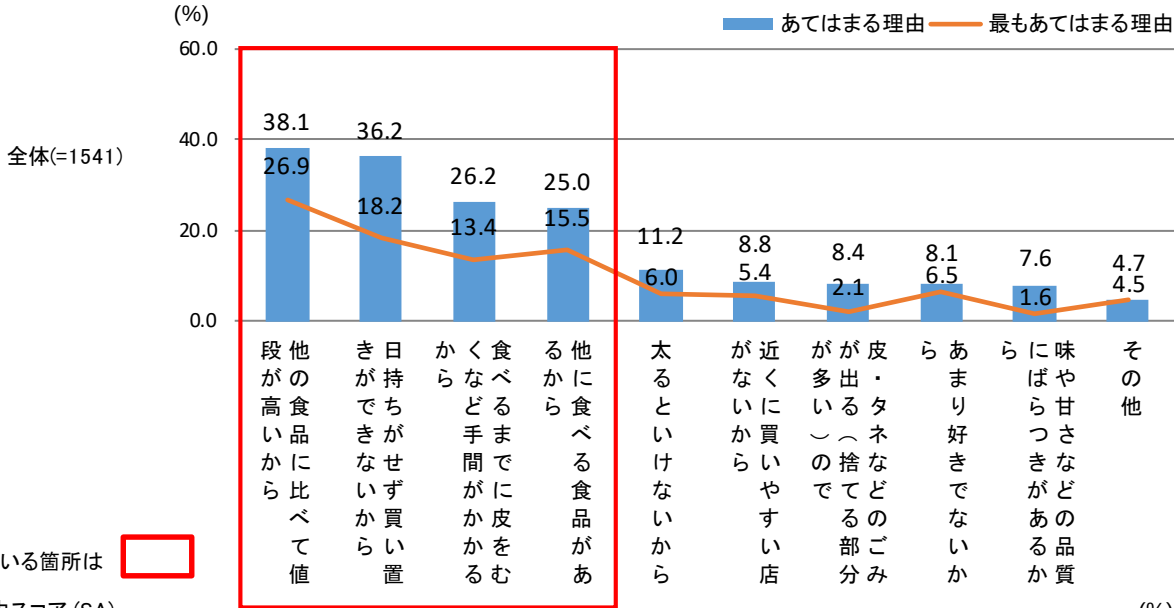
全体と比べて10ポイント以上低い。

全体と比べて5～10ポイント未満低い。

⑦ー2 果物を毎日は摂らない理由〔毎日摂取者を除く〕

- 最もあてはまる理由では、全体で「他の食品に比べて値段が高いから」が最も高く、次いで「日持ちがせず買い置きができないから」「他に食べる食品があるから」「食べるまでに皮をむくなど手間がかかるから」が続いている。
- 性別でみると、『女性』は「他の食品に比べて値段が高いから」が『男性』と比べて高い。
- 年代別でみると、『60代』では「他に食べる食品があるから」が他の年代より高く、「他の食品に比べて値段が高いから」が他の年代より低い。
- 性別×年代でみると、『女性20～30代』では「他の食品に比べて値段が高いから」が3割台後半で、他の層より高い。

Q 4. 果物を（毎日）食べない理由は何ですか。（MA） その中で最もあてはまる理由。（SA）



※コメントで触れている箇所は

最もあてはまる理由スコア (SA)

全体		(n=1541)	26.9	18.2	13.4	15.5	6.0	5.4	2.1	6.5	1.6	4.5
性別	男性	(n=820)	22.8	17.9	13.4	16.7	6.1	7.3	2.3	7.7	1.6	4.1
	女性	(n=721)	31.5	18.6	13.5	14.1	5.8	3.2	1.8	5.1	1.5	4.9
年代	20代	(n=265)	28.3	16.2	11.7	12.5	5.3	7.9	3.4	7.5	1.1	6.0
	30代	(n=319)	29.2	17.9	16.0	11.9	4.7	6.3	2.2	5.3	2.2	4.4
	40代	(n=376)	27.9	18.6	12.5	17.0	6.9	3.7	1.9	6.6	1.1	3.7
	50代	(n=279)	29.0	18.6	14.7	10.0	5.0	4.3	2.2	8.6	2.2	5.4
	60代	(n=302)	19.9	19.5	12.3	25.2	7.6	5.3	1.0	4.6	1.3	3.3
性別年代	男性20代	(n=139)	20.1	12.2	12.2	18.0	5.8	11.5	4.3	7.2	2.2	6.5
	男性30代	(n=168)	21.4	19.6	17.9	14.3	4.2	7.7	2.4	7.1	1.8	3.6
	男性40代	(n=198)	27.3	16.2	11.1	17.7	8.6	6.1	2.0	7.1	1.5	2.5
	男性50代	(n=150)	27.3	18.7	14.0	10.7	4.7	4.7	2.0	10.7	1.3	6.0
	男性60代	(n=165)	17.0	22.4	12.1	22.4	6.7	7.3	1.2	6.7	1.2	3.0
	女性20代	(n=126)	37.3	20.6	11.1	6.3	4.8	4.0	2.4	7.9	0.0	5.6
	女性30代	(n=151)	37.7	15.9	13.9	9.3	5.3	4.6	2.0	3.3	2.6	5.3
	女性40代	(n=178)	28.7	21.3	14.0	16.3	5.1	1.1	1.7	6.2	0.6	5.1
	女性50代	(n=129)	31.0	18.6	15.5	9.3	5.4	3.9	2.3	6.2	3.1	4.7
女性60代	(n=137)	23.4	16.1	12.4	28.5	8.8	2.9	0.7	2.2	1.5	3.6	
果物摂取量	200g以上	(n=112)	21.4	18.8	15.2	13.4	14.3	7.1	1.8	3.6	3.6	0.9
	100g～200g未満	(n=420)	27.1	23.8	11.0	16.2	9.0	3.8	1.9	1.0	1.2	5.0
	100g未満	(n=542)	29.5	18.6	13.5	19.0	5.0	3.9	2.4	2.2	1.3	4.6
令和2年度全体		(n=1516)	27.9	17.7	14.2	15.1	6.1	5.4	1.4	7.1	1.8	3.3

全体と比べて10ポイント以上高い。

全体と比べて5～10ポイント未満高い。

全体と比べて10ポイント以上低い。

全体と比べて5～10ポイント未満低い。

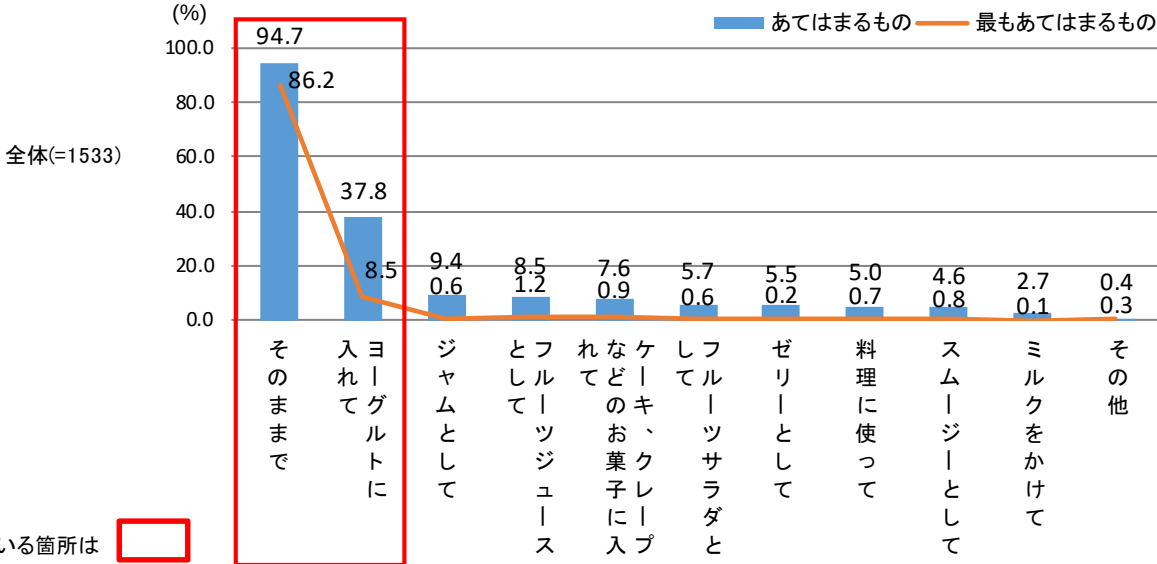
⑧果物の摂取方法〔果物月1回以上喫食層〕

- あてはまるものは、全体では「そのまま」が突出しており、次いで「ヨーグルトに入れて」が高い。最もあてはまるものも、全体では「そのまま」が突出して高く、次いで、「ヨーグルトに入れて」が1割弱で続く。
- 性別でみると、『女性』は「ヨーグルトに入れて」が4割超で、『男性』より高い。
- 年代別でみると、『60代』は「ヨーグルトに入れて」が4割超で、他年代より高い。
- 果物摂取量別でみると、『200g以上』の層では、他の層と比べて「そのまま」がやや低く、「フルーツジュースとして」「ケーキ、クレープなどのお菓子に入れて」「フルーツサラダとして」が顕著に高い。

Q 8. あなたは主にどのような食べ方・手段で、果物を食べていますか？

当てはまるものをすべてお選びください。（MA）

また、最も当てはまるものをひとつお選びください。（SA）



※コメントで触れている箇所は あてはまるものスコア (MA)

			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全体		(n=1533)	94.7	37.8	9.4	8.5	7.6	5.7	5.5	5.0	4.6	2.7	0.4
性別	男性	(n=718)	94.2	32.6	7.2	7.9	6.1	5.2	4.3	5.4	3.6	3.1	0.1
	女性	(n=815)	95.1	42.3	11.3	9.0	8.8	6.1	6.6	4.7	5.4	2.5	0.6
年代	20代	(n=219)	93.6	37.9	10.0	10.5	11.9	5.9	10.5	4.1	6.8	1.4	0.0
	30代	(n=287)	93.0	38.0	10.5	11.5	12.2	6.3	6.6	5.2	8.7	2.1	0.7
	40代	(n=347)	95.7	33.7	8.4	7.8	6.3	3.7	4.9	6.3	3.2	2.6	0.0
	50代	(n=287)	95.5	35.9	8.0	6.3	6.6	4.5	4.9	4.9	1.7	2.4	0.3
	60代	(n=393)	94.9	42.5	10.2	7.4	3.6	7.6	3.1	4.3	3.6	4.3	0.8
性別年代	男性20代	(n=102)	92.2	31.4	9.8	10.8	8.8	7.8	8.8	5.9	2.9	2.0	0.0
	男性30代	(n=140)	92.9	32.9	12.1	11.4	14.3	7.1	7.9	7.1	6.4	1.4	0.0
	男性40代	(n=166)	95.8	28.9	4.8	7.8	3.6	2.4	3.6	7.8	3.0	3.0	0.0
	男性50代	(n=128)	94.5	31.3	4.7	3.9	4.7	2.3	1.6	3.1	2.3	2.3	0.0
	男性60代	(n=182)	94.5	37.4	6.0	6.6	1.6	6.6	1.6	3.3	3.3	5.5	0.5
	女性20代	(n=117)	94.9	43.6	10.3	10.3	14.5	4.3	12.0	2.6	10.3	0.9	0.0
	女性30代	(n=147)	93.2	42.9	8.8	11.6	10.2	5.4	5.4	3.4	10.9	2.7	1.4
	女性40代	(n=181)	95.6	38.1	11.6	7.7	8.8	5.0	6.1	5.0	3.3	2.2	0.0
果物摂取量	100g～200g未満	(n=159)	96.2	39.6	10.7	8.2	8.2	6.3	7.5	6.3	1.3	2.5	0.6
	100g未満	(n=211)	95.3	46.9	13.7	8.1	5.2	8.5	4.3	5.2	3.8	3.3	0.9
	200g以上	(n=199)	89.4	45.7	13.6	19.1	14.6	12.1	7.5	9.5	11.1	4.0	0.5
100g～200g未満		(n=642)	95.8	40.5	10.0	8.6	6.2	5.3	4.7	4.7	4.8	3.1	0.3
100g未満		(n=692)	95.1	32.9	7.7	5.3	6.8	4.2	5.8	4.0	2.5	2.0	0.4
令和2年度全体		(n=1555)	93.2	40.0	10.2	10.9	6.8	6.8	7.0	6.5	4.8	3.3	0.5

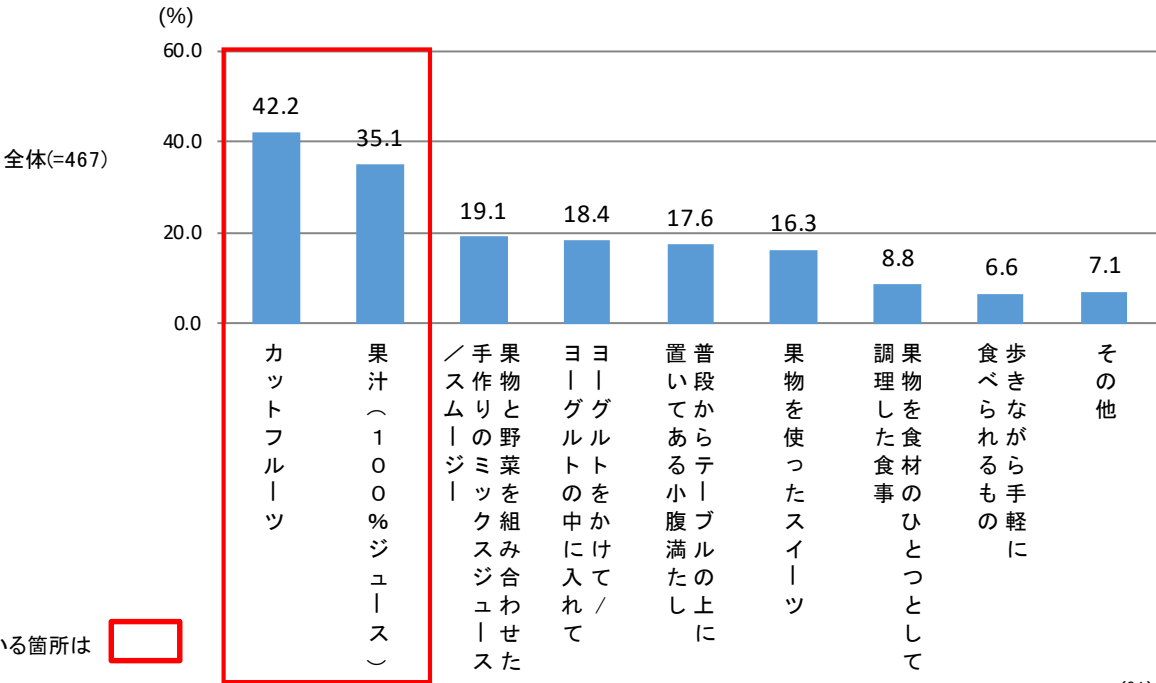
全体と比べて10ポイント以上高い。	全体と比べて5～10ポイント未満高い。
全体と比べて10ポイント以上低い。	全体と比べて5～10ポイント未満低い。

⑨果物の摂取を増加できると思う方法〔果物非喫食層〕

- 全体では、「カットフルーツ」が最も高く、「果汁（１００％ジュース）」が続く。
- 令和２年度結果と比較すると、「果汁（１００％ジュース）」が減少し、「ヨーグルトをかけて/ヨーグルトの中に入れて」「普段からテーブルの上に置いてある小腹満たし」が増加している。
- 性別でみると、『女性』では「果物を使ったスイーツ」が『男性』より顕著に高い。
- 年代別でみると、『３０代』では「果物を使ったスイーツ」、『５０代』では「果汁（１００％ジュース）」が、それぞれ他の年代より高い。
- 性別×年代でみると、『女性２０～３０代』では「カットフルーツ」が５割台半ばで、他の層より高い。

Q 9. どのような食べ方であれば、今までよりも多く果物を食べることができると思いますか。

当てはまるものを全て選んでください。（MA）



全体		(n=467)	42.2	35.1	19.1	18.4	17.6	16.3	8.8	6.6	7.1
性別	男性	(n=283)	42.4	33.9	19.4	16.6	17.0	11.7	8.1	7.8	7.1
	女性	(n=184)	41.8	37.0	18.5	21.2	18.5	23.4	9.8	4.9	7.1
年代	20代	(n=91)	44.0	36.3	23.1	19.8	19.8	17.6	7.7	5.5	1.1
	30代	(n=103)	46.6	34.0	19.4	19.4	20.4	25.2	12.6	10.7	5.8
	40代	(n=113)	45.1	37.2	23.9	19.5	15.9	17.7	8.8	7.1	7.1
	50代	(n=100)	37.0	41.0	14.0	19.0	15.0	8.0	8.0	5.0	9.0
	60代	(n=60)	35.0	21.7	11.7	11.7	16.7	10.0	5.0	3.3	15.0
性別年代	男性20代	(n=56)	37.5	32.1	23.2	19.6	17.9	16.1	3.6	8.9	0.0
	男性30代	(n=57)	40.4	38.6	26.3	15.8	21.1	26.3	15.8	12.3	7.0
	男性40代	(n=66)	50.0	34.8	22.7	13.6	18.2	7.6	10.6	6.1	9.1
	男性50代	(n=65)	41.5	38.5	13.8	18.5	12.3	3.1	6.2	7.7	7.7
	男性60代	(n=39)	41.0	20.5	7.7	15.4	15.4	5.1	2.6	2.6	12.8
	女性20代	(n=35)	54.3	42.9	22.9	20.0	22.9	20.0	14.3	0.0	2.9
	女性30代	(n=46)	54.3	28.3	10.9	23.9	19.6	23.9	8.7	8.7	4.3
	女性40代	(n=47)	38.3	40.4	25.5	27.7	12.8	31.9	6.4	8.5	4.3
	女性50代	(n=35)	28.6	45.7	14.3	20.0	20.0	17.1	11.4	0.0	11.4
	女性60代	(n=21)	23.8	23.8	19.0	4.8	19.0	19.0	9.5	4.8	19.0
令和2年度全体		(n=445)	39.8	40.2	19.8	15.3	14.8	17.1	8.3	8.3	4.9

全体と比べて10ポイント以上高い。

全体と比べて5～10ポイント未満高い。

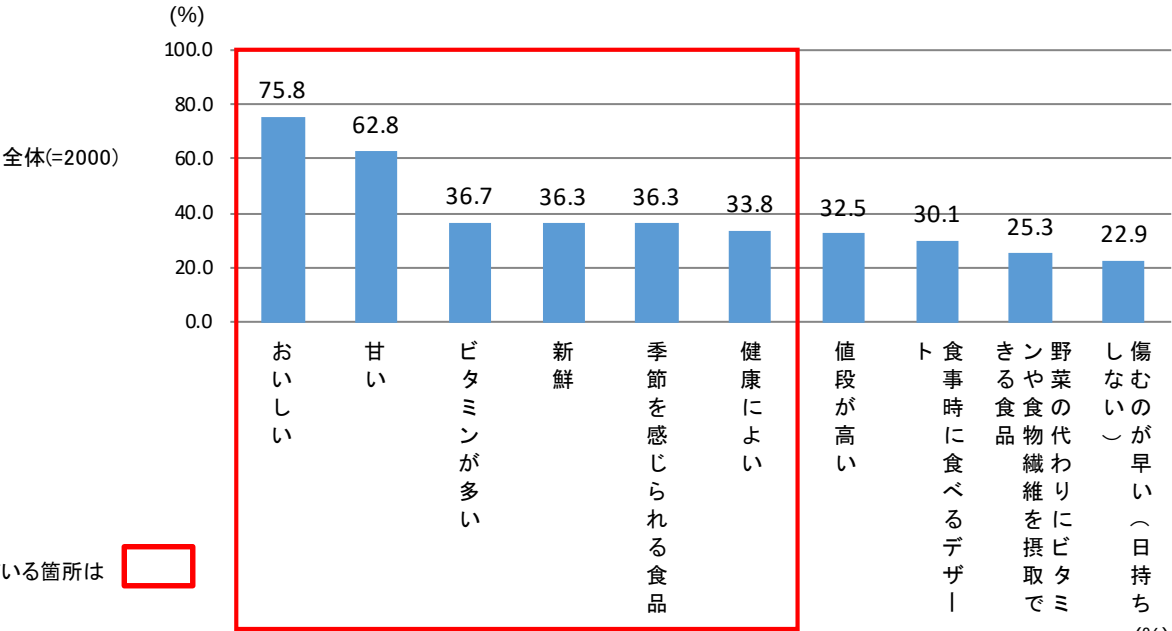
全体と比べて10ポイント以上低い。

全体と比べて5～10ポイント未満低い。

⑩果物のイメージ

- 全体では、「おいしい」が最も高く、次いで「甘い」が続く。以下、「ビタミンが多い」「新鮮」「季節を感じられる食品」「健康によい」の順となった。
- 性別でみると、『女性』は「ビタミンが多い」「季節を感じられる食品」「値段が高い」「野菜の代わりにビタミンや食物繊維を摂取できる食品」「傷むのが早い」「生活に彩りや潤いを添えてくれる存在」「美肌に効果がある」というイメージが『男性』より顕著に高い。
- 性別×年代でみると、『女性20代』では「おいしい」が8割台後半となるなど、全般的にスコアが高く、果物に対するイメージが豊富であることがうかがわれる。

Q10. あなたは果物にどのようなイメージがありますか。(MA)

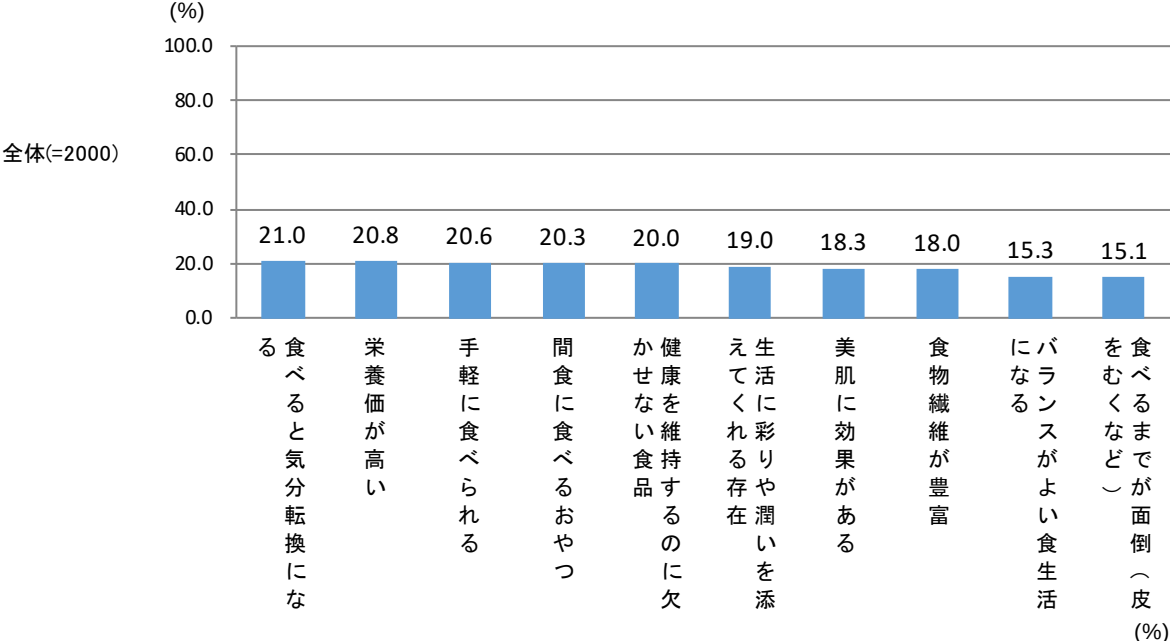


※コメントで触れている箇所は

全体		(n=2000)	75.8	62.8	36.7	36.3	36.3	33.8	32.5	30.1	25.3	22.9
性別	男性	(n=1001)	71.3	62.6	30.7	32.0	26.1	29.6	25.2	25.6	18.2	17.5
	女性	(n=999)	80.2	63.0	42.7	40.6	46.4	38.0	39.7	34.6	32.3	28.2
年代	20代	(n=310)	76.5	70.0	39.0	42.9	32.9	36.8	30.0	29.0	33.5	27.7
	30代	(n=390)	75.6	66.7	39.2	38.7	37.2	35.1	41.5	30.0	33.1	25.9
	40代	(n=460)	77.2	62.0	32.6	31.7	34.3	29.8	28.5	28.0	23.3	22.8
	50代	(n=387)	74.4	62.3	35.9	33.1	35.1	30.5	37.5	28.4	20.2	21.7
	60代	(n=453)	75.1	55.8	37.7	37.1	40.6	37.5	26.0	34.4	19.2	17.9
性別年代	男性20代	(n=158)	66.5	61.4	31.6	33.5	20.3	29.1	19.0	19.6	18.4	17.1
	男性30代	(n=197)	71.6	67.0	35.5	35.0	31.0	37.1	33.0	26.9	26.9	21.3
	男性40代	(n=232)	76.3	62.5	25.4	30.6	22.8	25.9	21.6	25.0	17.2	14.7
	男性50代	(n=193)	72.0	63.7	33.2	29.5	23.8	25.9	29.0	23.8	16.6	18.7
	男性60代	(n=221)	68.8	58.8	29.0	31.7	31.2	30.3	23.1	30.8	12.7	16.3
	女性20代	(n=152)	86.8	78.9	46.7	52.6	46.1	44.7	41.4	38.8	49.3	38.8
	女性30代	(n=193)	79.8	66.3	43.0	42.5	43.5	33.2	50.3	33.2	39.4	30.6
	女性40代	(n=228)	78.1	61.4	39.9	32.9	46.1	33.8	35.5	31.1	29.4	31.1
	女性50代	(n=194)	76.8	60.8	38.7	36.6	46.4	35.1	45.9	33.0	23.7	24.7
	女性60代	(n=232)	81.0	53.0	46.1	42.2	49.6	44.4	28.9	37.9	25.4	19.4
果物摂取量	200g以上	(n=199)	83.4	63.8	41.2	45.7	40.7	39.2	22.6	31.2	29.1	16.6
	100g～200g未満	(n=642)	83.0	65.7	41.3	44.9	43.8	41.4	30.8	35.7	29.8	23.1
	100g未満	(n=692)	80.8	63.7	37.3	32.9	37.4	34.5	33.4	30.9	26.6	23.3
令和2年度全体		(n=2000)	76.3	64.4	40.1	37.6	41.6	34.5	33.8	30.2	27.5	22.7

全体と比べて10ポイント以上高い。	全体と比べて5～10ポイント未満高い。
全体と比べて10ポイント以上低い。	全体と比べて5～10ポイント未満低い。

2. アンケート調査の分析結果 ― (1) 日常の果物の消費行動



全体		(n=2000)	21.0	20.8	20.6	20.3	20.0	19.0	18.3	18.0	15.3	15.1
性別	男性	(n=1001)	17.1	19.1	16.9	16.3	18.2	12.9	9.3	16.8	11.3	11.9
	女性	(n=999)	24.9	22.5	24.3	24.2	21.8	25.0	27.2	19.2	19.3	18.2
年代	20代	(n=310)	23.2	28.4	18.7	23.2	22.9	21.6	24.8	18.7	21.3	16.1
	30代	(n=390)	26.9	26.9	15.6	23.1	19.7	21.8	24.1	20.0	17.4	17.7
	40代	(n=460)	20.2	19.6	17.6	17.0	15.2	15.4	16.7	12.8	12.4	17.8
	50代	(n=387)	17.8	18.1	21.2	15.5	19.6	19.1	15.8	17.3	13.4	14.2
	60代	(n=453)	17.9	13.9	28.7	23.2	23.4	18.1	12.4	21.6	13.9	9.9
性別年代	男性20代	(n=158)	15.2	21.5	14.6	16.5	19.0	13.3	10.1	13.9	15.2	10.8
	男性30代	(n=197)	24.4	26.9	16.2	19.8	19.8	17.8	17.3	22.8	15.2	17.3
	男性40代	(n=232)	18.5	17.2	16.4	17.2	13.4	9.9	8.6	11.2	6.5	12.5
	男性50代	(n=193)	11.9	18.1	16.1	8.3	17.6	10.4	5.7	17.6	10.9	10.9
	男性60代	(n=221)	14.9	13.1	20.4	19.0	21.7	13.6	5.4	18.6	10.4	8.1
	女性20代	(n=152)	31.6	35.5	23.0	30.3	27.0	30.3	40.1	23.7	27.6	21.7
	女性30代	(n=193)	29.5	26.9	15.0	26.4	19.7	25.9	31.1	17.1	19.7	18.1
	女性40代	(n=228)	21.9	21.9	18.9	16.7	17.1	21.1	25.0	14.5	18.4	23.2
	女性50代	(n=194)	23.7	18.0	26.3	22.7	21.6	27.8	25.8	17.0	16.0	17.5
	女性60代	(n=232)	20.7	14.7	36.6	27.2	25.0	22.4	19.0	24.6	17.2	11.6
果物摂取量	200g以上	(n=199)	33.7	21.1	32.7	29.1	28.1	26.1	24.1	25.6	20.6	10.1
	100g～200g未満	(n=642)	26.2	25.1	28.2	23.5	27.9	23.7	23.1	24.1	19.8	14.2
	100g未満	(n=692)	19.4	22.1	20.1	19.4	17.1	18.4	17.2	15.6	15.9	14.6
令和2年度全体		(n=2000)	20.2	19.8	23.4	21.2	19.9	20.0	19.8	19.7	14.5	15.8

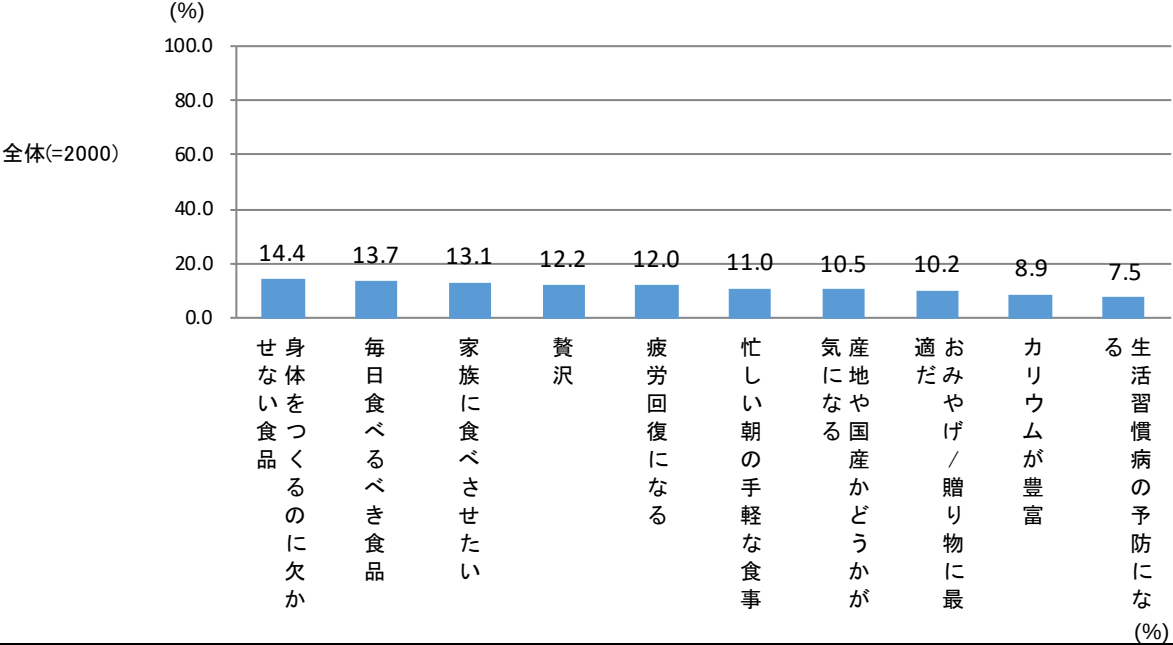
全体と比べて10ポイント以上高い。

全体と比べて5～10ポイント未満高い。

全体と比べて10ポイント以上低い。

全体と比べて5～10ポイント未満低い。

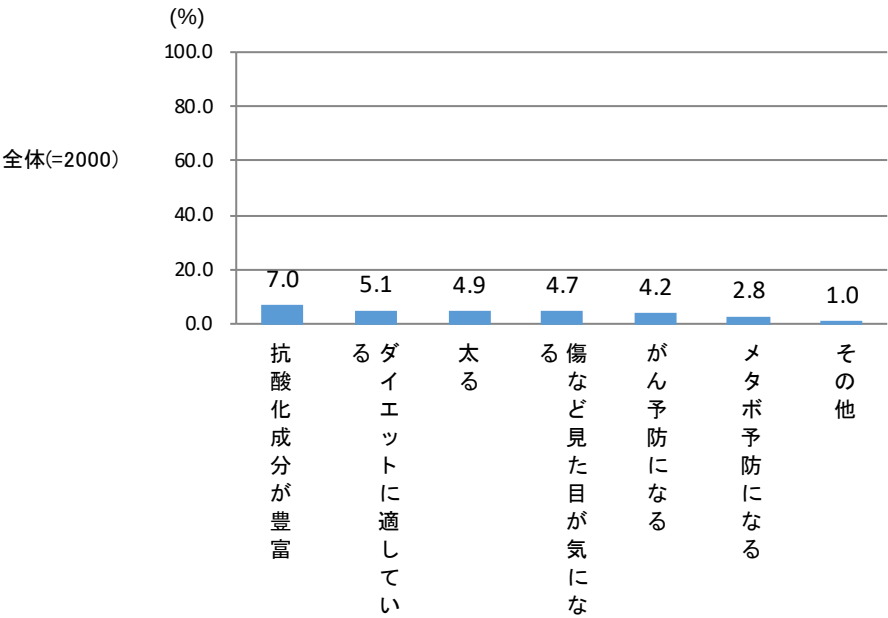
2. アンケート調査の分析結果 ― (1) 日常の果物の消費行動



全体		(n=2000)	14.4	13.7	13.1	12.2	12.0	11.0	10.5	10.2	8.9	7.5
性別	男性	(n=1001)	13.5	11.2	8.8	8.4	10.7	7.9	6.8	8.5	6.8	7.7
	女性	(n=999)	15.3	16.1	17.4	15.9	13.2	14.0	14.1	11.8	10.9	7.2
年代	20代	(n=310)	20.0	15.8	10.0	16.5	12.6	19.7	11.3	15.2	5.5	8.4
	30代	(n=390)	16.4	14.1	16.2	16.9	10.3	13.8	12.1	10.3	9.5	9.2
	40代	(n=460)	12.4	11.5	15.4	13.7	13.7	9.1	8.3	10.7	8.3	7.2
	50代	(n=387)	12.7	12.4	14.0	11.1	10.9	8.8	11.9	7.8	9.3	6.2
	60代	(n=453)	12.4	15.0	9.5	4.4	12.1	6.2	9.5	8.2	10.8	6.6
性別年代	男性20代	(n=158)	20.9	15.2	7.0	10.8	10.1	11.4	9.5	8.9	3.8	9.5
	男性30代	(n=197)	16.8	12.2	12.7	12.2	11.2	12.2	8.1	9.6	9.6	10.2
	男性40代	(n=232)	10.3	8.6	8.2	8.6	11.6	8.6	4.3	9.5	6.0	6.0
	男性50代	(n=193)	9.8	11.9	8.8	9.3	9.3	5.2	9.3	8.3	7.3	7.3
	男性60代	(n=221)	11.8	9.5	7.2	2.3	10.9	3.2	4.1	6.3	6.8	6.3
	女性20代	(n=152)	19.1	16.4	13.2	22.4	15.1	28.3	13.2	21.7	7.2	7.2
	女性30代	(n=193)	16.1	16.1	19.7	21.8	9.3	15.5	16.1	10.9	9.3	8.3
	女性40代	(n=228)	14.5	14.5	22.8	18.9	15.8	9.6	12.3	11.8	10.5	8.3
	女性50代	(n=194)	15.5	12.9	19.1	12.9	12.4	12.4	14.4	7.2	11.3	5.2
	女性60代	(n=232)	12.9	20.3	11.6	6.5	13.4	9.1	14.7	9.9	14.7	6.9
果物摂取量	200g以上	(n=199)	18.6	26.1	17.6	8.5	16.6	16.6	15.6	16.6	12.6	10.1
	100g～200g未満	(n=642)	18.2	18.8	16.8	11.4	15.4	13.6	12.6	11.1	11.7	11.5
	100g未満	(n=692)	14.9	11.3	13.4	11.8	11.7	10.8	9.4	8.4	8.1	6.2
令和2年度全体		(n=2000)	14.7	13.5	15.4	12.8	13.1	10.9	10.1	11.7	10.2	7.9

全体と比べて10ポイント以上高い。	全体と比べて5～10ポイント未満高い。
全体と比べて10ポイント以上低い。	全体と比べて5～10ポイント未満低い。

2. アンケート調査の分析結果 ― (1) 日常の果物の消費行動



			(%)						
全体		(n=2000)	7.0	5.1	4.9	4.7	4.2	2.8	1.0
性別	男性	(n=1001)	5.3	5.0	3.6	4.1	3.6	3.3	1.2
	女性	(n=999)	8.7	5.1	6.2	5.2	4.8	2.3	0.7
年代	20代	(n=310)	8.7	12.6	2.6	7.1	4.8	4.5	0.0
	30代	(n=390)	8.2	7.2	3.8	6.4	4.4	4.4	1.0
	40代	(n=460)	6.1	4.6	5.2	5.2	4.1	2.4	0.4
	50代	(n=387)	6.5	1.0	6.5	4.4	3.6	1.0	1.6
	60代	(n=453)	6.2	2.0	5.7	1.1	4.2	2.2	1.5
性別年代	男性20代	(n=158)	5.7	8.9	1.3	5.7	5.1	5.7	0.0
	男性30代	(n=197)	9.1	7.1	4.6	6.6	6.1	6.6	2.0
	男性40代	(n=232)	4.7	5.2	4.3	4.3	3.9	2.6	0.4
	男性50代	(n=193)	4.1	0.5	3.6	3.1	1.0	0.0	1.6
	男性60代	(n=221)	3.2	4.1	3.6	1.4	2.3	2.3	1.8
	女性20代	(n=152)	11.8	16.4	3.9	8.6	4.6	3.3	0.0
	女性30代	(n=193)	7.3	7.3	3.1	6.2	2.6	2.1	0.0
	女性40代	(n=228)	7.5	3.9	6.1	6.1	4.4	2.2	0.4
	女性50代	(n=194)	8.8	1.5	9.3	5.7	6.2	2.1	1.5
	女性60代	(n=232)	9.1	0.0	7.8	0.9	6.0	2.2	1.3
果物摂取量	200g以上	(n=199)	12.1	9.5	4.5	4.0	8.0	7.0	0.5
	100g～200g未満	(n=642)	10.1	5.8	5.9	4.8	6.2	3.9	0.0
	100g未満	(n=692)	5.3	4.6	4.5	4.0	3.2	1.6	0.9
令和2年度全体		(n=2000)	8.0	4.9	6.3	5.2	4.6	3.7	0.8

全体と比べて10ポイント以上高い。

全体と比べて5～10ポイント未満高い。

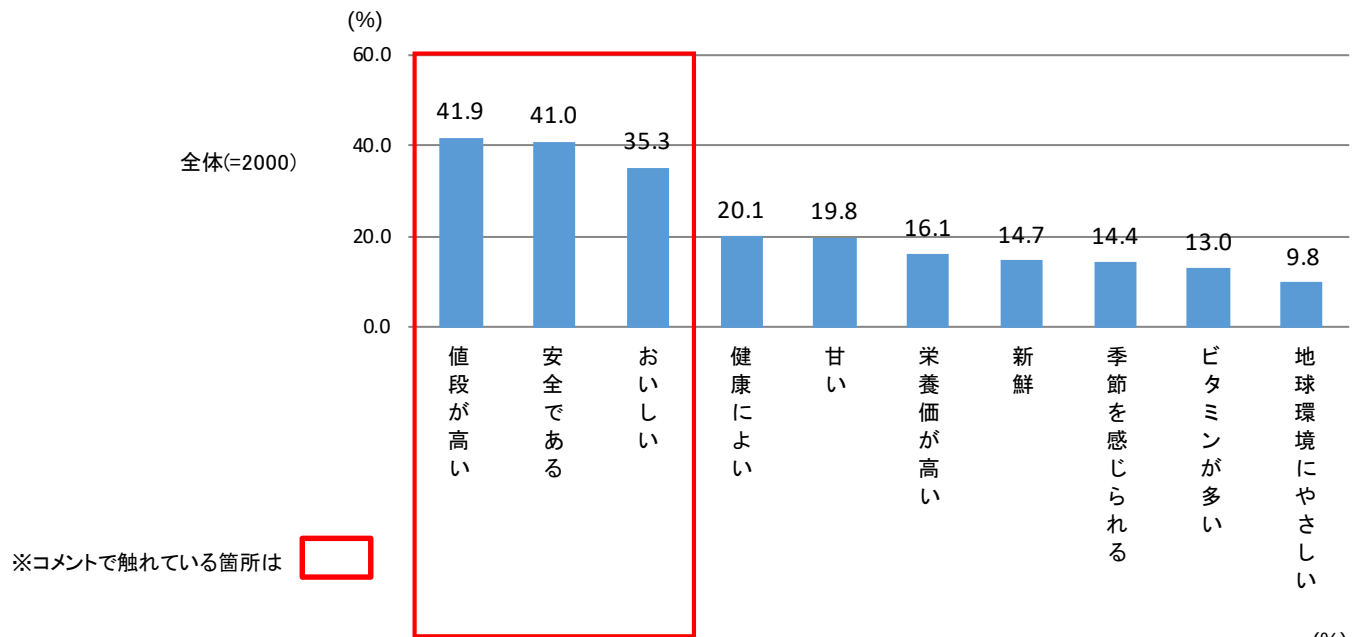
全体と比べて10ポイント以上低い。

全体と比べて5～10ポイント未満低い。

⑪有機栽培の果物のイメージ

- 全体では「値段が高い」「安全である」が4割強でほぼ並んだ。次いで、「おいしい」が3割台半ばで続いている。
- 性別でみると、『女性』では「値段が高い」「安全である」の割合が『男性』より顕著に高い。
- 性別×年代でみると、『女性50代』では「値段が高い」が5割台前半、『女性60代』では「安心である」が5割台後半で、それぞれ他の層より高い。
- 果物摂取量別でみると、摂取量が増えるほど、「おいしい」「栄養価が高い」「新鮮」「美肌に効果がある」のスコアが高くなる傾向が顕著である。

Q 1 1. あなたは有機栽培の果物にどのようなイメージがありますか。(MA)



												(%)
全体		(n=2000)	41.9	41.0	35.3	20.1	19.8	16.1	14.7	14.4	13.0	9.8
性別	男性	(n=1001)	35.6	32.9	35.0	18.9	21.2	14.8	13.5	13.8	11.9	7.5
	女性	(n=999)	48.1	49.1	35.5	21.2	18.3	17.3	15.8	14.9	14.1	12.1
年代	20代	(n=310)	36.1	39.4	39.7	22.6	25.2	19.7	18.4	12.6	16.1	11.9
	30代	(n=390)	39.7	37.9	37.9	22.1	22.1	14.9	15.6	14.9	14.9	11.3
	40代	(n=460)	40.0	37.0	38.3	16.5	19.3	16.5	12.2	12.0	11.1	8.0
	50代	(n=387)	48.3	44.7	33.1	18.1	19.4	16.5	14.0	15.5	12.4	8.0
	60代	(n=453)	43.9	45.7	28.7	21.9	14.8	13.7	14.3	16.6	11.7	10.4
性別年代	男性20代	(n=158)	25.9	26.6	38.6	20.9	24.7	17.7	16.5	12.0	14.6	8.9
	男性30代	(n=197)	35.5	32.5	39.1	20.8	25.9	15.7	15.2	15.2	14.7	10.7
	男性40代	(n=232)	32.8	31.9	42.2	15.9	21.6	16.8	12.5	12.9	11.2	3.9
	男性50代	(n=193)	43.5	37.8	31.1	17.1	20.7	11.9	11.9	11.9	9.8	6.2
	男性60代	(n=221)	38.5	34.4	24.4	20.4	14.5	12.2	12.2	16.3	10.0	8.6
	女性20代	(n=152)	46.7	52.6	40.8	24.3	25.7	21.7	20.4	13.2	17.8	15.1
	女性30代	(n=193)	44.0	43.5	36.8	23.3	18.1	14.0	16.1	14.5	15.0	11.9
	女性40代	(n=228)	47.4	42.1	34.2	17.1	17.1	16.2	11.8	11.0	11.0	12.3
	女性50代	(n=194)	53.1	51.5	35.1	19.1	18.0	21.1	16.0	19.1	14.9	9.8
女性60代	(n=232)	49.1	56.5	32.8	23.3	15.1	15.1	16.4	16.8	13.4	12.1	
果物摂取量	200g以上	(n=199)	44.7	45.7	46.7	24.1	25.1	23.6	22.6	20.1	18.1	10.6
	100g～200g未満	(n=642)	45.3	48.4	40.5	26.5	22.1	19.2	19.2	19.6	16.4	12.5
	100g未満	(n=692)	42.6	42.6	34.8	18.6	20.2	14.0	12.4	12.4	11.8	9.5

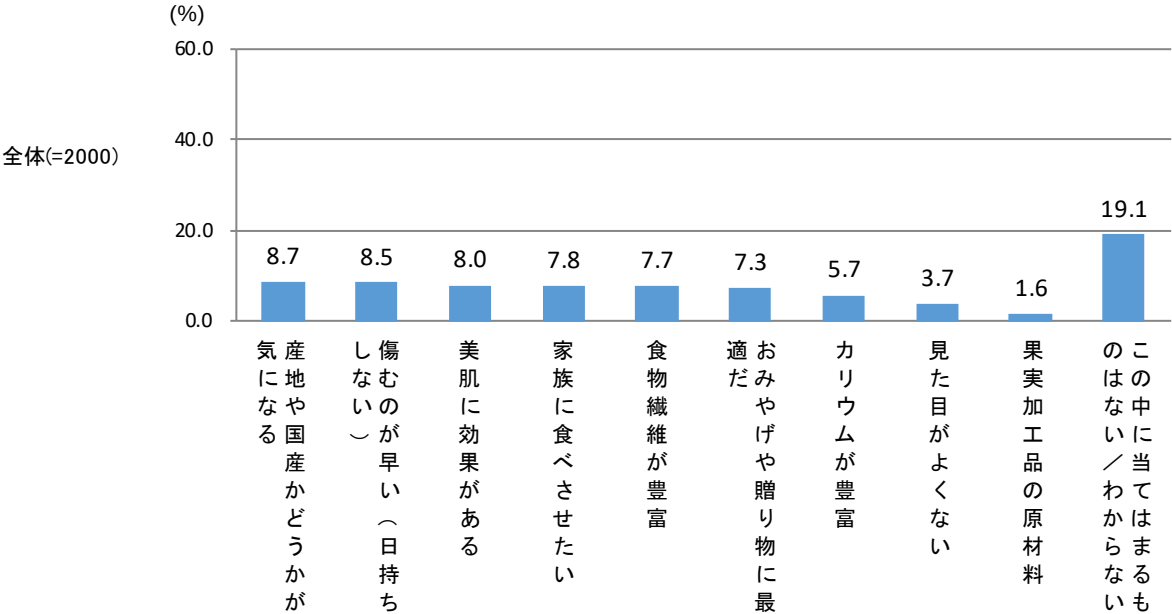
全体と比べて10ポイント以上高い。

全体と比べて5～10ポイント未満高い。

全体と比べて10ポイント以上低い。

全体と比べて5～10ポイント未満低い。

2. アンケート調査の分析結果 ― (1) 日常の果物の消費行動



全体		(n=2000)	8.7	8.5	8.0	7.8	7.7	7.3	5.7	3.7	1.6	19.1
性別	男性	(n=1001)	7.2	8.6	5.5	6.0	7.7	6.0	5.5	3.8	1.5	22.8
	女性	(n=999)	10.2	8.4	10.4	9.6	7.7	8.6	5.8	3.6	1.6	15.3
年代	20代	(n=310)	8.1	10.0	11.3	6.8	11.0	11.6	7.4	4.8	2.3	21.6
	30代	(n=390)	11.0	12.1	9.2	9.0	8.2	7.9	5.4	4.4	3.6	19.7
	40代	(n=460)	7.4	5.9	6.7	7.4	5.2	7.0	5.2	2.2	0.9	17.2
	50代	(n=387)	7.8	5.9	7.8	7.8	8.5	6.2	5.4	4.1	0.8	20.4
	60代	(n=453)	9.3	9.3	6.0	7.9	6.8	5.1	5.3	3.5	0.7	17.4
性別年代	男性20代	(n=158)	8.2	10.8	8.9	6.3	11.4	8.2	7.6	5.7	1.9	26.6
	男性30代	(n=197)	10.7	12.2	6.6	7.6	8.6	8.1	5.6	4.6	4.6	21.3
	男性40代	(n=232)	5.6	6.0	6.0	5.2	4.3	6.9	5.2	2.2	0.9	21.1
	男性50代	(n=193)	5.7	7.3	4.1	4.1	8.3	3.1	3.6	4.1	0.0	24.4
	男性60代	(n=221)	6.3	7.7	2.7	6.8	7.2	4.1	5.9	3.2	0.5	21.7
	女性20代	(n=152)	7.9	9.2	13.8	7.2	10.5	15.1	7.2	3.9	2.6	16.4
	女性30代	(n=193)	11.4	11.9	11.9	10.4	7.8	7.8	5.2	4.1	2.6	18.1
	女性40代	(n=228)	9.2	5.7	7.5	9.6	6.1	7.0	5.3	2.2	0.9	13.2
	女性50代	(n=194)	9.8	4.6	11.3	11.3	8.8	9.3	7.2	4.1	1.5	16.5
	女性60代	(n=232)	12.1	10.8	9.1	9.1	6.5	6.0	4.7	3.9	0.9	13.4
果物摂取量	200g以上	(n=199)	11.1	11.6	13.6	9.5	11.6	10.1	10.1	6.0	3.5	10.6
	100g～200g未満	(n=642)	11.4	9.3	10.3	11.2	10.9	7.8	7.8	5.0	1.7	12.9
	100g未満	(n=692)	8.7	7.5	6.6	7.2	6.5	7.7	4.8	2.5	0.9	18.9

全体と比べて10ポイント以上高い。	全体と比べて5～10ポイント未満高い。
全体と比べて10ポイント以上低い。	全体と比べて5～10ポイント未満低い。

(1) 日常の果物の消費行動 まとめ

- 果物を200g以上摂取できている人の割合は13.0%で、令和2年度調査(13.4%)からわずかに減少。
 - 果物をほぼ毎日摂取している人は23.0%。週1回以上摂取している人は57.9%で、令和2年度調査(60.5%)から減少している。
→摂取量、摂取頻度ともに減少傾向。
 - 女性、高齢層は、男性、若年層よりも摂取頻度が高い。
 - 「おいしく好きだから」「手間がかからずいつでも食べられるから」「美容によいから」「安心して食べられるから」果物を摂取する人が減少傾向。
→明確な理由によって、果物を摂取する人が減少傾向にある。
 - 果物を毎日摂らない理由では、「他の食品に比べて値段が高いから」が最多。
 - 大半の場合において、果物は「そのまま」で摂取されている。
-
- ・ 1日あたりの果物の摂取量では、「50g～100g未満」が31.9%で最多。次いで「100g～150g未満」が29.3%で、50g～150g未満が6割強を占めるボリュームゾーン。200g以上摂取できている人は13.0%。(p14)
 - ・ 200g以上摂取できている人の割合は、令和2年度調査の13.4%からわずかながら減少している。(p14)
 - ・ 1日あたりの摂取量が200g未満の人の摂取できていない理由は、「値段が高く食費に余裕がないから」「一度にそんなに量を食べられないから」「他に食べる食品があるから」が上位となっている。(p15～16)
-
- ・ 果物の摂取頻度では、両極端の「ほとんど食べない」(23.4%)と「ほぼ毎日」(23.0%)がほぼ拮抗。次いで、「月1～3日」「週1～2日」が、ともに2割弱。(p18)
 - ・ 女性や60代は、男性や若年層よりも摂取頻度が高い傾向がみられる。(p18)
 - ・ 摂取している時間帯では「夕食時」「朝食時」がトップ2。次に「間食のおやつ時」が続く。(p19～20)
 - ・ 令和2年度調査と比較すると、「昼食時」が増加し、「朝食時」が減少。(p20～21)
 - ・ 全年代の男性と女性20代は「夕食時」、女性30～60代は「朝食時」の割合が、それぞれ最も高い。(p19)
 - ・ 摂取理由は「おいしく好きだから」「健康に良いから」「旬や味覚を楽しめるから」の順。(p21～22)
 - ・ 令和2年度調査と比較すると、「おいしく好きだから」「手間がかからずいつでも食べられるから」「美容によいから」「安心して食べられるから」がやや減少。(p21)
 - ・ 果物摂取量が少ない層は全般的に低スコアで、果物を食べる理由に乏しい。(p21)
 - ・ 一方、果物を毎日摂らない理由は、「他の食品に比べて値段が高いから」「日持ちがせず買い置きができないから」が中心。(p23～24)
 - ・ 令和2年度調査と比較すると、「食べるまでに皮をむくなど手間がかかるから」が減少。(p23)
 - ・ 60代では「他に食べる食品があるから」が最大の理由。(p23～24)
-
- ・ 果物の摂取方法では「そのまま」が突出して高い。(p25)
 - ・ 果物の摂取を増加できると思う方法(食べ方)では「カットフルーツ」が最も高く、「果汁(100%ジュース)」が続く。(p26)
 - ・ 令和2年度調査と比較すると、「果汁(100%ジュース)」が減少し、「ヨーグルトをかけて/ヨーグルトの中に入れて」「普段からテーブルの上に置いてある小腹満たし」が増加。(p26)
-
- ・ 果物のイメージでは「おいしい」が75.8%でトップ。次いで「甘い」が62.8%で、この2つがイメージの中心である。(p27～30)
 - ・ 女性は「ビタミンが多い」「季節を感じられる食品」「値段が高い」「野菜の代わりにビタミンや食物繊維を摂取できる食品」「傷むのが早い」「生活に彩りや潤いを添えてくれる存在」「美肌に効果がある」というイメージが男性より顕著に高い。(p27～30)

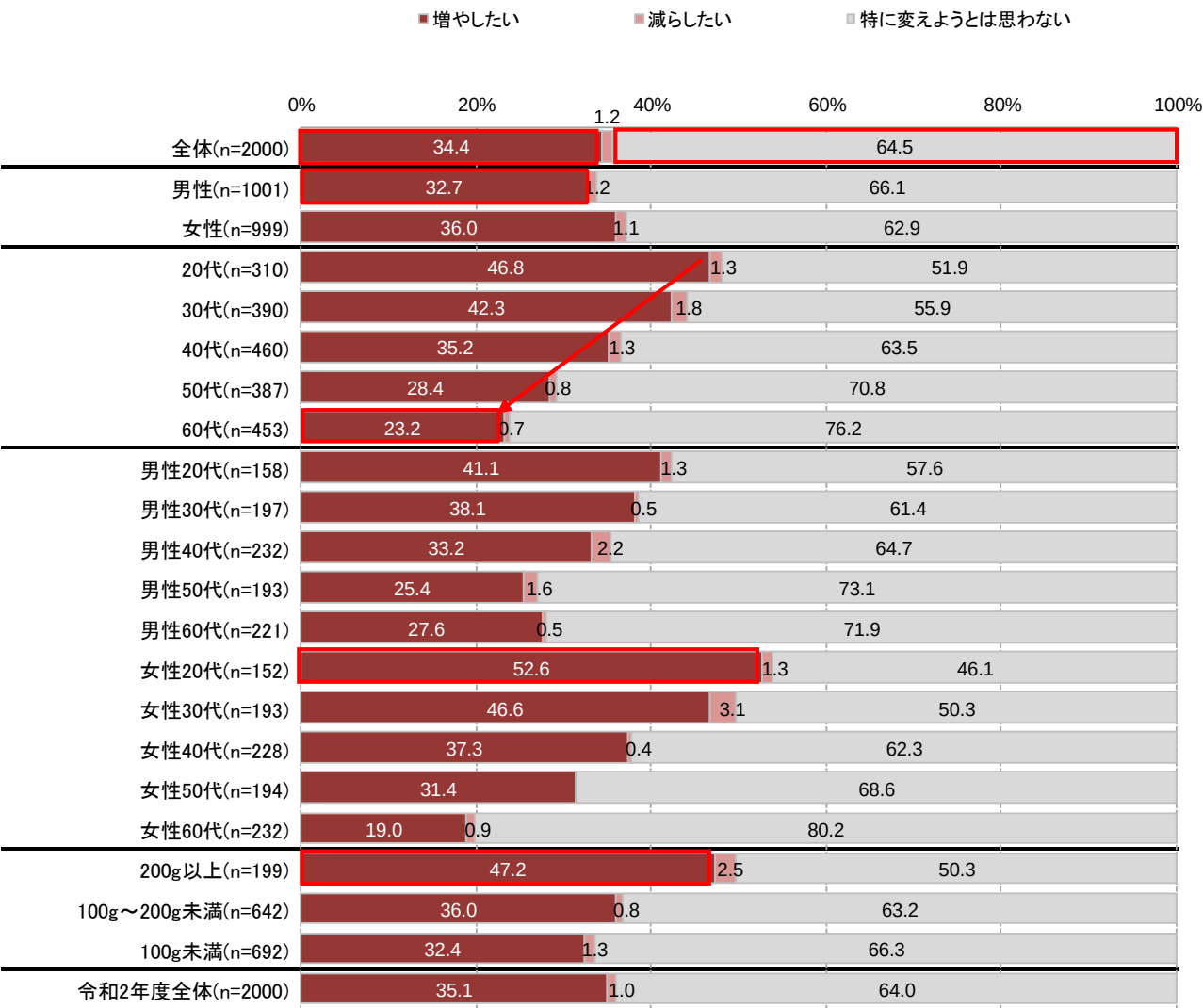
（２）今後の果物の摂取意向

①今後の果物の摂取量の変化

- 全体では、「特に変えようとは思わない」が6割台半ばを占めている。次いで、「増やしたい」が3割台半ばで、「減らしたい」はごくわずか。
- 性別でみると、『男性』は「増やしたい」の割合が『女性』よりも低い。
- 年代別にみると、高年代層ほど「増やしたい」の割合が低く、『60代』では2割台前半にとどまる。
- 性別×年代でみると、『女性20代』では「増やしたい」が5割を超えており、他の層より高い。
- 果物摂取量別でみると、『200g以上』の層では、「増やしたい」が4割台後半で、他の層より高い。

Q 6. あなたは今後、果物を食べる量を増やしたいと思いますか。(SA)

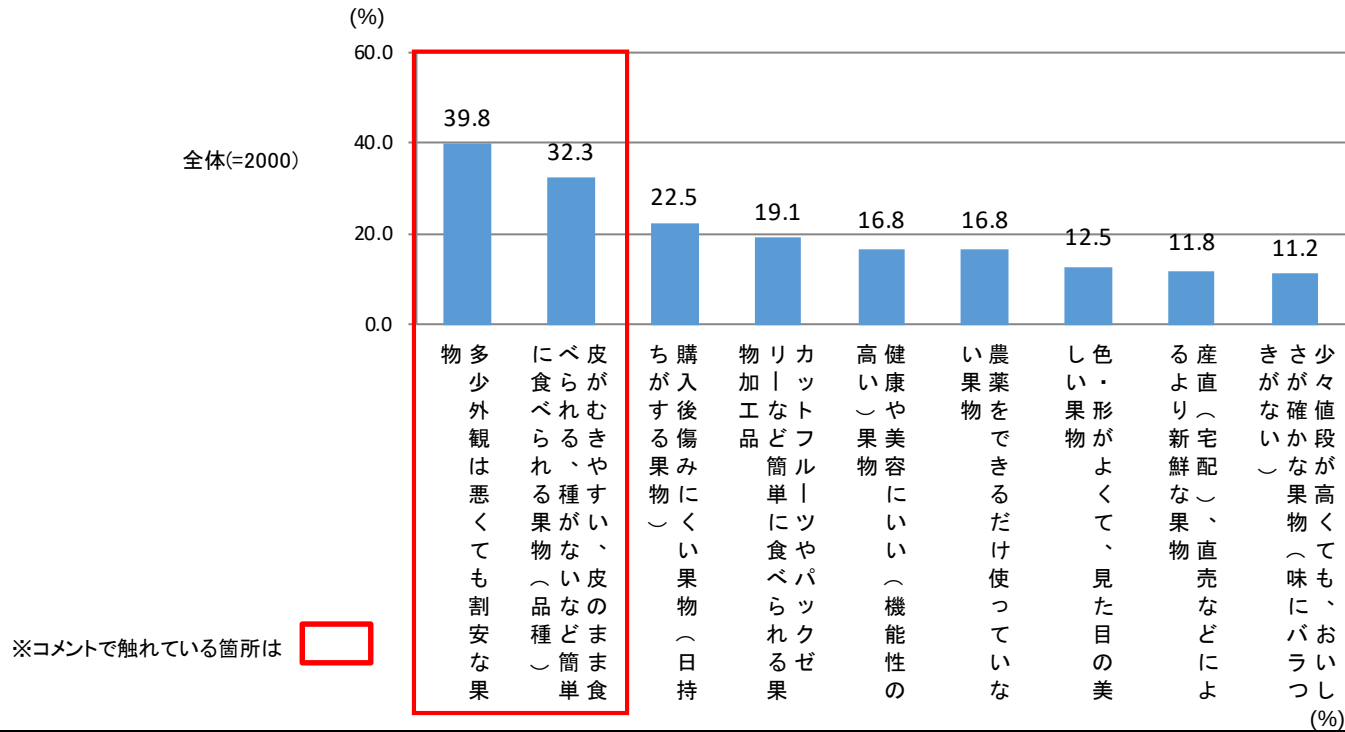
※コメントで触れている箇所は



②果物の消費量を増やすための提供方法

- 全体では「多少外観は悪くても割安な果物」が最も高く、「皮がむきやすい、皮のまま食べられる、種がないなど簡単に食べられる果物」が続く。
- 令和2年度結果と比較すると、「多少外観は悪くても割安な果物」が増加し、「皮がむきやすい、皮のまま食べられる、種がないなど簡単に食べられる果物」が減少した。
- 性別でみると、『女性』は「皮がむきやすい、皮のまま食べられる、種がないなど簡単に食べられる果物」の割合が『男性』より顕著に高い。
- 果物摂取量が多いほど「色・形がよくて、見た目の美しい果物」「生産者、栽培履歴などの栽培情報がわかる果物」の割合が高くなる傾向が顕著である。

Q 1 2. どのような果物が提供されれば、果物をより多く食べるようになると思いますか。(MA)



全体		(n=2000)	39.8	32.3	22.5	19.1	16.8	16.8	12.5	11.8	11.2
性別	男性	(n=1001)	35.2	25.7	18.9	19.4	12.4	12.9	14.1	9.7	10.5
	女性	(n=999)	44.3	38.9	26.0	18.8	21.1	20.6	10.8	13.8	11.8
年代	20代	(n=310)	31.3	36.1	22.3	26.1	19.0	13.2	21.3	10.3	9.7
	30代	(n=390)	42.1	35.4	27.7	22.6	17.9	14.4	13.3	9.5	10.3
	40代	(n=460)	39.3	34.1	23.3	18.3	13.3	14.1	11.1	10.9	10.2
	50代	(n=387)	43.2	31.5	20.7	19.6	16.0	17.3	10.3	10.6	12.1
	60代	(n=453)	41.1	25.8	18.8	11.7	18.3	23.4	8.8	16.6	13.0
	60代	(n=453)	41.1	25.8	18.8	11.7	18.3	23.4	8.8	16.6	13.0
性別年代	男性20代	(n=158)	24.1	25.9	13.3	24.1	8.9	10.1	19.6	8.9	7.0
	男性30代	(n=197)	38.1	28.9	22.8	23.9	13.7	12.7	17.3	10.7	10.7
	男性40代	(n=232)	35.3	26.7	19.8	21.6	10.8	11.2	13.4	7.8	10.8
	男性50代	(n=193)	38.9	25.4	17.1	17.1	13.0	12.4	12.4	8.8	11.4
	男性60代	(n=221)	37.1	21.7	19.9	11.8	14.9	17.2	9.5	12.2	11.8
	女性20代	(n=152)	38.8	46.7	31.6	28.3	29.6	16.4	23.0	11.8	12.5
	女性30代	(n=193)	46.1	42.0	32.6	21.2	22.3	16.1	9.3	8.3	9.8
	女性40代	(n=228)	43.4	41.7	26.8	14.9	15.8	17.1	8.8	14.0	9.6
	女性50代	(n=194)	47.4	37.6	24.2	22.2	19.1	22.2	8.2	12.4	12.9
	女性60代	(n=232)	44.8	29.7	17.7	11.6	21.6	29.3	8.2	20.7	14.2
果物摂取量	200g以上	(n=199)	35.7	33.7	20.6	22.6	24.6	26.1	20.6	18.6	16.6
	100g～200g未満	(n=642)	48.0	38.8	27.3	19.8	23.5	24.0	13.7	16.2	13.4
	100g未満	(n=692)	41.8	30.6	21.7	14.2	15.3	14.6	10.5	11.0	11.1
令和2年度全体		(n=2000)	35.2	39.4	26.1	22.4	22.2	17.1	17.2	14.0	12.0

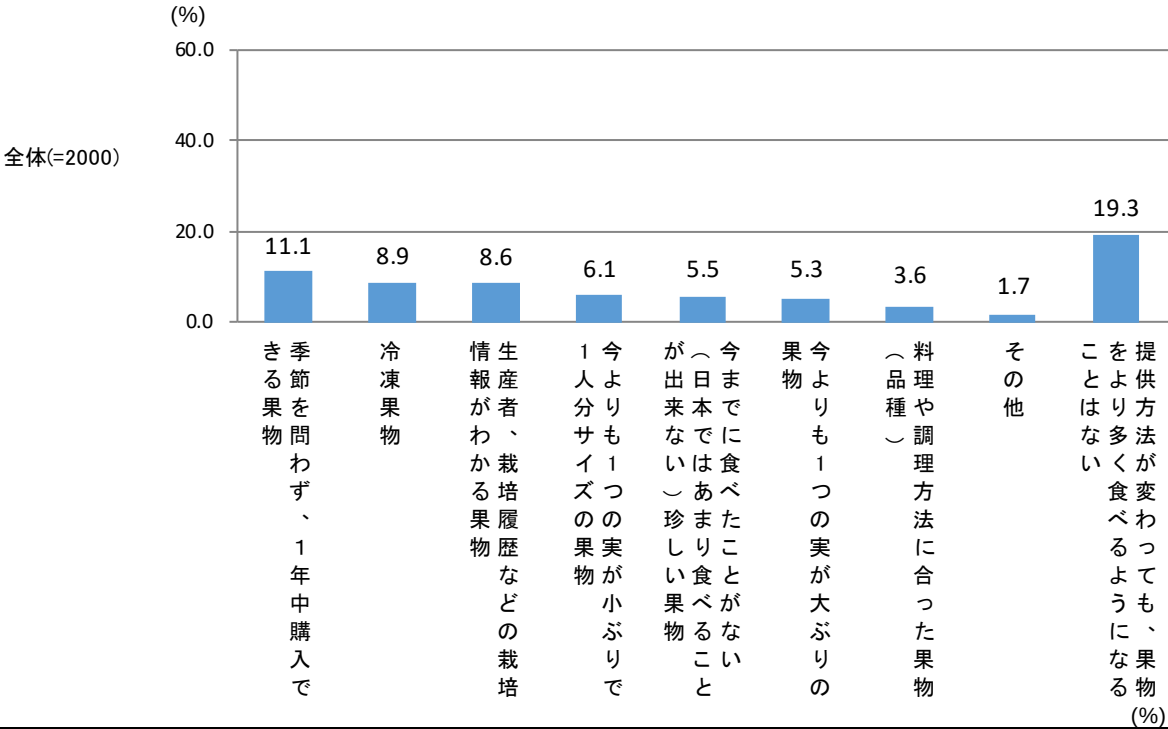
全体と比べて10ポイント以上高い。

全体と比べて5～10ポイント未満高い。

全体と比べて10ポイント以上低い。

全体と比べて5～10ポイント未満低い。

2. アンケート調査の分析結果 ― (2) 今後の果物の摂取意向



全体		(n=2000)	11.1	8.9	8.6	6.1	5.5	5.3	3.6	1.7	19.3
性別	男性	(n=1001)	9.2	8.8	7.3	4.9	5.4	6.9	3.7	1.8	23.6
	女性	(n=999)	13.0	8.9	9.8	7.2	5.5	3.7	3.4	1.5	15.0
年代	20代	(n=310)	10.3	14.2	9.0	9.7	7.1	8.1	5.8	1.0	21.3
	30代	(n=390)	12.6	13.1	9.0	7.2	6.7	7.4	5.4	2.1	18.5
	40代	(n=460)	12.0	7.2	4.6	5.7	5.2	4.6	2.8	2.2	17.0
	50代	(n=387)	11.1	7.5	7.8	4.4	3.1	3.4	1.6	1.6	20.4
	60代	(n=453)	9.5	4.4	12.6	4.4	5.5	4.0	2.9	1.3	20.1
性別年代	男性20代	(n=158)	7.0	12.7	10.1	8.2	5.7	10.8	5.7	0.6	28.5
	男性30代	(n=197)	9.1	12.2	8.6	6.1	6.6	8.6	6.1	1.5	21.3
	男性40代	(n=232)	10.3	7.8	3.4	5.2	5.6	6.9	3.0	2.6	21.6
	男性50代	(n=193)	9.8	7.3	6.2	3.1	2.6	2.6	0.5	1.6	22.8
	男性60代	(n=221)	9.0	5.4	9.0	2.7	6.3	6.3	3.6	2.3	24.9
	女性20代	(n=152)	13.8	15.8	7.9	11.2	8.6	5.3	5.9	1.3	13.8
	女性30代	(n=193)	16.1	14.0	9.3	8.3	6.7	6.2	4.7	2.6	15.5
	女性40代	(n=228)	13.6	6.6	5.7	6.1	4.8	2.2	2.6	1.8	12.3
	女性50代	(n=194)	12.4	7.7	9.3	5.7	3.6	4.1	2.6	1.5	18.0
	女性60代	(n=232)	9.9	3.4	15.9	6.0	4.7	1.7	2.2	0.4	15.5
果物摂取量	200g以上	(n=199)	16.6	10.6	17.1	9.5	9.5	13.6	6.0	0.0	10.1
	100g～200g未満	(n=642)	13.9	9.7	12.9	6.2	7.3	6.2	4.4	1.9	10.1
	100g未満	(n=692)	9.7	6.9	6.4	6.9	4.9	4.2	2.5	1.9	20.2
令和2年度全体		(n=2000)	14.3	9.0	9.3	6.9	6.0	5.2	4.1	1.4	14.1

全体と比べて10ポイント以上高い。

全体と比べて5～10ポイント未満高い。

全体と比べて10ポイント以上低い。

全体と比べて5～10ポイント未満低い。

(2) 今後の果物の摂取意向 まとめ

- 34.4%の人が果物の摂取量を増やしたいと考えている。
 - 摂取量を増やしたいと考えている人の割合は、前回調査からほぼ横ばい。
 - 男性、高齢層の「増やしたい」の割合は低め。
 - 果物の摂取量を増やすための提供方法では、「多少外観は悪くても割安な果物」「皮がむきやすい、皮のまま食べられる、種がないなど簡単に食べられる果物」が中心。
 - 果物摂取量が多いほど「色・形がよくて、見た目の美しい果物」「生産者、栽培履歴などの栽培情報がわかる果物」の割合が高い。
→品質向上や関連情報の提供強化により、ヘビーユーザーの摂取量をより拡大できる可能性がうかがわれる。
-
- ・ 今後の果物の摂取量についての意向では、「特に変えようとは思わない」が64.5%を占めるが、「増やしたい」も34.4%に上っており、「減らしたい」という人はほとんどいない。(p35)
 - ・ 摂取量を増やしたい人の割合は令和2年度調査(35.1%)からほぼ横ばい。(p35)
 - ・ 男性では「増やしたい」が32.7%にとどまり、女性の36.0%を下回っている。(p35)
 - ・ 年代が高くなるほど、摂取量を増やしたい人の割合が低くなる傾向。(p35)
 - ・ 果物の摂取量を増やすための提供方法では、「多少外観は悪くても割安な果物」が最も高く、「皮がむきやすい、皮のまま食べられる、種がないなど簡単に食べられる果物」が続く。(p36~37)
 - ・ 令和2年度結果と比較すると、「多少外観は悪くても割安な果物」が増加し、「皮がむきやすい、皮のまま食べられる、種がないなど簡単に食べられる果物」が減少。(p36~37)
 - ・ 女性は「皮がむきやすい、皮のまま食べられる、種がないなど簡単に食べられる果物」の割合が男性より顕著に高い。(p36~37)
 - ・ 果物摂取量が多いほど、「色・形がよくて、見た目の美しい果物」「生産者、栽培履歴などの栽培情報がわかる果物」の割合が高くなる傾向が顕著。(p36~37)

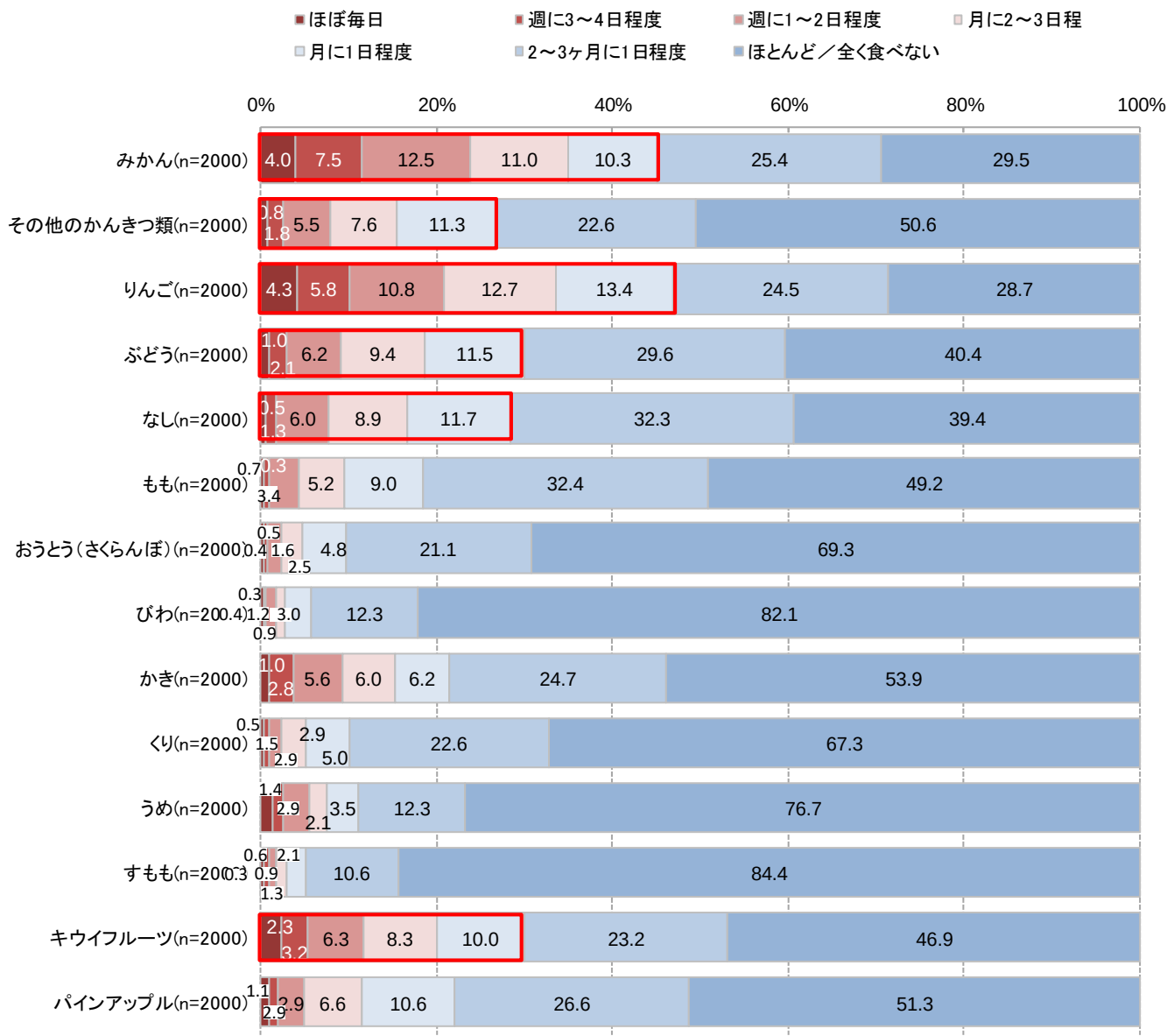
(3) 果樹振興法14品目について

①ー 1 果樹振興法14品目の喫食

- 「月に1日程度」以上の割合を比較すると、『りんご』が4割台後半で最も高く、『みかん』が4割台半ばで続く。以下、『ぶどう』『キウイフルーツ』『なし』『その他のかんきつ類』が3割～2割台後半が続いている。

Q 1 4. 以下のそれぞれの食材について、あなたがそれを召し上げる量・頻度をお答えください。(S A)

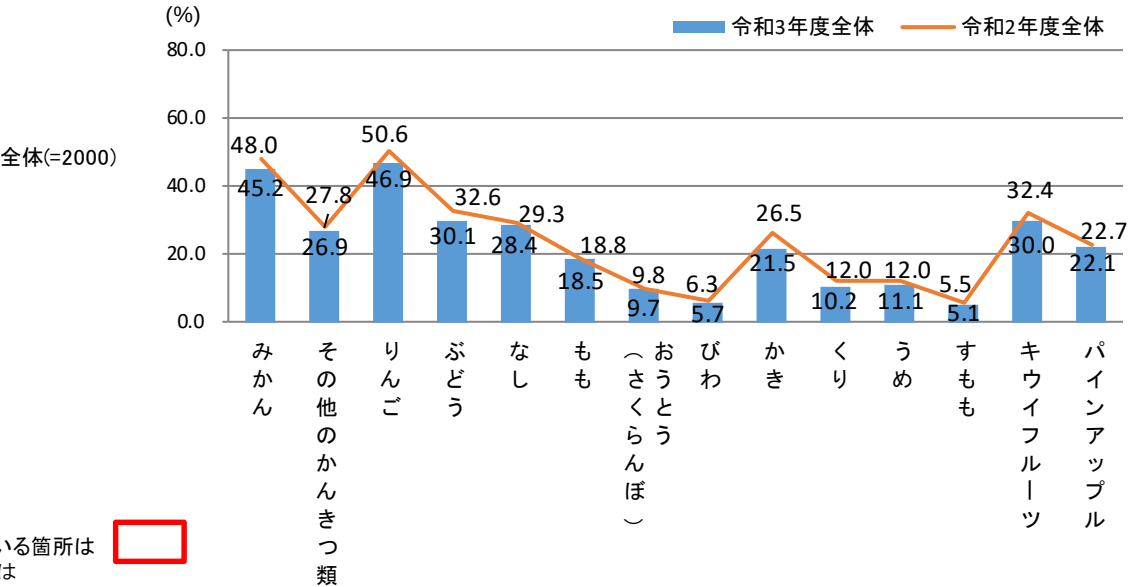
※コメントで触れている箇所は



①－2 果樹振興法14品目の喫食（月1回以上喫食）

- 令和2年度結果と比較すると、上位の「りんご」「みかん」「ぶどう」がいずれも減少した。
- 性別でみると、『女性』は「キウイフルーツ」「かき」を月1回以上喫食している割合が『男性』より顕著に高い。
- 年代別にみると、『60代』の月1回以上喫食している割合が全般的に高く、特に「りんご」「みかん」は6割以上となっている。
- 果物摂取量別でみると、全品目で摂取量が多いほど月1回以上喫食している割合が高く、特に「りんご」「みかん」については、『200g以上』の層の月1回以上喫食している割合がともに7割台前半に及んでいる。

Q14. 以下のそれぞれの食材について、あなたがそれを召し上がる量・頻度をお答えください。（SA）



※コメントで触れている箇所は
※グラフのスコアは
「月1回以上喫食」のスコア

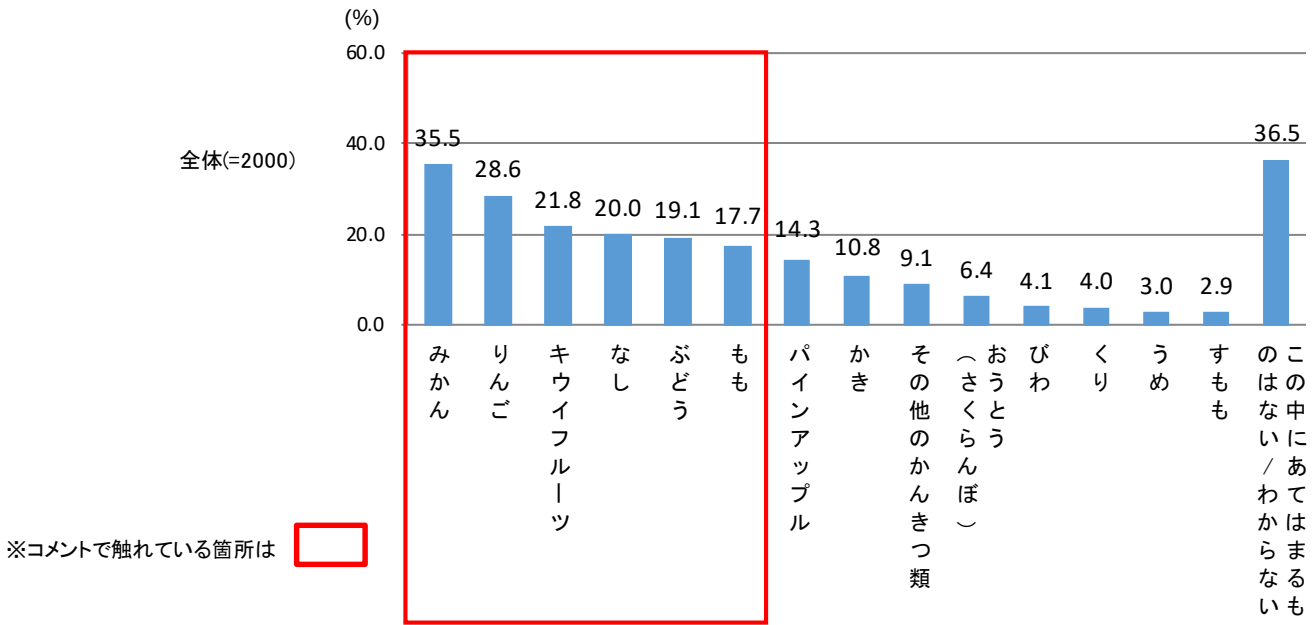
			(%)														
全体			(n=2000)	45.2	26.9	46.9	30.1	28.4	18.5	9.7	5.7	21.5	10.2	11.1	5.1	30.0	22.1
性別	男性	(n=1001)	41.8	25.2	43.9	26.3	26.0	18.5	10.5	6.5	16.9	11.0	12.2	6.3	23.5	20.2	
	女性	(n=999)	48.5	28.5	49.9	33.8	30.7	18.4	8.8	4.9	26.0	9.3	10.0	3.9	36.5	24.0	
年代	20代	(n=310)	43.2	22.6	41.3	28.7	26.1	18.7	12.9	8.4	15.5	12.9	15.2	8.1	27.7	22.6	
	30代	(n=390)	40.3	21.5	40.3	26.4	24.4	14.9	9.0	6.7	16.4	8.7	10.8	5.6	27.2	20.3	
	40代	(n=460)	41.5	24.3	41.5	26.7	23.9	18.7	9.6	5.2	16.7	8.0	8.5	4.6	26.1	21.1	
	50代	(n=387)	38.5	22.7	42.4	24.8	24.8	12.4	6.7	2.6	19.4	7.8	8.3	3.4	27.6	20.9	
	60代	(n=453)	60.0	40.4	65.8	41.9	40.8	26.3	10.6	6.2	36.4	13.7	13.7	4.6	40.0	25.4	
性別年代	男性20代	(n=158)	41.8	22.2	43.0	25.3	24.1	20.3	14.6	11.4	13.3	14.6	17.1	11.4	21.5	20.3	
	男性30代	(n=197)	37.6	21.8	39.1	20.3	21.3	14.2	11.2	7.1	11.7	9.1	10.2	6.6	19.3	16.8	
	男性40代	(n=232)	41.8	25.9	42.2	27.2	23.7	19.4	10.8	6.0	12.5	8.6	9.9	6.5	23.3	22.4	
	男性50代	(n=193)	32.6	18.1	33.7	17.6	19.7	11.4	6.2	2.6	15.0	5.7	9.3	3.1	20.7	16.6	
	男性60代	(n=221)	53.4	35.7	59.3	38.9	39.4	26.2	10.4	6.3	30.3	17.2	15.4	5.0	31.2	24.0	
	女性20代	(n=152)	44.7	23.0	39.5	32.2	28.3	17.1	11.2	5.3	17.8	11.2	13.2	4.6	34.2	25.0	
	女性30代	(n=193)	43.0	21.2	41.5	32.6	27.5	15.5	6.7	6.2	21.2	8.3	11.4	4.7	35.2	23.8	
	女性40代	(n=228)	41.2	22.8	40.8	26.3	24.1	18.0	8.3	4.4	21.1	7.5	7.0	2.6	28.9	19.7	
	女性50代	(n=194)	44.3	27.3	51.0	32.0	29.9	13.4	7.2	2.6	23.7	9.8	7.2	3.6	34.5	25.3	
	女性60代	(n=232)	66.4	44.8	72.0	44.8	42.2	26.3	10.8	6.0	42.2	10.3	12.1	4.3	48.3	26.7	
果物摂取量	200g以上	(n=199)	72.9	54.3	73.4	58.8	55.8	45.2	28.1	16.1	43.2	30.7	24.6	19.1	56.8	51.3	
	100g～200g未満	(n=642)	65.0	40.3	68.2	44.2	42.2	27.3	14.5	9.0	32.1	14.6	13.9	6.2	41.3	30.7	
	100g未満	(n=692)	45.7	23.1	47.5	26.6	24.7	14.0	5.5	2.7	18.9	6.2	9.0	2.7	29.9	19.2	
令和2年度全体			(n=2000)	48.0	27.8	50.6	32.6	29.3	18.8	9.8	6.3	26.5	12.0	12.0	5.5	32.4	22.7

全体と比べて10ポイント以上高い。	全体と比べて5～10ポイント未満高い。
全体と比べて10ポイント以上低い。	全体と比べて5～10ポイント未満低い。

②果樹振興法14品目のうち増やしたいもの

- 全体では、「みかん」が3割台半ばで最も高く、「りんご」が3割弱で続く。以下、「キウイフルーツ」「なし」「ぶどう」「もも」がいずれも2割前後で続いている。
- 性別でみると、『女性』は「キウイフルーツ」の割合が『男性』より顕著に高い。
- 年代別にみると、低年代ほど「キウイフルーツ」「なし」の割合が高くなる傾向がみられる。
- 果物摂取量別でみると、摂取量が多いほど、「みかん」「りんご」「ぶどう」「その他のかんきつ類」の割合が高くなる傾向が顕著である。

Q 1 5. 以下のそれぞれの果物のうち、あなたが今後、買う量を増やしたいと思うものがありましたら、全てお答えください。（MA）



全体		(n=2000)	35.5	28.6	21.8	20.0	19.1	17.7	14.3	10.8	9.1	6.4	4.1	4.0	3.0	2.9	36.5
性別	男性	(n=1001)	31.2	25.0	14.6	19.1	16.0	14.9	13.1	8.3	7.1	5.5	2.9	3.5	3.4	2.3	42.1
	女性	(n=999)	39.7	32.2	29.0	20.9	22.2	20.4	15.5	13.3	11.0	7.2	5.2	4.4	2.5	3.4	30.9
年代	20代	(n=310)	39.7	28.4	27.4	27.4	23.5	24.8	20.3	10.0	9.4	11.3	6.5	6.5	6.8	6.1	31.6
	30代	(n=390)	40.5	31.3	22.3	23.1	19.2	18.2	18.2	9.0	9.7	7.9	5.1	4.6	2.1	2.8	35.4
	40代	(n=460)	33.9	26.1	21.3	20.0	19.6	18.5	12.2	9.3	10.2	5.7	3.5	3.0	3.0	2.6	39.8
	50代	(n=387)	34.1	26.9	21.2	16.3	16.3	15.2	14.0	11.6	9.6	4.9	2.3	4.9	3.1	2.3	39.3
	60代	(n=453)	30.9	30.5	18.5	15.5	17.9	13.5	9.3	13.7	6.6	3.5	3.5	1.8	0.9	1.3	35.1
	男性20代	(n=158)	34.8	28.5	16.5	21.5	17.1	15.8	13.9	7.0	5.1	6.3	4.4	4.4	6.3	5.7	41.1
性別年代	男性30代	(n=197)	34.5	31.5	15.2	19.8	14.7	14.7	17.3	6.6	9.1	7.6	2.0	4.1	3.0	2.0	39.6
	男性40代	(n=232)	31.0	22.0	15.9	19.4	18.5	16.4	12.9	6.0	8.6	6.0	2.6	2.2	3.4	2.2	45.3
	男性50代	(n=193)	26.4	18.7	14.0	14.0	10.9	10.9	11.4	7.8	6.2	4.1	1.6	4.1	3.6	1.0	44.0
	男性60代	(n=221)	29.9	25.3	11.8	20.8	18.1	16.3	10.4	13.6	5.9	3.6	4.1	3.2	1.4	1.4	39.8
	女性20代	(n=152)	44.7	28.3	38.8	33.6	30.3	34.2	27.0	13.2	13.8	16.4	8.6	8.6	7.2	6.6	21.7
	女性30代	(n=193)	46.6	31.1	29.5	26.4	23.8	21.8	19.2	11.4	10.4	8.3	8.3	5.2	1.0	3.6	31.1
	女性40代	(n=228)	36.8	30.3	26.8	20.6	20.6	20.6	11.4	12.7	11.8	5.3	4.4	3.9	2.6	3.1	34.2
	女性50代	(n=194)	41.8	35.1	28.4	18.6	21.6	19.6	16.5	15.5	12.9	5.7	3.1	5.7	2.6	3.6	34.5
	女性60代	(n=232)	31.9	35.3	25.0	10.3	17.7	10.8	8.2	13.8	7.3	3.4	3.0	0.4	0.4	1.3	30.6
	果物摂取量																
果物摂取量	200g以上	(n=199)	48.7	41.7	27.6	26.1	28.1	24.1	20.1	18.1	17.6	11.1	4.0	10.6	6.0	6.0	17.1
	100g～200g未満	(n=642)	38.6	35.2	27.9	24.5	24.1	20.1	14.6	15.1	12.1	7.5	4.8	3.9	3.1	3.1	26.0
	100g未満	(n=692)	35.4	27.0	22.5	19.2	18.1	17.5	14.5	10.0	7.8	5.9	4.2	3.5	2.2	2.6	37.6
令和2年度全体		(n=2000)	36.8	30.9	20.7	21.1	19.3	17.7	12.8	12.1	9.9	5.6	3.8	4.5	2.4	3.1	34.5

全体と比べて10ポイント以上高い。

全体と比べて5～10ポイント未満高い。

全体と比べて10ポイント以上低い。

全体と比べて5～10ポイント未満低い。

(3) 果樹振興法14品目について まとめ

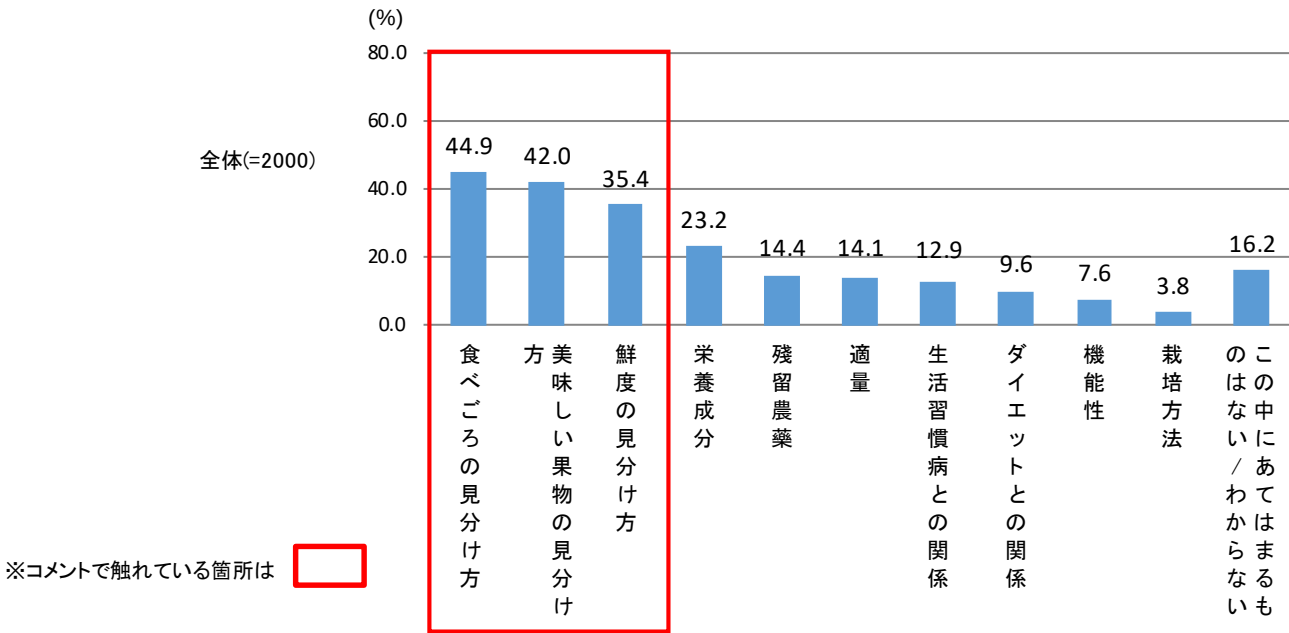
- 月に1回以上喫食している割合が高い品目は「りんご」と「みかん」。
 - 今後、購入量を増やしたい品目でもトップ2は「みかん」「りんご」であり、この2品目中心の傾向が継続すると考えられる。
-
- ・ 果樹振興法14品目の月1日程度以上喫食している割合では、「りんご」が46.9%で最も高く、「みかん」が45.2%で続く。以下、「ぶどう」「キウイフルーツ」「なし」「その他のかんきつ類」を月に1日程度以上喫食している割合が、3割～2割台後半で続いている。(p40)
 - ・ 令和2年度結果と比較すると、上位の「りんご」「みかん」「ぶどう」がいずれも減少。(p41)
 - ・ 女性は「キウイフルーツ」「かき」を月1回以上喫食している割合が男性より顕著に高い。(p41)
 - ・ 60代は、月1回以上喫食している割合が全般的に高く、特に「りんご」「みかん」は6割以上。(p41)
-
- ・ 今後、購入量を増やしたい品目では「みかん」が35.5%でトップ。次いで、「りんご」が28.6%で続く。(p42)
 - ・ 女性は「キウイフルーツ」の割合が男性より顕著に高い。(p42)
 - ・ 低年代ほど「キウイフルーツ」「なし」の割合が高くなる傾向。(p42)
 - ・ 果物摂取量が多いほど、「みかん」「りんご」「ぶどう」「その他のかんきつ類」の割合が高くなる傾向が顕著。(p42)

(4) 果物消費拡大施策について

①果物購入時の希望情報

- 全体では、「食べごろの見分け方」が4割台半ばで最も高く、「美味しい果物の見分け方」が4割台前半で続く。次いで、「鮮度の見分け方」が3割台半ばで続いている。
- 令和2年度結果と比較すると、「美味しい果物の見分け方」「鮮度の見分け方」が減少している。
- 性別でみると、『女性』では「食べごろの見分け方」の割合が、『男性』より顕著に高い。
- 年代別でみると、年代が高いほど「残留農薬」の割合が高く、『60代』では2割を超えた。

Q 1 3 . 果物について知っておきたいことは何ですか。上位3つまでお答え下さい。 (MA)



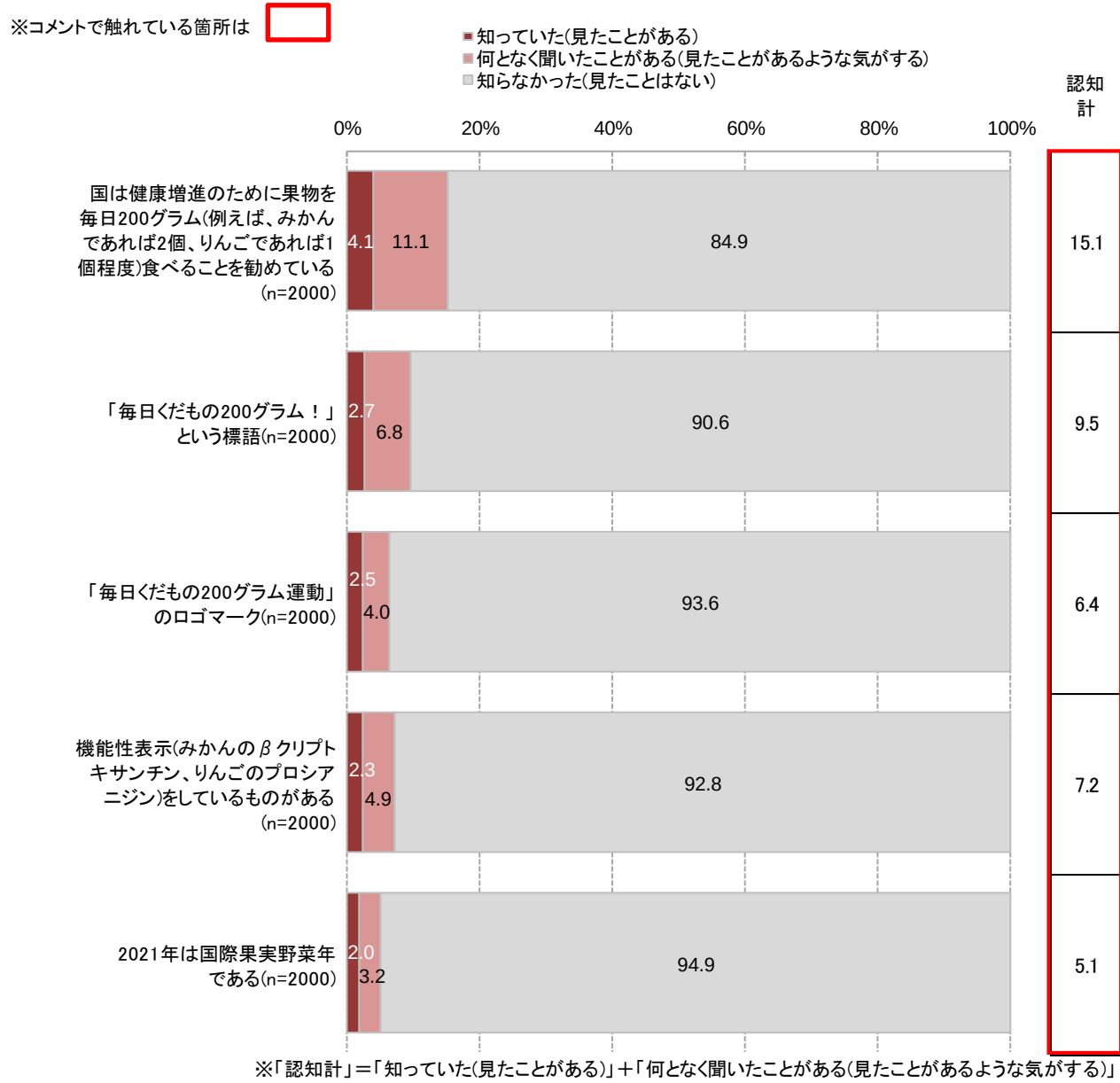
(%)													
全体		(n=2000)	44.9	42.0	35.4	23.2	14.4	14.1	12.9	9.6	7.6	3.8	16.2
性別	男性	(n=1001)	39.5	37.3	31.3	22.2	12.1	15.0	13.0	8.1	9.2	4.2	20.4
	女性	(n=999)	50.4	46.7	39.4	24.2	16.6	13.2	12.8	11.1	6.0	3.4	11.9
年代	20代	(n=310)	44.5	39.0	36.5	24.5	5.2	15.2	10.6	12.6	9.7	3.5	20.3
	30代	(n=390)	46.7	42.6	36.7	25.6	13.6	16.7	10.0	12.6	9.7	4.1	15.9
	40代	(n=460)	45.9	41.7	33.5	24.1	13.0	16.3	13.9	10.0	8.7	3.9	13.7
	50代	(n=387)	45.7	42.4	34.4	18.9	13.7	10.1	14.0	7.0	6.7	2.6	18.6
	60代	(n=453)	41.9	43.5	36.2	23.0	23.2	12.4	15.0	6.8	4.0	4.6	13.9
性別年代	男性20代	(n=158)	36.1	31.6	34.8	24.1	3.2	16.5	11.4	5.7	12.0	5.1	25.9
	男性30代	(n=197)	43.1	37.6	32.5	28.4	12.2	15.7	11.7	11.7	13.2	4.1	18.3
	男性40代	(n=232)	39.7	39.2	27.2	18.5	11.6	18.1	13.8	9.5	9.5	4.7	18.1
	男性50代	(n=193)	41.5	37.3	29.0	18.1	10.9	7.8	14.0	6.2	6.7	1.6	24.4
	男性60代	(n=221)	36.7	38.9	33.9	22.6	19.9	16.3	13.6	6.8	5.4	5.4	17.2
	女性20代	(n=152)	53.3	46.7	38.2	25.0	7.2	13.8	9.9	19.7	7.2	2.0	14.5
	女性30代	(n=193)	50.3	47.7	40.9	22.8	15.0	17.6	8.3	13.5	6.2	4.1	13.5
	女性40代	(n=228)	52.2	44.3	39.9	29.8	14.5	14.5	14.0	10.5	7.9	3.1	9.2
	女性50代	(n=194)	50.0	47.4	39.7	19.6	16.5	12.4	13.9	7.7	6.7	3.6	12.9
女性60代	(n=232)	47.0	47.8	38.4	23.3	26.3	8.6	16.4	6.9	2.6	3.9	10.8	
果物摂取量	200g以上	(n=199)	49.7	46.7	34.2	23.1	19.1	14.1	14.1	17.1	12.6	5.5	5.0
	100g～200g未満	(n=642)	48.6	47.8	38.6	26.9	18.4	14.6	16.5	9.8	8.6	5.5	7.2
	100g未満	(n=692)	48.0	42.9	37.9	24.3	14.3	16.6	11.4	8.7	6.5	2.9	14.3
令和2年度全体		(n=2000)	45.7	45.5	38.2	25.3	14.8	12.8	12.6	9.4	8.1	2.5	14.5

全体と比べて10ポイント以上高い。	全体と比べて5～10ポイント未満高い。
全体と比べて10ポイント以上低い。	全体と比べて5～10ポイント未満低い。

②－1 果物消費拡大施策の認知

- 果物消費拡大施策に関する事柄では、『国は健康増進のために果物を毎日200グラム食べることを勧めている』の認知が1割台半ばで最も高い。
- 『「毎日くだもの200グラム！」という標語』の認知は1割、『「毎日くだもの200グラム運動」のロゴマーク』『機能性表示をしているものがある』『2021年は国際果実野菜年である』の認知はいずれも1割未満となった。

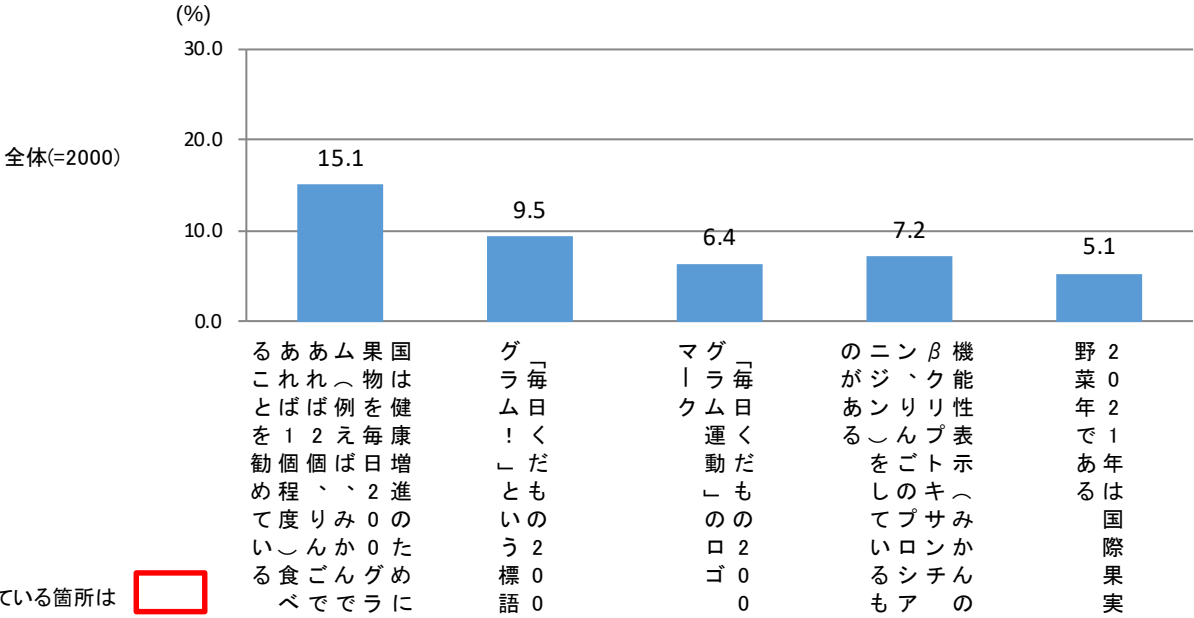
Q 1 6. 以下の果物に関する事を、あなたにご存知でしたか。
当てはまるものをそれぞれひとつずつお選びください。 (S A)



②ー2 果物消費拡大施策の認知（認知計）

- 性別にみると、『女性』は「国は健康増進のために果物を毎日200グラム食べることを勧めている」の認知の割合が男性よりやや高い。
- 年代別にみると、全ての事柄で『20代』の認知が最も高く、特に「国は健康増進のために果物を毎日200グラム食べることを勧めている」の認知は2割を超えている。
- 果物摂取量別でみると、全ての事柄で摂取量が多いほど認知が高くなる傾向が顕著であり、特に「国は健康増進のために果物を毎日200グラム食べることを勧めている」については『200g以上』の層の認知が3割を超えている。

Q16. 以下の果物に関する事を、あなたをご存知でしたか。
当てはまるものをそれぞれひとつずつお選びください。（SA）



※コメントで触れている箇所は

		(%)					
	全体	(n=2000)	15.1	9.5	6.4	7.2	5.1
性別	男性	(n=1001)	13.4	9.3	6.8	7.5	5.9
	女性	(n=999)	16.8	9.6	6.0	6.9	4.3
年代	20代	(n=310)	20.6	14.5	11.6	12.3	10.3
	30代	(n=390)	16.4	10.5	7.7	7.7	5.4
	40代	(n=460)	13.3	7.6	5.2	6.1	3.9
	50代	(n=387)	12.4	7.0	3.1	4.1	2.1
	60代	(n=453)	14.3	9.1	5.7	7.1	5.1
性別年代	男性20代	(n=158)	21.5	16.5	15.2	13.9	15.2
	男性30代	(n=197)	15.7	11.7	8.1	7.6	6.1
	男性40代	(n=232)	12.5	7.3	5.2	6.5	3.9
	男性50代	(n=193)	8.3	4.7	2.6	4.1	2.1
	男性60代	(n=221)	10.9	8.1	5.0	6.8	4.5
	女性20代	(n=152)	19.7	12.5	7.9	10.5	5.3
	女性30代	(n=193)	17.1	9.3	7.3	7.8	4.7
	女性40代	(n=228)	14.0	7.9	5.3	5.7	3.9
	女性50代	(n=194)	16.5	9.3	3.6	4.1	2.1
女性60代	(n=232)	17.7	9.9	6.5	7.3	5.6	
果物摂取量	200g以上	(n=199)	34.2	28.1	21.1	21.6	17.6
	100g～200g未満	(n=642)	20.2	13.7	8.4	10.6	6.5
	100g未満	(n=692)	10.8	5.1	3.6	3.6	2.9

全体と比べて10ポイント以上高い。	全体と比べて5～10ポイント未満高い。
全体と比べて10ポイント以上低い。	全体と比べて5～10ポイント未満低い。

(4) 果物消費拡大施策について まとめ

- 果物購入時の希望情報では、「食べごろの見分け方」「美味しい果物の見分け方」がトップ2。
 - 高年代層では「残留農薬」への関心も高い。
 - 果物消費拡大施策に関する事柄の中では、「国は健康増進のために果物を毎日200グラム食べることを勧めている」ことの認知が1割台半ばとなったが、全般的に認知が低い。
- 果物消費拡大を実現するためには、さらなる訴求が必須であると考えられる。

- ・ 果物購入時の希望情報では、「食べごろの見分け方」が4割台半ばで最も高く、「美味しい果物の見分け方」が4割台前半で続く。(p45)
- ・ 令和2年度結果と比較すると、「美味しい果物の見分け方」「鮮度の見分け方」が減少。(p45)
- ・ 女性は「食べごろの見分け方」の割合が、男性より顕著に高い。(p45)
- ・ 年代が高いほど「残留農薬」の割合が高くなる傾向。(p45)
- ・ 果物消費拡大施策に関する事柄の中では、「国は健康増進のために果物を毎日200グラム食べることを勧めている」の認知が15.1%で最も高い。(p46)
- ・ 「『毎日くだもの200グラム!』という標語」「『毎日くだもの200グラム運動』のロゴマーク」「機能性表示をしているものがある」「2021年は国際果実野菜年である」の認知は、いずれも1割未満にとどまった。(p46)
- ・ 女性は、「国は健康増進のために果物を毎日200グラム食べることを勧めている」の認知が男性よりやや高い。(p47)
- ・ 20代の認知が比較的高く、特に「国は健康増進のために果物を毎日200グラム食べることを勧めている」の認知は2割超。(p47)
- ・ 全ての事柄で摂取量が多いほど認知が高くなる傾向が顕著。(p47)

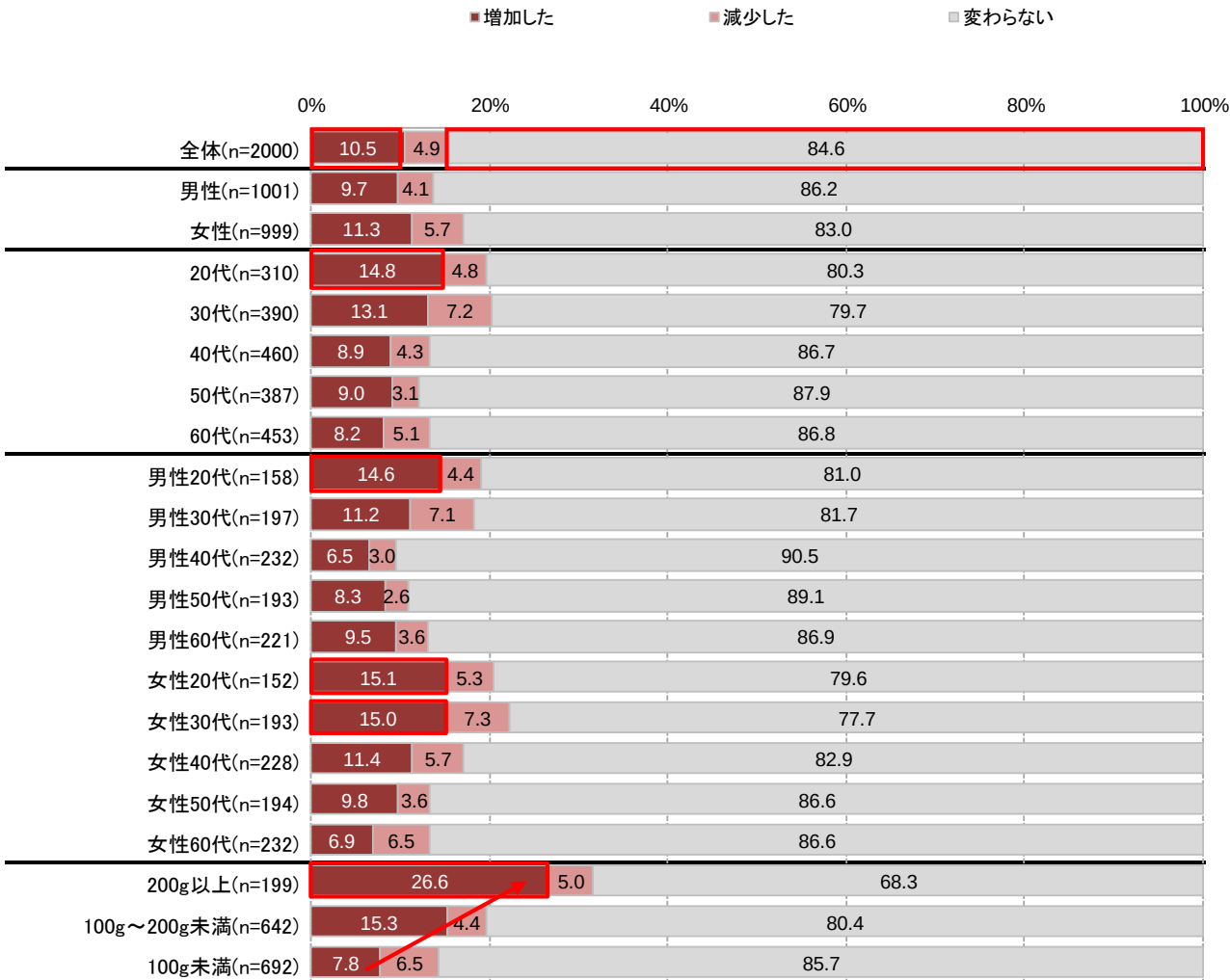
（５）コロナウィルス感染症の果物消費への影響

①新型コロナウイルスの感染拡大に伴う果物摂取量の変化

- 全体では「変わらない」が8割台半ばを占める。次いで、「増加した」が1割強となった。
- 年代別でみると、『20代』では「増加した」の割合が1割台半ばで、他の年代よりやや高い。
- 性別×年代でみると、『男性20代』『女性20～30代』では「増加した」の割合が1割台半ばで、他の層よりやや高い。
- 果物摂取量別でみると、摂取量が多いほど「増加した」の割合が高くなる傾向が顕著であり、『200g以上』の層では2割台後半となった。

Q 1 7．新型コロナウイルスの感染拡大に伴って、果物の摂取量は変化しましたか。（S A）

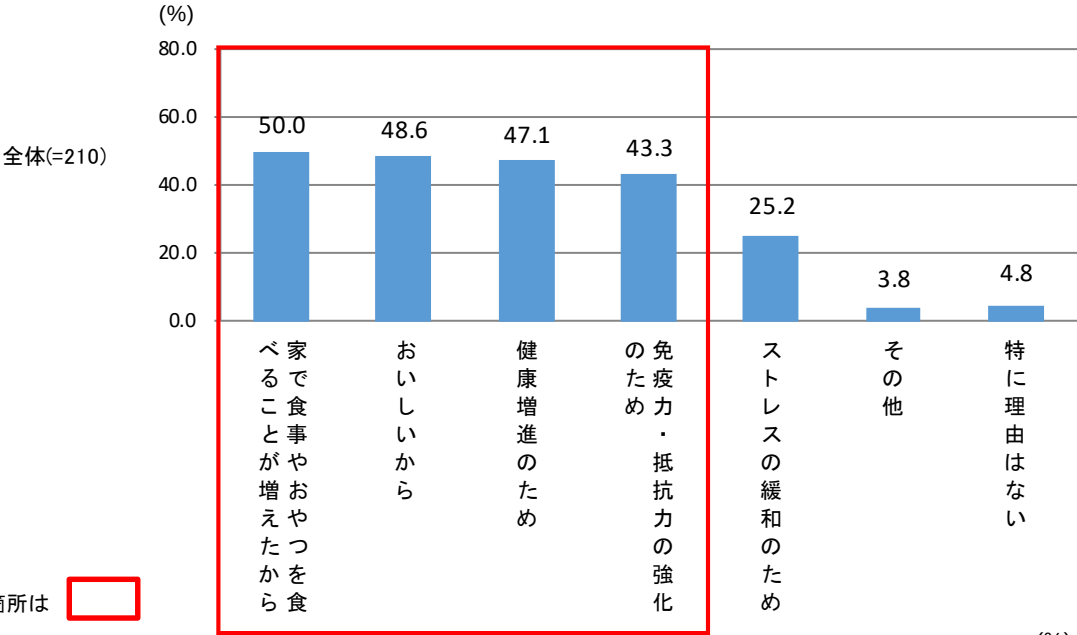
※コメントで触れている箇所は



②摂取量増加者の増加理由〔果物摂取量増加層〕

- 全体では「家で食事やおやつを食べることが増えたから」が5割で最も高く、次いで、「おいしいから」「健康増進のため」「免疫力・抵抗力の強化のため」が続く。
- 性別でみると、『男性』は「ストレス緩和のため」が『女性』より顕著に高い。一方、『女性』は「おいしいから」「健康増進のため」「免疫力・抵抗力の強化のため」が『男性』より顕著に高い。
- 年代別でみると、『50代』では「健康増進のため」が6割で、他の年代より高い。
- 果物摂取量別でみると、『200g以上』の層では「おいしいから」「家で食事やおやつを食べることが増えたから」が他の層より顕著に高い。

Q 1 8 . 果物の摂取量が増えた方にお聞きます。増えた理由は何ですか。（MA）



※コメントで触れている箇所は

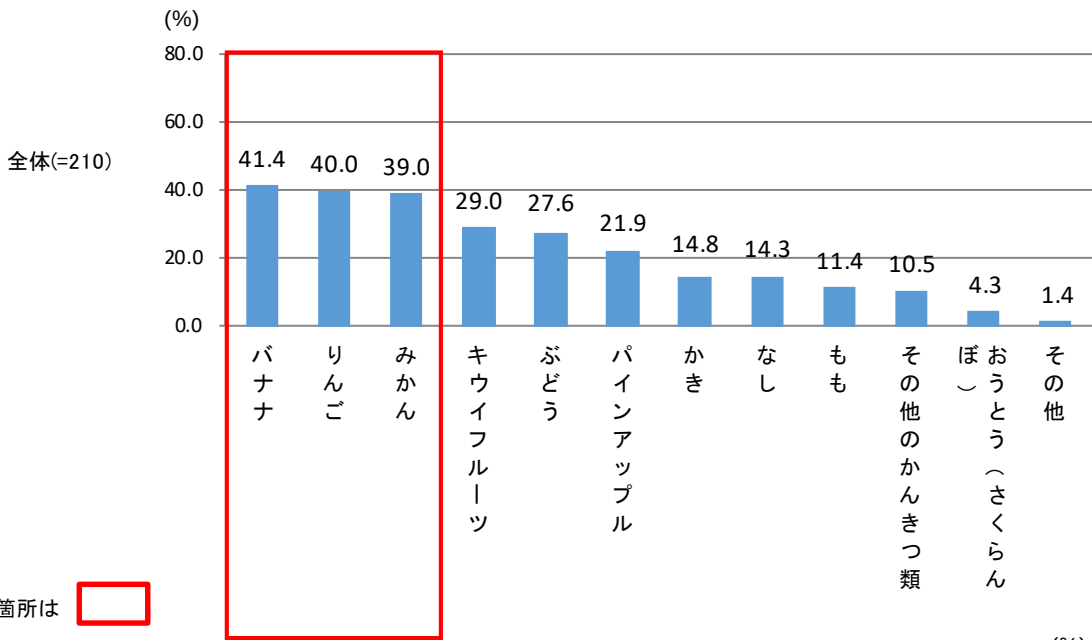
										(%)
全体		(n=210)	50.0	48.6	47.1	43.3	25.2	3.8	4.8	
性別	男性	(n=97)	50.5	43.3	41.2	33.0	30.9	0.0	4.1	
	女性	(n=113)	49.6	53.1	52.2	52.2	20.4	7.1	5.3	
年代	20代	(n=46)	52.2	45.7	34.8	39.1	28.3	4.3	10.9	
	30代	(n=51)	49.0	49.0	47.1	47.1	19.6	7.8	0.0	
	40代	(n=41)	41.5	48.8	46.3	46.3	26.8	2.4	2.4	
	50代	(n=35)	57.1	45.7	60.0	51.4	31.4	0.0	8.6	
	60代	(n=37)	51.4	54.1	51.4	32.4	21.6	2.7	2.7	
性別年代	男性20代	(n=23)	52.2	47.8	34.8	26.1	39.1	0.0	8.7	
	男性30代	(n=22)	59.1	50.0	40.9	40.9	27.3	0.0	0.0	
	男性40代	(n=15)	46.7	53.3	40.0	26.7	46.7	0.0	0.0	
	男性50代	(n=16)	43.8	18.8	50.0	43.8	25.0	0.0	6.3	
	男性60代	(n=21)	47.6	42.9	42.9	28.6	19.0	0.0	4.8	
	女性20代	(n=23)	52.2	43.5	34.8	52.2	17.4	8.7	13.0	
	女性30代	(n=29)	41.4	48.3	51.7	51.7	13.8	13.8	0.0	
	女性40代	(n=26)	38.5	46.2	50.0	57.7	15.4	3.8	3.8	
	女性50代	(n=19)	68.4	68.4	68.4	57.9	36.8	0.0	10.5	
女性60代	(n=16)	56.3	68.8	62.5	37.5	25.0	6.3	0.0		
果物摂取量	200g以上	(n=53)	58.5	62.3	45.3	34.0	26.4	1.9	0.0	
	100g～200g未満	(n=98)	45.9	43.9	50.0	46.9	23.5	2.0	4.1	
	100g未満	(n=54)	46.3	46.3	44.4	48.1	27.8	9.3	9.3	

全体と比べて10ポイント以上高い。	全体と比べて5～10ポイント未満高い。
全体と比べて10ポイント以上低い。	全体と比べて5～10ポイント未満低い。

③摂取量が増加した品目〔果物摂取量増加層〕

- 全体では「バナナ」が4割強で最も高い。次いで、「りんご」が4割、「みかん」が4割弱で続く。
- 性別でみると、『男性』は「みかん」「パイナップル」の割合が『女性』より顕著に高い。一方、『女性』は「キウイフルーツ」の割合が『男性』より顕著に高い。
- 年代別でみると、『20代』は「みかん」、『30代』は「りんご」、『60代』は「バナナ」が5割以上で、それぞれ他の年代より高い。
- 果物摂取量別でみると、『200g以上』の層では「みかん」が5割台後半で、他の層より顕著に高い。

Q 19. 果物の摂取量が増えた方にお聞きます。どんな果物の摂取が増えましたか。(MA)



※コメントで触れている箇所は

全体		(n=210)	41.4	40.0	39.0	29.0	27.6	21.9	14.8	14.3	11.4	10.5	4.3	1.4
性別	男性	(n=97)	41.2	36.1	44.3	21.6	25.8	27.8	15.5	14.4	13.4	12.4	7.2	0.0
	女性	(n=113)	41.6	43.4	34.5	35.4	29.2	16.8	14.2	14.2	9.7	8.8	1.8	2.7
年代	20代	(n=46)	28.3	30.4	50.0	28.3	26.1	17.4	10.9	17.4	13.0	17.4	10.9	2.2
	30代	(n=51)	39.2	51.0	47.1	37.3	23.5	25.5	11.8	19.6	17.6	13.7	7.8	0.0
	40代	(n=41)	43.9	41.5	36.6	34.1	26.8	17.1	12.2	14.6	9.8	9.8	0.0	2.4
	50代	(n=35)	45.7	37.1	25.7	31.4	37.1	31.4	14.3	11.4	5.7	5.7	0.0	0.0
	60代	(n=37)	54.1	37.8	29.7	10.8	27.0	18.9	27.0	5.4	8.1	2.7	0.0	2.7
	その他	(n=10)	21.0	21.0	21.0	21.0	21.0	21.0	21.0	21.0	21.0	21.0	21.0	21.0
性別年代	男性20代	(n=23)	21.7	26.1	52.2	17.4	34.8	21.7	17.4	26.1	17.4	21.7	13.0	0.0
	男性30代	(n=22)	36.4	54.5	54.5	22.7	22.7	45.5	22.7	9.1	22.7	22.7	18.2	0.0
	男性40代	(n=15)	46.7	33.3	53.3	26.7	13.3	33.3	6.7	13.3	6.7	6.7	0.0	0.0
	男性50代	(n=16)	56.3	18.8	18.8	31.3	25.0	25.0	18.8	18.8	6.3	6.3	0.0	0.0
	男性60代	(n=21)	52.4	42.9	38.1	14.3	28.6	14.3	9.5	4.8	9.5	0.0	0.0	0.0
	女性20代	(n=23)	34.8	34.8	47.8	39.1	17.4	13.0	4.3	8.7	8.7	13.0	8.7	4.3
	女性30代	(n=29)	41.4	48.3	41.4	48.3	24.1	10.3	3.4	27.6	13.8	6.9	0.0	0.0
	女性40代	(n=26)	42.3	46.2	26.9	38.5	34.6	7.7	15.4	15.4	11.5	11.5	0.0	3.8
	女性50代	(n=19)	36.8	52.6	31.6	31.6	47.4	36.8	10.5	5.3	5.3	5.3	0.0	0.0
	女性60代	(n=16)	56.3	31.3	18.8	6.3	25.0	25.0	50.0	6.3	6.3	6.3	0.0	6.3
果物摂取量	200g以上	(n=53)	41.5	41.5	58.5	26.4	34.0	30.2	24.5	22.6	17.0	15.1	11.3	1.9
	100g～200g未満	(n=98)	46.9	41.8	28.6	28.6	19.4	18.4	12.2	10.2	9.2	9.2	2.0	1.0
	100g未満	(n=54)	33.3	38.9	35.2	33.3	33.3	16.7	9.3	14.8	7.4	9.3	1.9	1.9

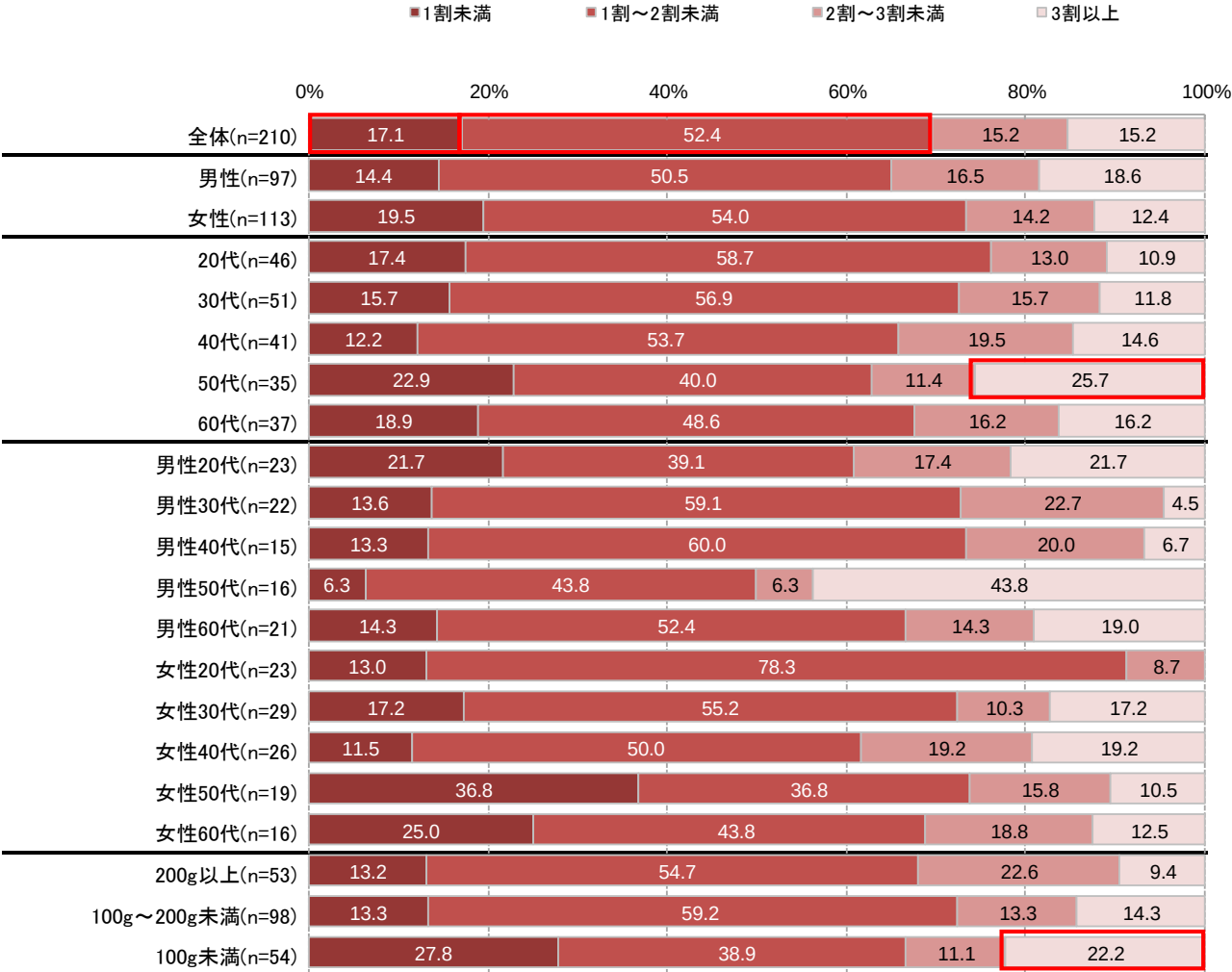
全体と比べて10ポイント以上高い。	全体と比べて5～10ポイント未満高い。
全体と比べて10ポイント以上低い。	全体と比べて5～10ポイント未満低い。

④摂取の増加量 [果物摂取量増加層]

- 全体では「1割～2割未満」が5割台前半で最も高い。次いで、「1割未満」が1割台後半で、2割未満が7割を占めた。
- 年代別でみると、『50代』では「3割以上」の割合が2割台半ばで、他の年代より高い。
- 果物摂取量別でみると、『100g未満』の層では「3割以上」の割合が2割を超えており、他の層より高い。

Q 2 0 . 果物の摂取量が増えた方にお聞きます。以前と比べてどの程度増えましたか。 (S A)

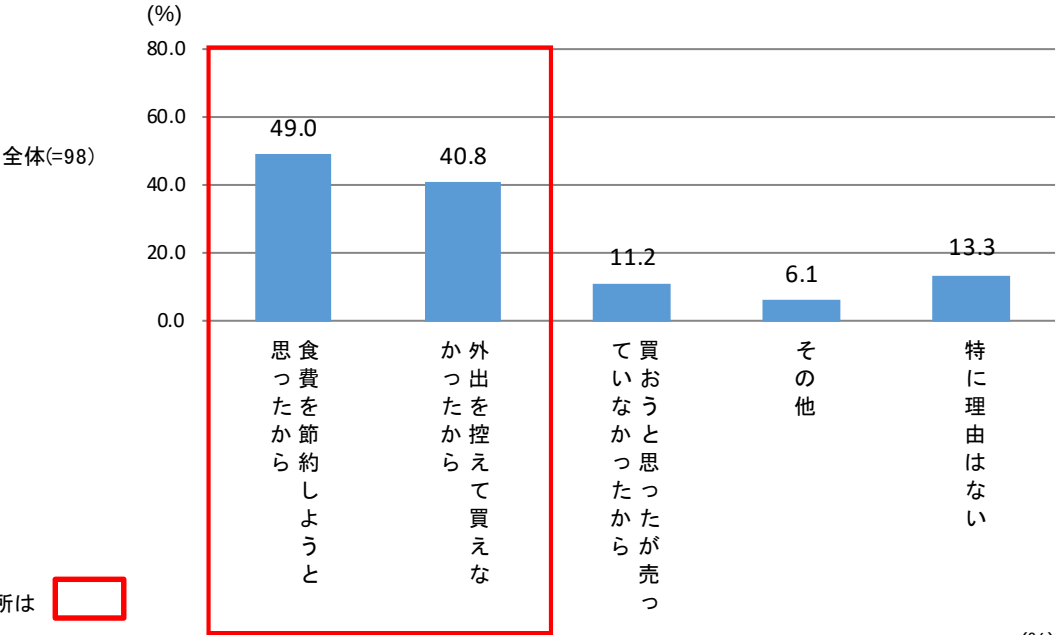
※コメントで触れている箇所は



⑤摂取量減少者の減少理由〔果物摂取量減少層〕

- 全体では「食費を節約しようと思ったから」が5割弱で最も高い。次いで、「外出を控えて買えなかったから」が4割強で続く。
- 性別でみると、『男性』は「買おうと思ったが売っていなかったから」が『女性』より顕著に高い。一方、『女性』は「食費を節約しようと思ったから」「外出を控えて買えなかったから」が『男性』より顕著に高い。

Q 2 1．果物の摂取量が減った方にお聞きます。減った理由は何ですか。（MA）



※コメントで触れている箇所は

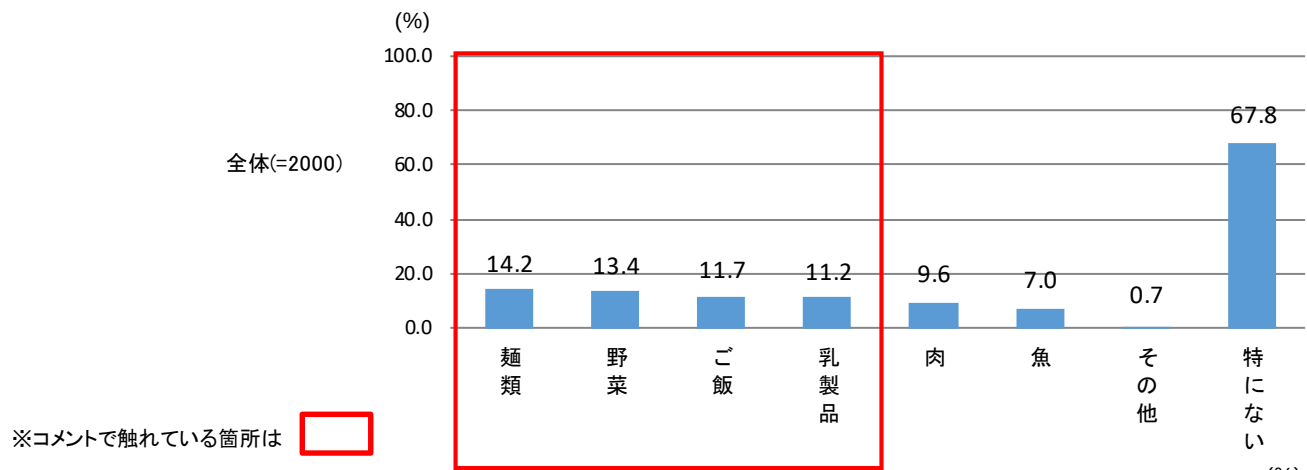
			理由 (%)				
全体 (n=98)			49.0	40.8	11.2	6.1	13.3
性別	男性 (n=41)		43.9	31.7	17.1	4.9	19.5
	女性 (n=57)		52.6	47.4	7.0	7.0	8.8
年代	20代 (n=15)		53.3	33.3	0.0	6.7	20.0
	30代 (n=28)		46.4	39.3	25.0	3.6	7.1
	40代 (n=20)		60.0	40.0	0.0	0.0	15.0
	50代 (n=12)		58.3	41.7	8.3	16.7	8.3
	60代 (n=23)		34.8	47.8	13.0	8.7	17.4
性別年代	男性20代 (n=7)		71.4	28.6	0.0	0.0	14.3
	男性30代 (n=14)		42.9	28.6	42.9	7.1	7.1
	男性40代 (n=7)		14.3	42.9	0.0	0.0	42.9
	男性50代 (n=5)		40.0	60.0	20.0	0.0	20.0
	男性60代 (n=8)		50.0	12.5	0.0	12.5	25.0
	女性20代 (n=8)		37.5	37.5	0.0	12.5	25.0
	女性30代 (n=14)		50.0	50.0	7.1	0.0	7.1
	女性40代 (n=13)		84.6	38.5	0.0	0.0	0.0
	女性50代 (n=7)		71.4	28.6	0.0	28.6	0.0
	女性60代 (n=15)		26.7	66.7	20.0	6.7	13.3
果物摂取量	200g以上 (n=10)		50.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	100g～200g未満 (n=28)		60.7	57.1	7.1	0.0	7.1
	100g未満 (n=45)		40.0	40.0	6.7	11.1	15.6

全体と比べて10ポイント以上高い。	全体と比べて5～10ポイント未満高い。
全体と比べて10ポイント以上低い。	全体と比べて5～10ポイント未満低い。

⑥－１ 果物以外で摂取が増えた食品

- 全体では「麺類」が１割台半ばで最も高い。次いで、「野菜」「ご飯」「乳製品」が１割超となった。
- 性別×年代でみると、『男性２０代』では「ご飯」、『男性３０代』では「麺類」が２割以上で、他の層より高い。
- 果物摂取量別でみると、摂取量が多いほど「野菜」「ご飯」「乳製品」「肉」「魚」の割合が高くなる傾向が見られる。

Ｑ２２．新型コロナウイルスの感染拡大に伴って摂取が増えた食品、減った食品はありますか。（ＭＡ）



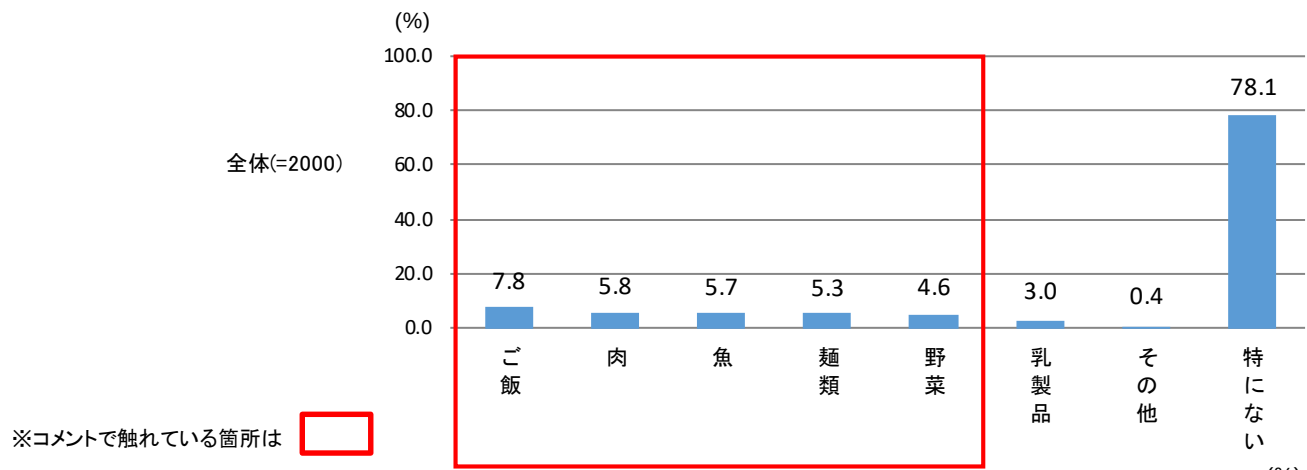
											(%)
性別	全体	(n=2000)	14.2	13.4	11.7	11.2	9.6	7.0	0.7	67.8	
	男性	(n=1001)	13.7	11.8	11.0	9.2	8.4	6.4	0.0	70.6	
	女性	(n=999)	14.6	15.0	12.4	13.1	10.7	7.6	1.4	64.9	
年代	20代	(n=310)	17.1	19.4	18.7	12.3	13.5	9.7	1.0	55.2	
	30代	(n=390)	19.5	16.7	18.2	15.4	14.4	10.0	0.0	61.8	
	40代	(n=460)	14.3	11.1	12.0	10.4	8.7	5.4	0.4	70.4	
	50代	(n=387)	10.9	10.9	6.2	8.8	6.7	6.2	0.8	73.9	
	60代	(n=453)	10.2	11.0	5.7	9.5	6.0	4.9	1.3	73.5	
性別年代	男性20代	(n=158)	15.2	19.0	20.3	7.6	13.9	10.1	0.0	60.1	
	男性30代	(n=197)	21.3	15.7	18.8	12.2	12.2	7.6	0.0	63.5	
	男性40代	(n=232)	12.1	9.1	9.1	9.1	7.8	4.3	0.0	74.1	
	男性50代	(n=193)	10.4	7.3	5.2	9.3	7.3	7.8	0.0	76.2	
	男性60代	(n=221)	10.4	10.0	4.5	7.7	2.7	3.6	0.0	76.0	
	女性20代	(n=152)	19.1	19.7	17.1	17.1	13.2	9.2	2.0	50.0	
	女性30代	(n=193)	17.6	17.6	17.6	18.7	16.6	12.4	0.0	60.1	
	女性40代	(n=228)	16.7	13.2	14.9	11.8	9.6	6.6	0.9	66.7	
	女性50代	(n=194)	11.3	14.4	7.2	8.2	6.2	4.6	1.5	71.6	
女性60代	(n=232)	9.9	12.1	6.9	11.2	9.1	6.0	2.6	71.1		
果物摂取量	200g以上	(n=199)	16.6	25.6	18.6	21.6	17.1	16.1	2.5	48.7	
	100g～200g未満	(n=642)	16.8	16.0	12.3	12.9	10.6	6.9	0.5	64.0	
	100g未満	(n=692)	11.7	11.3	10.7	9.4	6.8	5.5	0.6	71.4	

全体と比べて10ポイント以上高い。	全体と比べて5～10ポイント未満高い。
全体と比べて10ポイント以上低い。	全体と比べて5～10ポイント未満低い。

⑥ー2 果物以外で摂取が減った食品

- 全体では「ご飯」が最も高く、「肉」「魚」「麺類」「野菜」が僅差で続くが、いずれも1割未満にとどまった。
- 果物摂取量別でみると、『200g以上』の層では「ご飯」の割合が1割半ばで、他の層より高い。また、摂取量が多いほど「麺類」の割合が高くなる傾向が顕著である。

Q 2 2 . 新型コロナウイルスの感染拡大に伴って摂取が増えた食品、減った食品はありますか。(MA)



全体		(n=2000)	7.8	5.8	5.7	5.3	4.6	3.0	0.4	78.1
性別	男性	(n=1001)	7.5	6.8	5.5	4.7	4.6	2.8	0.2	78.7
	女性	(n=999)	8.0	4.7	5.8	5.8	4.5	3.2	0.5	77.4
年代	20代	(n=310)	8.1	4.2	8.1	8.4	5.2	5.5	0.3	70.6
	30代	(n=390)	8.5	6.9	7.2	6.2	7.4	3.8	0.8	74.1
	40代	(n=460)	5.4	4.1	4.8	4.8	4.6	2.4	0.0	82.2
	50代	(n=387)	8.5	4.7	5.2	6.2	2.8	2.1	0.3	80.4
	60代	(n=453)	8.6	8.4	4.0	2.0	3.1	2.0	0.4	80.4
性別年代	男性20代	(n=158)	10.8	3.2	6.3	10.8	7.0	6.3	0.0	70.3
	男性30代	(n=197)	6.6	7.1	7.6	4.1	8.6	4.6	1.0	76.1
	男性40代	(n=232)	3.9	4.3	6.0	3.9	3.9	1.7	0.0	82.8
	男性50代	(n=193)	8.3	5.7	3.6	5.7	1.6	0.5	0.0	83.9
	男性60代	(n=221)	9.0	12.7	4.1	0.9	2.7	1.8	0.0	78.3
	女性20代	(n=152)	5.3	5.3	9.9	5.9	3.3	4.6	0.7	71.1
	女性30代	(n=193)	10.4	6.7	6.7	8.3	6.2	3.1	0.5	72.0
	女性40代	(n=228)	7.0	3.9	3.5	5.7	5.3	3.1	0.0	81.6
	女性50代	(n=194)	8.8	3.6	6.7	6.7	4.1	3.6	0.5	76.8
	女性60代	(n=232)	8.2	4.3	3.9	3.0	3.4	2.2	0.9	82.3
果物摂取量	200g以上	(n=199)	15.6	9.0	5.5	12.6	8.0	2.5	0.5	62.3
	100g～200g未満	(n=642)	7.5	6.4	6.2	6.2	4.8	3.0	0.5	75.7
	100g未満	(n=692)	8.4	5.3	5.9	4.3	3.9	3.6	0.3	79.2

全体と比べて10ポイント以上高い。	全体と比べて5～10ポイント未満高い。
全体と比べて10ポイント以上低い。	全体と比べて5～10ポイント未満低い。

(5) コロナウィルス感染症の果物消費への影響 まとめ

- 新型コロナウィルスの感染拡大に伴い、果物摂取量が「増加した」人は全体の1割強。
 - 果物摂取量が多い層では「増加した」割合が高い。
 - 摂取量増加者の理由は「家で食事やおやつを食べることが増えたから」「おいしいから」「健康増進のため」など。
 - 摂取量が増加した品目は「バナナ」「りんご」「みかん」など。
 - 摂取増加量は2割未満が7割占める。
 - 摂取量減少者の理由は「食費を節約しようと思ったから」「外出を控えて買えなかったから」など。
-
- ・ 新型コロナウィルスの感染拡大に伴う果物摂取量の変化では、大半が「変わらない」。「増加した」(10.5%)が「減少した」(4.9%)を上回った。(p50)
 - ・ 20代では、「増加した」が14.8%で、他年代よりやや高い。(p50)
 - ・ 果物摂取量が多い層では「増加した」割合が2割台後半。(p50)
 - ・ 摂取量増加者の理由では「家で食事やおやつを食べることが増えたから」(50.0%)、「おいしいから」(48.6%)、「健康増進のため」(47.1%)がトップ3。(p51)
 - ・ 男性は「ストレス緩和のため」、女性は「おいしいから」「健康増進のため」「免疫力・抵抗力の強化のため」が高い。(p51)
 - ・ 摂取量が増加した品目は「バナナ」(41.4%)、「りんご」(40.0%)、「みかん」(39.0%)がトップ3。(p52)
 - ・ 男性は「みかん」「パイナップル」、女性は「キウイフルーツ」の割合が高い。(p52)
 - ・ 果物摂取量が多い層では「みかん」の割合が特に高い。(p52)
 - ・ 摂取増加量では「1割～2割未満」が52.4%を占め、2割未満が7割。(p53)
 - ・ 果樹摂取量が少ない層では「3割以上」の割合が2割超と高め。(p53)
 - ・ 摂取量減少者の減少理由では「食費を節約しようと思ったから」(49.0%)が最も高く、「外出を控えて買えなかったから」(40.8%)が続く。(p54)
 - ・ 男性は「買おうと思ったが売っていなかったから」、女性は「食費を節約しようと思ったから」「外出を控えて買えなかったから」が高い。(p54)
 - ・ 果物以外で摂取が増えた食品は、「麺類」「野菜」「ご飯」「乳製品」など。(p55)
 - ・ 一方、果物以外で摂取が減った食品は、「ご飯」「肉」「魚」「麺類」「野菜」などだが、いずれも1割未満。(p56)

2. アンケート調査の分析結果 ー（5）コロナウィルス感染症の果物消費への影響

(1) 日常の果物の消費行動について

- ・ 果物を200g以上摂取できている人の割合は13.0%（令和2年度調査13.4%からわずかに減少）。
- ・ 果物のほぼ毎日摂取者は23.0%（令和2年度：24.2%からは1.2ポイント低下）、週1回以上摂取者は57.9%（同2.6ポイント低下）。
- ・ 女性、高齢層は依然として、男性、若年層よりも摂取頻度が高い。
- ・ 毎日喫食の阻害要因は「他の食品に比べて値段が高いから」。



前回の増加基調から、今回は減少基調に転じてしまった。女性・高齢層などの摂取頻度の高さに比して、依然として男性での相対的な消費の低調さが課題となっている。割高感も摂取増にブレーキをかけている様子が窺え、“価格に見合う納得感”を形成する必要がある。

(2) 今後の果物の摂取意向

- ・ 3人に1人が果物の摂取量を増やしたいと考えている（令和2年度からは横ばい）。
- ・ 摂取量を増やすための提供方法では、「多少外観は悪くても割安な果物」「皮がむきやすい、皮のまま食べられる、種がないなど簡単に食べられる果物」が中心。
- ・ 元々の摂取量が多いほど「色・形がよくて、見た目の美しい果物」「生産者、栽培履歴などの栽培情報がわかる果物」の割合が高い。



果物の摂取意向そのものは引き続き旺盛である。摂取の弱い層には食べやすさ感のアピールが、ヘビーユーザーに対しては品質面でのわかりやすい情報提供が、摂取意向増進の糸口となるものと考えられる。

(3) 果樹振興法14品目について

- ・ 月1回以上喫食している割合が高いのは「りんご」と「みかん」。
- ・ 今後、購入量を増やしたい品目でもトップ2は同上。



定番品としてりんご、みかんの2品目の安定は好材料とはいえる。
上記2品目以外の各品目の魅力度訴求を強化し、国産果実全体の底上げをはかる取り組みが望まれる。

(4) 果物消費拡大施策について

- ・ 希望情報の上位は「食べごろの見分け方」「美味しい果物の見分け方」。高年代層では「残留農薬」も。
- ・ 果物消費拡大施策については、「果物を毎日200グラム」が1割台半ば、他を含めた認知は芳しいとは言えない状況。



高頻度喫食層では認知が高いなど、施策の意義は認められるものの、長期の展開が続いてきたにもかかわらず、認知率自体が低位になることには懸念を禁じえない。
いま一度、訴求施策自体の立て直しも含めた検討も必要ではないだろうか。

(5) コロナウィルス感染症の果物消費への影響

- 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、果物摂取量が「増加した」人は全体の1割強。
- 増加理由は「家で食事やおやつを食べることが増えたから」「おいしいから」「健康増進のため」。
- 一方、減少理由は「食費を節約しようと思ったから」「外出を控えて買えなかったから」。



コロナ禍によって、果物の摂取量が増えた者もいるのは事実であるが、令和3（2021）年秋以降の急激な感染状況の改善により、自粛をベースとした内食需要が頭打ちになることが懸念される。

また、果物の“割高感”は、コロナによる経済的な落ち込みの中で、購入の手控えにつながる恐れもある。

こうした懸念打破のためにも、果物の魅力や効用について、引き続き強く訴求を続ける必要がある。

3. 調査のまとめ

果物についてのアンケート

下記アンケートにご協力をお願いいたします。

当アンケートの回答者の皆様へお願い

マクロミルモニタの皆様にはモニタ規約にて「調査についての守秘義務」の徹底をお願いしています。

当アンケートの内容および当アンケートで知り得た情報については、決して第三者に口外しないよう(掲示板やホームページへの書き込みを含む)、ご協力をお願いします。

このアンケートにおいて『果物』とは、
「生鮮果物」にカットフルーツ・果汁・フルーツゼリーなどの「果物加工品」を含めたものを指します。
「生鮮果物」及び「果物加工品」の主な例は、下記をご参照ください。
また、果汁(ジュース)については果汁100%のものに限ります(果実・野菜ミックスジュース(果物分10%以上)を含む)。

※「生鮮果物」の主な例

・温州(うんしゅう)みかん	・りんご	・おうとう(さくらんぼ)	・すもも	・いちご
・オレンジ	・ぶどう	・びわ	・キウイフルーツ	・すいか
・グレープフルーツ	・日本なし	・柿(かき)	・パインアップル	・メロン
・上記3種以外のかんきつ類 (いはかん、はっさく等)	・西洋なし(ラ・フランス等)	・栗(くり)	・いちじく	
	・もも	・うめ	・バナナ	

※「果物加工品」の主な例

・果汁(ジュース) ・果物缶詰 ・カットフルーツ ・ジャム類(フルーツジャム) ・ドライフルーツ
・フルーツゼリー ・フルーツヨーグルト ・フルーツケーキ

・ ①必須入力(全項目)

【現在の果物摂取についてお聞きます】

Q1 あなたは果物(生鮮果物と果物加工品)をどの程度の頻度で買い、また食べますか。
【必須入力】

	1	2	3	4	5
	ほぼ毎日 週5日以上	週3 ～4日	週1 ～2日	月1 ～3日	ほとんど買わない／ 食べない月1日未満
1. 果物を買う頻度	☐	☐	☐	☐	☐
2. 果物を食べる頻度	☐	☐	☐	☐	☐

- ・セレクト条件：【Q1項目2】で1-4と答えた方
- ・①必須入力(全項目)
- ・①項目【1】 8.FA: 必須入力
- ・①項目【2】 8.FA: 必須入力
- ・包含チェック:項目【1】×項目【2】
包含チェックする選択肢:1-8
- ・SA 項目【2】

Q2 果物を食べるのはいつが多いですか。
【必須入力】

	1 朝食時	2 昼食時	3 夕食時	4 間食の おやつ時	5 運動をした 後	6 入浴後	7 のどが渇いた 時	8 その他
1. 多い時間帯 (いくつでも)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐ 具体的に
2. その中で最も多い時間帯 (ひとつだけ)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐ 具体的に

.....  ここまで改ページ

- ・セレクト条件：【Q1項目2】で1-4と答えた方
- ・①必須入力(全項目)
- ・①項目【1】 9.FA: 必須入力
- ・①項目【2】 9.FA: 必須入力
- ・包含チェック:項目【1】×項目【2】
包含チェックする選択肢:1-9
- ・SA 項目【2】

Q3 果物を食べる理由は何ですか。
【必須入力】

	1 健康に 良いから	2 おいしく 好きだから (嗜好品・デザートとして)	3 手頃な 値段で買えるから	4 旬や味覚を 楽しめるから	5 美容に 良いから	6 習慣に なっているから	7 手間がか からず いつでも 食べられるから	8 安心して 食べられるから	9 その他
1. あてはまる理由 (いくつでも)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐ 具体的に
2. その中で最もあてはまる理由 (ひとつだけ)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐ 具体的に

.....  ここまで改ページ

- ・セレクト条件：【Q1項目2】で2-5と答えた方
- ・①必須入力(全項目)
- ・①項目【1】 10.FA: 必須入力
- ・①項目【2】 10.FA: 必須入力
- ・包含チェック:項目【1】×項目【2】
包含チェックする選択肢:1-10
- ・SA 項目【2】

Q4 果物を(毎日)は食べない理由は何ですか。
【必須入力】

	1 あまり好きでないから	2 他に食べる食品があるから	3 食べるまでに皮をむくなど 手間がかかるから	4 本るといけないから	5 買い置きができないから	6 日持ちがせず	7 他の食品に比べて値段が高いから	8 味や甘さなどの品質に ばつつきがあるから	9 近くに買いやすい店がないから	10 その他
1. あてはまる理由 (いくつでも)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
2. その中で最もあてはまる理由 (ひとつだけ)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

..... ここで改ページ

- ・セレクト条件：【Q1項目2】で1-4と答えた方
- ・①必須入力

Q5 あなたが果物を食べる場合、一日あたりどの程度の量を食べていますか。
※果物100gの目安…りんごなら半分、みかんなら1個、バナナなら1本に相当
【必須入力】

- ☐ 1. 300g以上
- ☐ 2. 250g～300g未満
- ☐ 3. 200g～250g未満
- ☐ 4. 150g～200g未満
- ☐ 5. 100g～150g未満
- ☐ 6. 50g～100g未満
- ☐ 7. 50g未満

..... ここで改ページ

・ ①必須入力

【今後の果物摂取についての意向をお聞きます】

Q6 あなたは今後、果物を食べる量を増やしたいと思いますか。

【必須入力】

- ☐ 1. 増やしたい
☐ 2. 減らしたい
☐ 3. 特に変えようとは思わない

..... ここまで改ページ

- ・ セレクト条件：【Q6】で4-7を答えた方
- ・ ①必須入力(全項目)
- ・ ①項目【1】 9.FA: 必須入力
- ・ ①項目【2】 9.FA: 必須入力
- ・ 包含チェック:項目【1】×項目【2】
包含チェックする選択肢:1-9
- ・ 回答参照:【Q6】
- ・ SA 項目【2】

Q7 国では一日に【【Q6の選択内容】】よりも多く果物を食べることを推奨しています。
あなたが現状の果物摂取量にとまっている理由をお教え下さい。

【必須入力】

	1 甘すぎるから	2 他に食べる 食品があるから	3 値段が高く 食費に余裕がないから	4 一度にそんなに 量を食べられないから	5 太るといけないから	6 皮をむくなど 手間がかかるから	7 重くて購入が大変だから	8 あまり好きでないから	9 その他
1. あてはまる理由 (いくつでも)	→ ☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐ 具体的に
2. その中で最もあてはまる理由 (ひとつだけ)	→ ☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐ 具体的に

..... ここまで改ページ

- ・ セレクト条件：【Q1項目2】で1-4と答えた方
- ・ ①必須入力(全項目)
- ・ ①項目【1】 11.FA: 必須入力
- ・ ①項目【2】 11.FA: 必須入力
- ・ 包含チェック:項目【1】×項目【2】
包含チェックする選択肢:1-11
- ・ SA 項目【2】

Q8 あなたは主にどのような食べ方・手段で、果物を食べていますか？
当てはまるものをすべてお選びください。
また、最も当てはまるものをひとつお選びください。
【必須入力】

	1 そのまま	2 ヨーグルトに入れて	3 フルーツジュースとして	4 ケーキ、クレープなどのお菓子に入れて	5 ジャムとして	6 料理に使う	7 フルーツサラダとして	8 ゼリーとして	9 スムージーとして	10 ミルクをかけて	11 その他
1. あてはまるもの (いくつでも)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐ 具体的に
2. 最もあてはまるもの (ひとつだけ)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐ 具体的に

.....  ここで改ページ

- ・ セレクト条件：【Q1項目2】で5と答えた方
- ・ ①必須入力
- ・ ①9.FA: 必須入力

Q9 どのような食べ方であれば、今までよりも多く果物を食べることができると思いますか。
当てはまるものを全て選んでください。
【必須入力】

- ☐ 1. 果物と野菜を組み合わせた手作りのミックスジュース/スムージー
- ☐ 2. 果物を食材のひとつとして調理した食事
- ☐ 3. 果汁(100%ジュース)
- ☐ 4. カットフルーツ
- ☐ 5. 果物を使ったスイーツ
- ☐ 6. 普段からテーブルの上に置いてある小腹満たし
- ☐ 7. 歩きながら手軽に食べられるもの
- ☐ 8. ヨーグルトをかけて/ヨーグルトの中に入れて
- ☐ 9. その他 (具体的に:)

.....  ここで改ページ

- ・ ①必須入力
- ・ ③7 FA: 必須入力

Q10 あなたは果物どのようなイメージがありますか。(いくつでも)
【必須入力】

- ☐ 1. おいしい
- ☐ 2. 甘い
- ☐ 3. 新鮮
- ☐ 4. 身体をつくるのに欠かせない食品
- ☐ 5. 毎日食べるべき食品
- ☐ 6. 健康を維持するのに欠かせない食品
- ☐ 7. 野菜の代わりにビタミンや食物繊維を摂取できる食品
- ☐ 8. 食事時に食べるデザート
- ☐ 9. 間食に食べるおやつ
- ☐ 10. 忙しい朝の手軽な食事
- ☐ 11. 季節を感じられる食品
- ☐ 12. 生活に彩りや潤いを添えてくれる存在
- ☐ 13. 食べると気分転換になる
- ☐ 14. 家族に食べさせたい
- ☐ 15. おみやげ/贈り物に最適だ
- ☐ 16. 生活習慣病の予防になる
- ☐ 17. がん予防になる
- ☐ 18. メタボ予防になる
- ☐ 19. 疲労回復になる
- ☐ 20. ダイエットに適している
- ☐ 21. 美肌に効果がある
- ☐ 22. 健康によい
- ☐ 23. バランスがよい食生活になる
- ☐ 24. 栄養価が高い
- ☐ 25. 食物繊維が豊富
- ☐ 26. ビタミンが多い
- ☐ 27. 抗酸化成分が豊富
- ☐ 28. カリウムが豊富
- ☐ 29. 手軽に食べられる
- ☐ 30. 食べるまでが面倒(皮をむくなど)
- ☐ 31. 傷など見た目が気になる
- ☐ 32. 傷むのが早い(日持ちしない)
- ☐ 33. 太る
- ☐ 34. 値段が高い
- ☐ 35. 贅沢
- ☐ 36. 産地や国産かどうか気になる
- ☐ 37. その他(具体的に:)

.....  ここまで改ページ

- ・ ①必須入力
- ・ 排他選択肢:20.この中に当てはまるものはない／わからない

Q11 あなたは有機栽培の果物どのようなイメージがありますか。(いくつでも)

【必須入力】

- ☐ 1. おいしい
- ☐ 2. 甘い
- ☐ 3. 安全である
- ☐ 4. 季節を感じられる
- ☐ 5. 新鮮
- ☐ 6. 値段が高い
- ☐ 7. 見た目がよくない
- ☐ 8. 傷むのが早い(日持ちしない)
- ☐ 9. 健康によい
- ☐ 10. 栄養価が高い
- ☐ 11. 食物繊維が豊富
- ☐ 12. カリウムが豊富
- ☐ 13. ビタミンが多い
- ☐ 14. 美肌に効果がある
- ☐ 15. 家族に食べさせたい
- ☐ 16. おみやげや贈り物に最適だ
- ☐ 17. 産地や国産かどうか気になる
- ☐ 18. 地球環境にやさしい
- ☐ 19. 果実加工品の原材料
- ☐ 20. この中に当てはまるものはない／わからない



- ・ ①必須入力
- ・ ①17.FA: 必須入力
- ・ 排他選択肢:18.提供方法が変わっても、果物をより多く食べるようになることはない

Q12 どのような果物が提供されれば、果物をより多く食べるようになると思いますか。(いくつでも)

【必須入力】

- ☐ 1. 色・形がよくて、見た目の美しい果物
- ☐ 2. 多少外観は悪くても割安な果物
- ☐ 3. 少々値段が高くても、おいしさが確かな果物(味にバラつきがない)
- ☐ 4. 皮がむきやすい、皮のまま食べられる、種がないなど簡単に食べられる果物(品種)
- ☐ 5. 健康や美容にいい(機能性の高い)果物
- ☐ 6. 今よりも1つの実が大ぶりの果物
- ☐ 7. 今よりも1つの実が小さく1人分サイズの果物
- ☐ 8. 冷凍果物
- ☐ 9. カットフルーツやパックゼリーなど簡単に食べられる果物加工品
- ☐ 10. 産直(宅配)、直売などによるより新鮮な果物
- ☐ 11. 生産者、栽培履歴などの栽培情報がわかる果物
- ☐ 12. 農薬をできるだけ使っていない果物
- ☐ 13. 料理や調理方法に合った果物(品種)
- ☐ 14. 今までに食べたことがない(日本ではあまり食べることが出来ない)珍しい果物
- ☐ 15. 購入後傷みにくい果物(日持ちがする果物)
- ☐ 16. 季節を問わず、1年中購入できる果物
- ☐ 17. その他(具体的に:)
- ☐ 18. 提供方法が変わっても、果物をより多く食べるようになることはない



- ・ ①必須入力
- ・ マルチの選択数：上限を設定→【3】個まで選択
- ・ 排他選択肢：11.この中にあてはまるものはない/わからない
- ・ 選択肢ランダムイズ：選択肢1-10

Q13 果物について知っておきたいことは何ですか。上位3つまでお答え下さい。

【必須入力】（3個まで選択）

- ☐ 1. 食べごろの見分け方
- ☐ 2. 美味しい果物の見分け方
- ☐ 3. 鮮度の見分け方
- ☐ 4. 栄養成分
- ☐ 5. 生活習慣病との関係
- ☐ 6. ダイエットとの関係
- ☐ 7. 適量
- ☐ 8. 機能性
- ☐ 9. 栽培方法
- ☐ 10. 残留農薬
- ☐ 11. この中にあてはまるものはない/わからない

..... ✂ ここまで改ページ

- ・ ①必須入力(全項目)

Q14 以下のそれぞれの食材について、あなたがそれを召し上げる量・頻度をお答えください。

【必須入力】

	1 ほぼ毎日	2 週に3〜4日程度	3 週に1〜2日程度	4 月に2〜3日程	5 月に1日程度	6 2〜3ヶ月に1日程度	7 ほとんど／全く食べない
1. みかん	→ ○	○	○	○	○	○	○
2. その他のかんきつ類	→ ○	○	○	○	○	○	○
3. りんご	→ ○	○	○	○	○	○	○
4. ぶどう	→ ○	○	○	○	○	○	○
5. なし	→ ○	○	○	○	○	○	○
6. もも	→ ○	○	○	○	○	○	○
7. おうとう(さくらんぼ)	→ ○	○	○	○	○	○	○
8. びわ	→ ○	○	○	○	○	○	○
9. かき	→ ○	○	○	○	○	○	○
10. くり	→ ○	○	○	○	○	○	○
11. うめ	→ ○	○	○	○	○	○	○
12. すもも	→ ○	○	○	○	○	○	○
13. キウイフルーツ	→ ○	○	○	○	○	○	○
14. パインアップル	→ ○	○	○	○	○	○	○

..... ✂ ここまで改ページ

- ・ ①必須入力
- ・ 排他選択肢: 15. この中にあてはまるものはない/わからない

Q15

以下のそれぞれの果物のうち、あなたが今後、買う量を増やしたいと思うものがありましたら、
全てお答えください。

【必須入力】

- ☐ 1. みかん
- ☐ 2. その他のかんぎつ類
- ☐ 3. りんご
- ☐ 4. ぶどう
- ☐ 5. なし
- ☐ 6. もも
- ☐ 7. おうとう(さくらんぼ)
- ☐ 8. びわ
- ☐ 9. かき
- ☐ 10. くり
- ☐ 11. うめ
- ☐ 12. すもも
- ☐ 13. キウイフルーツ
- ☐ 14. パインアップル
- ☐ 15. この中にあてはまるものはない/わからない

.....  ここで改ページ

Q16 以下の果物に関する事を、あなたはご存知でしたか。
当てはまるものをそれぞれひとつずつお選びください。
【必須入力】

	1 知っていた 見たことがある	2 何となく聞いたことがある 見たことがあるような気がする	3 知らなかった 見たことはない
1. 国は健康増進のために果物を毎日200グラム(例えば、みかんであれば2個、りんごであれば1個程度)食べることを勧めている	☐	☐	☐
2. 「毎日くだもの200グラム!」という標語	☐	☐	☐
3. 「毎日くだもの200グラム運動」のロゴマーク 	☐	☐	☐
4. 機能性表示(みかんのβクリプトキサンチン、りんごのプロシアニジン)をしているものがある	☐	☐	☐
5. 2021年は国際果実野菜年である	☐	☐	☐

・ ①必須入力

Q17 新型コロナウイルスの感染拡大に伴って、果物の摂取量は変化しましたか。
【必須入力】

- ☐ 1. 増加した
☐ 2. 減少した
☐ 3. 変わらない



ここで改ページ

・ セレクト条件：【Q17】で1と答えた方
・ ①必須入力
・ ①6FA：必須入力
・ 排他選択肢：7. 特に理由はない
・ 選択肢ランダムサイズ：選択肢1-5

Q18 果物の摂取量が増えた方にお聞きます。増えた理由は何ですか。(いくつでも)
【必須入力】

- ☐ 1. 家で食事やおやつを食べることが増えたから
☐ 2. 健康増進のため
☐ 3. 免疫力・抵抗力の強化のため
☐ 4. おいしいから
☐ 5. ストレスの緩和のため
☐ 6. その他(具体的に：)
☐ 7. 特に理由はない



ここで改ページ

・ セレクト条件：【Q17】で1と答えた方
・ ①必須入力
・ ①12FA：必須入力
・ 選択肢ランダムサイズ：選択肢13-11

Q19 果物の摂取量が増えた方にお聞きます。どんな果物の摂取が増えましたか。(いくつでも)
【必須入力】

- ☐ 1. みかん
☐ 2. その他のかんきつ類
☐ 3. りんご
☐ 4. ぶどう
☐ 5. もも
☐ 6. おうとう(さくらんぼ)
☐ 7. なし
☐ 8. かき
☐ 9. キウイフルーツ
☐ 10. バインアップル
☐ 11. パナナ
☐ 12. その他(具体的に：)

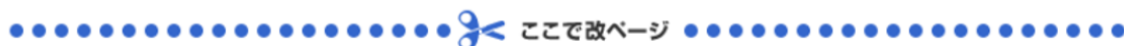


ここで改ページ

- ・セレクト条件：【Q17】で1と答えた方
- ・①必須入力

Q20 果物の摂取量が増えた方にお聞きます。以前と比べてどの程度増えましたか。
【必須入力】

- ☐ 1. 1割未満
☐ 2. 1割～2割未満
☐ 3. 2割～3割未満
☐ 4. 3割以上



- ・セレクト条件：【Q17】で2と答えた方
- ・①必須入力
- ・④FA: 必須入力
- ・排他選択肢:5. 特に理由はない
- ・選択肢ランダムイズ:選択肢1-3

Q21 果物の摂取量が減った方にお聞きます。減った理由は何ですか。(いくつでも)
【必須入力】

- ☐ 1. 外出を控えて買えなかったから
☐ 2. 買おうと思ったが売っていなかったから
☐ 3. 食費を節約しようと思ったから
☐ 4. その他(具体的に:)
☐ 5. 特に理由はない



- ・①必須入力(全項目)
- ・①項目【1】7FA: 必須入力
- ・①項目【2】7FA: 必須入力
- ・排他選択肢:8. 特にない

Q22 新型コロナウイルスの感染拡大に伴って
摂取が増えた食品、減った食品はありますか。(それぞれいくつでも)
【必須入力】

	1 ご飯	2 麺類	3 野菜	4 肉	5 魚	6 乳製品	7 その他	8 特にない
1. 摂取が増えた食品	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐ 具体的に	☐
2. 摂取が減った食品	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐ 具体的に	☐

アンケートは以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。
送信ボタンを押してください。

送 信